

江南市図書館基本計画 (案)

平成 30 年 8 月

江 南 市

目 次

1. 計画策定の目的	1
2. 江南市立図書館の現状と特性	2
2.1. 沿革	2
2.2. 新たな図書館の整備に関するこれまでの経緯	4
2.3. 施設の現状	7
2.4. サービスの現状	11
2.5. 所蔵資料の現状	13
2.6. 利用の現状	15
2.7. 他自治体図書館との整備水準の比較	19
3. 江南市の概要・まちづくりの方向性と図書館の役割	28
3.1. 江南市の概要	28
3.2. まちづくりの方向性	35
4. 図書館を取り巻く動向整理	45
4.1. 先進的事例	45
4.2. 社会的動向	54
5. 市民ニーズ	57
5.1. 図書館ボランティアヒアリング調査	57
5.2. 図書館職員ヒアリング調査	60
5.3. 市民アンケート調査	63
5.4. 利用者アンケート調査	66
5.5. 平成 28 年度生涯学習講演会「まちの未来につながる図書館」アンケート	69
5.6. 市民ワークショップ	70
6. 江南市図書館サービスのあり方と整備の基本方針	72
6.1. 江南市図書館の課題	72
6.2. 江南市図書館のあり方と整備の基本方針	75
7. 図書館の蔵書規模と施設規模	81

7.1. 蔵書規模の計画値.....	81
7.2. 施設規模の計画値.....	94

1. 計画策定の目的

2. 江南市立図書館の現状と特性

2.1. 沿革

本市の図書館は、昭和 29 年 6 月に古知野町、布袋町、宮田町、草井村の 3 町 1 村の合併により江南市が発足した際に、旧古知野町の町役場内に図書室を設置したことに始まります。昭和 44 年 4 月には館外貸出を開始し、昭和 50 年 7 月には現在の江南市立図書館（以下、「現江南市立図書館」とします。）の建設に着手、翌 51 年 4 月に開館しました。

表 2-1 に示すとおり市内図書館サービスの拡大を図る中で、平成 4 年のコンピューターシステムの導入が大きな契機となり、利用は飛躍的に増加しました。また、平成 15 年 8 月には図書館以外の場所での貸出・返却を開始し、平成 19 年度からは指定管理者制度を導入、開館時間を延長するなど、さらなるサービスの向上に努めながら現在に至っています。

表 2-1 本市図書館のあゆみ

年月	経過・取り組みなど
昭和 29 年 6 月	古知野町、布袋町、宮田町、草井村の 3 町 1 村合併により江南市となる。古知野町図書室を引き継ぎ、庁舎内に図書室を設置
昭和 40 年 4 月	図書室を旧蚕業指導所江南出張所へ移設
昭和 44 年 4 月	図書室を市民体育会館内へ移設し、貸出業務を開始、登録制とする。
昭和 51 年 4 月	江南市立図書館開館（蔵書数 14,657 冊） 貸出業務 1 人 3 冊 2 週間以内とする。
昭和 53 年 4 月	団体貸出業務（1 団体貸出冊数 50 冊、1 ヶ月以内）を開始
昭和 54 年 4 月	団体貸出の貸出冊数を 1 団体 200 冊以内とする。
昭和 54 年 12 月	名誉市民横田喜三郎氏の図書寄贈により横田文庫を開設
昭和 55 年 1 月	点字本の貸出業務を開始
昭和 56 年 8 月	団体貸出の期間を 1 ヶ月から 2 ヶ月に変更
昭和 57 年 7 月	身体障害者に対する郵送貸出サービスを開始
昭和 58 年 4 月	個人貸出の貸出冊数を 3 冊から 4 冊に変更
昭和 59 年 7 月	参考資料室設置。電動書架を導入し、蔵書可能規模 6 万冊となる。
昭和 59 年 12 月	紙芝居の貸出サービスを開始
平成 4 年 5 月	コンピューターシステム導入。個人貸出の貸出冊数を 5 冊に変更し、ビデオテープの貸出業務（1 人 1 点 1 週間）を開始
平成 5 年 3 月	朗読ボランティアによる読み聞かせ会を開始
平成 6 年 6 月	夏期（6 月～8 月）開館時間を午後 6 時まで延長
平成 10 年 10 月	不用図書のブックリサイクル開始
平成 14 年 6 月	インターネットホームページを開設し、検索、予約が可能となる。
平成 14 年 11 月	利用者用パソコンを 2 台導入

年月	経過・取り組みなど
平成 15 年 4 月	全日開館を実施(月 1 回の館内整理日・年末年始・特別整理期間を除く)
平成 15 年 8 月	ブックスタート事業開始
	布袋支所(布袋ふれあい会館)、宮田支所、草井支所に端末機とブックリターンポストを設置し、貸出、返却などが可能となる。
平成 16 年 1 月	尾張北部広域行政圏市町立図書館の相互利用開始(5市2町)
平成 16 年 11 月	CD・DVDの貸出開始
平成 18 年 1 月	雑誌の予約開始
平成 19 年 4 月	図書館の管理運営を指定管理者制度に移行
	宅配サービス開始、開館時間を午後 6 時 30 分まで延長
	個人貸出の貸出冊数を 5 冊から 10 冊に変更
平成 20 年 4 月	図書館職員による「出張おはなし会」開始
平成 22 年 4 月	江南駅にブックリターンポストを設置
平成 23 年 4 月	雑誌スポンサー制度採用
平成 24 年 4 月	新入生スタートパック 6 6 実施
平成 24 年 6 月	視聴覚ブース 2 台設置
平成 27 年 5 月	高齢者サロン訪問開始
平成 27 年 9 月	Wi-Fi 設置
平成 27 年 10 月	読書通帳の配布開始
平成 28 年 4 月	青空文庫開設

出典)「図書館の概要 2018」(「I 図書館のあゆみ」から施設修繕・行事などを除いて作成)

2.2. 新たな図書館の整備に関するこれまでの経緯

(1) 新たな図書館の整備に関する取り組み

現江南市立図書館の開館から15年以上が経過した平成4年度には貸出冊数が20万冊を超え、登録者数も飛躍的に増加したことや、蔵書の増加に伴い施設の狭隘化も進行したことから、新たな図書館の整備を望む市民の声が高まりました。

こうした状況を受けて、本市は平成6年度から7年度にかけて新図書館建設準備調査研究会を設置し、新たな図書館の整備に向けた検討を開始しました。

以降の主な取り組みを、表2-2に整理します。

表 2-2 新たな図書館の整備に向けた主な取り組み

年度	取り組みなど
平成6～7年度	新図書館建設準備調査研究会を設置し、新たな図書館整備に向けた検討を開始
平成8年度	・「江南市新図書館建設事業基金の設置、管理及び処分に関する条例」施行 ・市議会が図書館建設特別委員会を設置、図書館建築計画書（案）を作成
平成9年度	江南市新図書館建設基本計画策定会議の設置 (新図書館建設準備調査研究会の調査・研究を踏まえ、図書館行政のあり方を見直し、体系を整備)
平成10年度	「江南市新図書館建設基本計画」の策定
平成16年度	本市全体の事業を勘案し、新図書館計画を撤回（平成17年3月議会答弁）
平成24年度	「第2次江南市生涯学習基本計画」策定、新たな生涯学習拠点の整備として図書館のあり方の検討を再開
平成26年度	市議会が「図書館問題特別委員会」設置
平成27年度	「これからの江南市立図書館のあり方を考える職員検討会」設置
平成28年度	・「図書館で活動をするボランティア等を対象とした会議」の開催 ・平成28年度生涯学習講演会「まちの未来につながる図書館」の開催

(2) 各段階での整備の方向性

1) 「江南市新図書館建設基本計画」の策定（平成10年度）

平成7年度に新図書館建設準備調査研究会より「新図書館建設に関する報告書」が提出されたことなどを踏まえ、本市は平成8年度に策定した第4次江南市総合計画の基本計画で文化的で豊かな生涯学習の場としての新図書館建設を目指すこととしました。また平成8年度には市議会も「図書館建設特別委員会」を設置し、先進図書館の視察を始め、調査・研究を重ねました。その後、本市では平成9年度に21世紀を見据えた生涯学習時代にふさわしい施設づくりを目指す「江南市新図書館建設基本計画策定会議」を設置し、そこでの検討を通じて、平成10年度に「江南市新図書館建設基本計画」を取りまとめました。計画内では図書館サービスの現状を整理し、目指す図書館サービス、図書館サービス網計画、管理・運用の計画、中央図書館の建築計画などを示しましたが、財政上の理由から計画は一旦白紙に戻ることとなりました。

2) 「図書館問題特別委員会」の設置（平成 26 年度）

平成 24 年度策定の「第 2 次江南市生涯学習基本計画」の中で再び新図書館建設を掲げたことから、市議会は、現江南市立図書館の問題点とこれからの図書館のあり方について調査研究を行うとともに、今後の図書館が重きを置くテーマを取りまとめるために特別委員会を設置しました。

特別委員会は 9 回開催され、「これからの江南市図書館のあり方について」をまとめました。現図書館の立地は利便性が低く、施設も狭隘で蔵書収容能力も限界であることなどを踏まえ、下記の 3 点を提言しています。

1. 早期に正式な新図書館建設検討委員会（仮称）を設置し、新図書館建設のビジョンを策定すること
2. 新図書館の目指すべき姿
 - ①誰にでも居場所がある図書館 ②地域の情報拠点となる図書館
 - ③市民の暮らしに役立つ図書館 ④情報化時代の市民ニーズに対応する図書館
3. 江南市新図書館建設事業基金への積み立てを再開すること

3) 「これからの江南市立図書館のあり方を考える職員検討会」の設置（平成 27 年度）

市職員 24 名による検討会において、複数のテーマに沿ってソフト面・ハード面の両面から検討を行いました。各テーマと対応する主な意見は表 2-3 のとおりです。

表 2-3 職員検討会の検討テーマと主な意見

番号	テーマ	主な意見
1	江南市立図書館の良いところ	子ども向けの講座が充実している/職員が親切だった サービスがとても良い/図書館スタッフが作った資料案内が充実
2	江南市立図書館の悪いところ	<u>雰囲気・サービス</u> 本が少ない、古い/夜、開館していない 居心地が悪く、雰囲気が暗い <u>建物の構造</u> 本が置いてある場所が狭い/ 中 2 階、3 階に車椅子の方は入れない/読むスペースがない
3	江南市立図書館はどんな時に利用する（したい）	本を読みたいとき 買うまではないが、興味のある本を読みたいとき 高価な本を読みたいとき/子どもと一緒に利用したいとき 静かな所で調べものをしたいとき/時間つぶし
4	居心地（雰囲気）が良い図書館とは	座り心地の良い椅子・飲食スペース・学習室（個室）などがある 静かすぎないほうが良い/本棚同士のスペースが広い 開放感がある

番号	テーマ	主な意見
5	子どもと一緒に居て楽しもう	絵本、しかけ本などの種類を増やす 本の表紙が見える本棚だと一緒に本を選びやすい 育児相談などが出来る職員の配置 騒がしすぎない程度のおしゃべりが可能な場所
6	高齢者や障害者にやさしい	高齢者や障害者を図書館へ送迎する 車椅子でも動きやすい幅の通路/対面朗読サービスなどの充実 独り暮らしの高齢者が集まる場所としての利用
7	ボランティア団体との協働	活動できる場所を増やす/やりがいを持てる仕組みづくり ボランティア同志の交流の場の提供
8	立地	公共交通機関で行くことの出来る場所にある 他の公共施設の近く/何かのついでに行きやすい場所

4) 「図書館で活動をするボランティア等を対象とした会議」の開催（平成 28 年度）

- 開催日：平成 29 年 3 月 27 日
- 参加団体：8 団体
- 内容：江南市立図書館には何が必要かなど 6 つのテーマについて意見交換

表 2-4 「ボランティア等を対象とした会議」のテーマと主な意見

No.	テーマ	主な意見
1	江南市立図書館には何が必要か	高齢者や障害者にやさしい/交通アクセスが良い 蔵書の充実
2	江南市以外の図書館を利用する理由は	蔵書が多い/CDの量が多い 高齢者にとっては江南市立図書館の階段がづらい
3	江南市立図書館はどのようなときに利用するのか	本を借りたいとき/調べものをするとき
4	江南市立図書館の良いところは	スタッフの対応がいい/駐車場が広い 施設がきれい（清潔感・明るさ）
5	江南市立図書館の良くないところは	交通の便が悪い/施設が古い/スペースが狭い 本の冊数が少ない
6	今後、江南市の図書館はどのような形態がよいか	他の公共施設に併設/市内に分館 北部の方たちにとっても交通の便が良いところ

2.3. 施設の現状

(1) 位置及び建物

現江南市立図書館は、名鉄犬山線の江南駅から約1km（江南市石枕町神明82番地）に位置しています（図2-1参照）。駅から徒歩では15分ほどかかるため、来館者の多くは自動車・自転車を利用しています。



図 2-1 現江南市立図書館の位置

建物の概要は以下のとおりで、築42年が経過して老朽化が進んでおり、エレベーターがないなど、利用に不便な点があります。

- 開館年月：昭和51年4月
- 構造：鉄筋コンクリート造 3階建
- 建築面積：438.83㎡
- 延床面積：962.32㎡（1階 433.83㎡、2階 407.65㎡、3階 120.84㎡）

平成26年にバリアフリー工事を行い、平成27年4月には1階から2階への階段昇降機を設置して芝生広場も新設、平成28年にはベンチを設置するなどして読書環境を整備してきました。

(2) 建物内部

1) 1階の状況

事務室、利用者用パソコン2台、新聞・雑誌コーナー（16席）、閉架書庫（兼郷土資料室）、会議室・横田文庫、参考資料室を設置しています。貸出・返却業務は事務室ではなく、2階で行っています。

新聞・雑誌コーナーには最新号と一部のバックナンバーを置いています。雑誌架は2階に配置しています。新聞のバックナンバーは参考資料室に保管し、利用者が入室して閲覧する形をとっています。

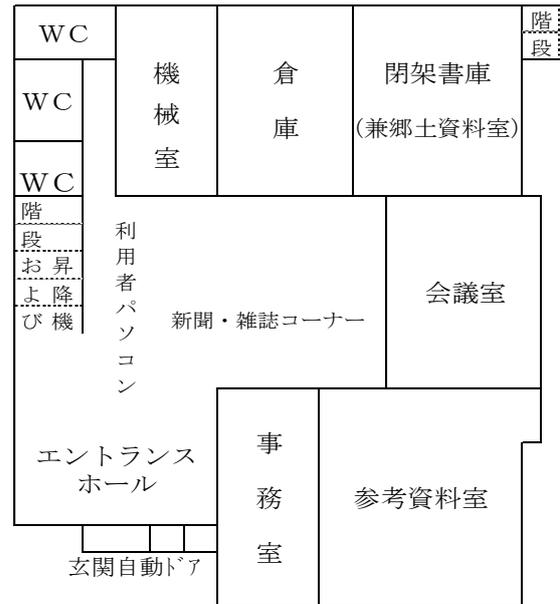


図 2-2 1階平面図



図 2-3 1階の様子

閉架書庫は郷土資料室を兼ねていますが、利用者が自由に閲覧することはできません。なお、保存資料の収容能力を超えたため、一部を藤里小学校に保存しています。

横田文庫は会議室内にあり、利用者が自由に入室することはできません。会議室内にはボランティアが作成した録音資料などを整理しています。

参考資料室には閲覧席を 32 席とビジネス支援コーナー・シニアコーナー・心のコーナーを設置しています。これらのコーナーにある資料は、1 階事務室窓口または 2 階カウンターで借りることができます。

2) 中 2 階・ 2 階の状況

中 2 階には一般書の開架書庫と閲覧席を設置しています。階段があり、また書架の間隔が狭く、車椅子では入室できない配置です。

2 階には雑誌架、児童コーナー、ヤングアダルト (YA) コーナーを設置しています。児童コーナーには子どもが本を手にとりやすい低書架を配置していますが、蔵書の増加とともに書架は狭隘化し、表紙を見せて展示する余裕などはない状況です。絵本コーナーに隣接して、子育て世代向けの手芸などの実用書を配架するなど、親子で来館した際に利用しやすい動線になるよう配慮しています。

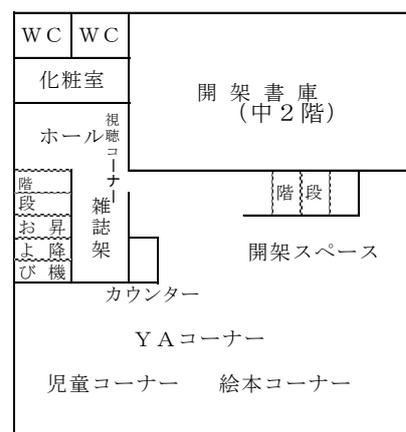


図 2-4 中 2 階・ 2 階平面図



図 2-5 中 2 階・ 2 階の様子

3) 3階の状況

一般書の開架書庫を配置していますが、階段があり、また書架間隔が狭く、車椅子では入室できない配置です。

閲覧席は天井が低い場所であり、着席すると圧迫感があり、利用しづらい状況にあります。



図 2-6 3階平面図

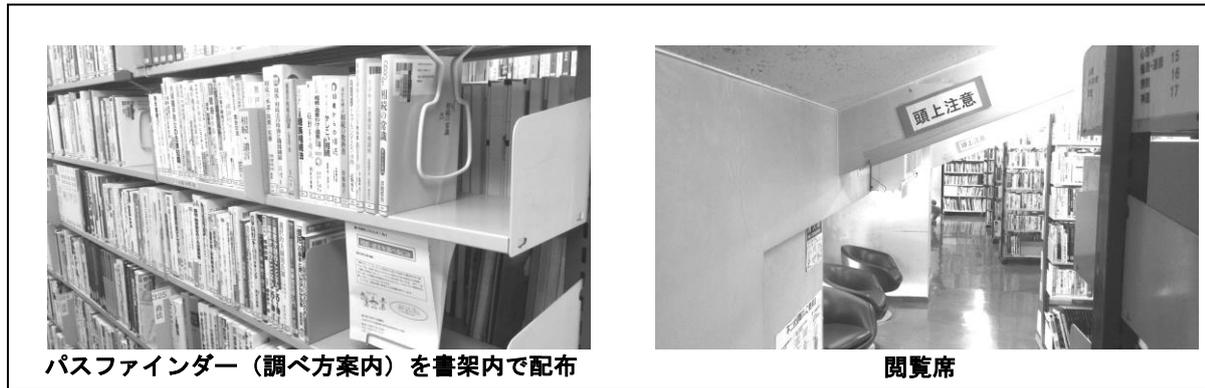


図 2-7 3階の様子

2.4. サービスの現状

(1) サービス概要

開館時間など、サービスの概要を表 2-5 に示します。

表 2-5 図書館サービスの概要

項目	サービス内容
開館時間	9 : 00～18 : 30
休館日	毎月第 4 木曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 4 日）、特別整理期間
開館日数	333 日（平成 29 年度実績）
登録要件	愛知県内在住・在勤・在学者
貸出冊数	図書・雑誌・紙芝居…10 点 2 週間 CD・DVD・ビデオ… 2 点 2 週間 合計 10 点
予約・リクエスト	予 約：利用したい本が貸出中の場合は予約可能 リクエスト：検討後購入または他館から借用して可能な限り希望に応じる
レファレンスサービス	対面だけではなく、電話や文書による質問にも対応
図書館資料の 複写サービス	著作権法の範囲内で、図書館の資料に限り複写 手数料：白黒 1 枚 10 円、カラー 1 枚 50 円
配本サービス	予約などで貸出手続をした資料について、図書館と以下の施設で受け渡しを実施 <受け渡し施設> 草井支所・宮田支所・布袋ふれあい会館・市役所（生涯学習課）・老人福祉センター・古知野北公民館・古知野西公民館・布袋南部地区学習等供用施設 ※配本は、祝日を除く月・水・金の午前中に行う
宅配・郵送貸出 サービス	市内在住の高齢者・身体に障がいのある市民を対象に実施

※ 公民館図書室（古知野東公民館、古知野西公民館、古知野北公民館）

開館時間：9 : 00～17 : 00、年末年始（12 月 29 日～1 月 4 日）は休館

利用の際は利用名簿に記名が必要

(2) 主な実施事業

1) 各種行事

乳幼児向け「だっこのおはなし会」、5歳以上向け「ストーリーテリング」、「読み聞かせ会」のほか、子どもから大人まで幅広い年代を対象としたイベントを開催しています。平成30年度で第8回となる「江南市立図書館まつり」は、2日間にわたり図書館クイズ・リサイクル市、館内展示などを行い、毎年多くの来館者があります。

2) 読書通帳の配布

「第2次江南市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内在住または在学・在園の小学生以下の子ども（0歳～12歳）に「ふじかちゃん子ども読書通帳」を配布しています。読書記録が満期（100冊）となった際に新しい読書通帳を配布するとともに、記念品として「缶バッジ」を贈呈し、子どもたちの読書意欲の向上を図っています。中学生以上向けには「読書記録ノート」を作成し、本市及び市立図書館ホームページからダウンロードして利用できるようにしています。

3) ブックスタート

乳児期から本に触れ、保護者に読み聞かせ・読書の大切さを知ってもらうために平成15年8月から保健センターの4か月児健診で実施しています。

4) 雑誌スポンサー制度

企業・商店・団体などに雑誌の購入代金を負担してもらい、最新号のカバーに提供者（スポンサー）の名称・広告を表示することで広告媒体として利用してもらう制度です。平成23年に「江南市立図書館雑誌スポンサー制度に関する要綱」を制定し、雑誌コーナーの充実を図っています。

5) インターネットを活用した情報発信

公式ホームページ「ようこそ江南市立図書館へ」とあわせて、平成25年4月から公式ツイッターも開設し、行事案内、おすすめの本などの情報のタイムリーな発信を行っています。



図 2-8 公式ツイッタートップ画面

(3) 組織体制

指定管理者として17名が従事しており、内訳は、現場統括である図書館長（1名）、管理責任者である副館長（1名）、責任者（2名）、リーダー（1名）、一般スタッフ（12名）となっています（平成30年4月現在）。

2.5. 所蔵資料の現状

(1) 蔵書数・資料種別構成

平成25年度から平成29年度の5年間の蔵書の状況は表2-6のとおりで、蔵書数は3,070冊増加しています。資料種別での構成比に大きな変化はなく、一般書が約60%、児童書が約25%で全体の約85%を占めています。

表 2-6 蔵書数の推移

資料種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成29年度- 平成25年度 (冊)
	冊数 (冊)	構成比 (%)									
一般書	75,254	61.4	75,033	61.2	75,455	60.9	76,167	60.7	76,180	60.6	926
児童書	29,575	24.1	29,729	24.3	30,401	24.6	31,112	24.8	31,107	24.8	1,532
雑誌	2,251	1.8	2,278	1.9	2,215	1.8	2,257	1.8	2,304	1.8	53
視聴覚資料	2,471	2.0	2,474	2.0	2,623	2.1	2,742	2.2	2,911	2.3	440
郷土資料	8,650	7.1	8,669	7.1	8,755	7.1	8,804	7.0	8,859	7.1	209
横田文庫	3,463	2.8	3,451	2.8	3,430	2.8	3,405	2.7	3,367	2.7	-96
点字図書	961	0.8	963	0.8	965	0.8	966	0.8	967	0.8	6
合計	122,625	100.0	122,597	100.0	123,844	100.0	125,453	100.0	125,695	100.0	3,070

※「江南市立図書館の概要」2014年～2018年版掲載のデータを基に作成

平成29年度は6,348冊の受入に対し、除籍は6,105冊であり、受入冊数が除籍冊数を243冊だけ上回る状況で、書架の狭隘化が進んでいる状況が窺えます(表2-7参照)。

表 2-7 平成29年度受入・除籍冊数

資料種別	受入				除籍				受入-除籍
	購入	寄贈	弁償・ 復籍・ リサイクル ・その他	受入合計	保存期限 切れ	不要	紛失 ・不明 (曝書) ・汚破損 ・その他	除籍合計	
一般	3,064	40	147	3,251	2,696	89	453	3,238	13
児童	1,491	36	89	1,616	1,149	2	470	1,621	-5
雑誌	867	260	2	1,129	1,058	-	24	1,082	47
視聴覚資料	150	5	101	256	74	-	13	87	169
郷土資料	-	56	-	56	-	-	-	-	56
横田文庫	38	-	-	38	70	2	4	76	-38
点字図書	-	2	-	2	-	-	1	1	1
合計	5,610	399	339	6,348	5,047	93	965	6,105	243

出典) 平成30年度第1回江南市図書館運営委員会会議録 別紙-1

(2) 一般書の蔵書数・分野構成

平成25年度から平成29年度までの5年間の一般書の状況は表2-8のとおりで、926冊増加していますが、構成比の大きな変化はなく、文学が約40%、社会科学が約10%と全体の半数を占めます。

表 2-8 一般書の蔵書数の推移

分類名	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成29年度-平成25年度(冊)
	冊数(冊)	構成比(%)									
0: 総記	3,058	4.1	3,055	4.1	3,061	4.1	3,100	4.1	3,067	4.0	9
1: 哲学	2,491	3.3	2,465	3.3	2,496	3.3	2,533	3.3	2,509	3.3	18
2: 歴史	6,745	9.0	6,805	9.1	6,816	9.0	6,883	9.0	6,960	9.1	215
3: 社会科学	9,869	13.1	9,824	13.1	9,920	13.2	10,097	13.3	10,098	13.3	229
4: 自然科学	4,982	6.6	4,815	6.4	4,892	6.5	4,982	6.5	5,053	6.6	71
5: 技術	5,830	7.8	5,937	7.9	5,985	7.9	6,025	7.9	5,986	7.9	156
6: 産業	2,228	3.0	2,261	3.0	2,287	3.0	2,313	3.0	2,274	3.0	46
7: 芸術	7,355	9.8	7,280	9.7	7,285	9.7	7,299	9.6	7,263	9.5	-92
8: 言語	1,116	1.5	1,122	1.5	1,129	1.5	1,127	1.5	1,128	1.5	12
9: 文学	31,580	42.0	31,469	41.9	31,584	41.9	31,808	41.8	31,842	41.8	262
合計	75,254	100.0	75,033	100.0	75,455	100.0	76,167	100.0	76,180	100.0	926

※「江南市立図書館の概要」 2014年～2018年版掲載のデータを基に作成

(3) 児童書の蔵書数・分野構成

表2-9に示すとおり、児童書は絵本がもっとも多く全体の約35%、次いで文学が約30%を占めており、5年間大きな変化はなく推移しています。合計では1,532冊増加しており、増加数は一般書を上回っています。

表 2-9 児童書の蔵書数の推移

分類名	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成29年度-平成25年度(冊)
	冊数(冊)	構成比(%)									
0: 総記	477	1.6	463	1.6	477	1.6	486	1.6	492	1.6	15
1: 哲学	194	0.7	196	0.7	208	0.7	231	0.7	248	0.8	54
2: 歴史	1,198	4.1	1,189	4.0	1,197	3.9	1,231	4.0	1,234	4.0	36
3: 社会科学	1,121	3.8	1,131	3.8	1,224	4.0	1,297	4.2	1,331	4.3	210
4: 自然科学	2,480	8.4	2,405	8.1	2,447	8.1	2,511	8.1	2,497	8.0	17
5: 技術	888	3.0	864	2.9	884	2.9	907	2.9	918	3.0	30
6: 産業	538	1.8	544	1.8	581	1.9	596	1.9	617	2.0	79
7: 芸術	1,449	4.9	1,435	4.8	1,437	4.7	1,468	4.7	1,493	4.8	44
8: 言語	362	1.2	352	1.2	365	1.2	367	1.2	366	1.2	4
9: 文学	9,241	31.3	9,100	30.6	9,221	30.3	9,335	30.0	9,234	29.7	-7
C: 紙芝居	1,051	3.6	1,078	3.6	1,043	3.4	1,069	3.4	1,019	3.3	-32
E: 絵本	9,962	33.7	10,417	35.0	10,752	35.4	11,007	35.4	11,054	35.5	1,092
M: 漫画	614	2.1	555	1.9	565	1.9	607	2.0	604	1.9	-10
合計	29,575	100.0	29,729	100.0	30,401	100.0	31,112	100.0	31,107	100.0	1,532

※「江南市立図書館の概要」 2014年～2018年版掲載のデータを基に作成

2.6. 利用の現状

(1) 登録者数・貸出者数の現状

1) 登録者数

登録者数・登録率は5年間ほぼ横ばいで推移しています（図 2-9 参照）。

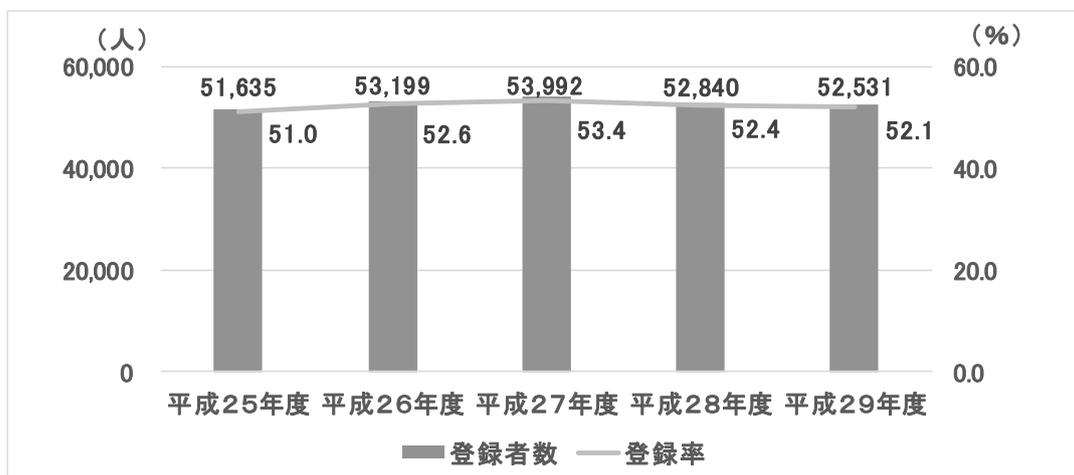


図 2-9 登録者数・登録率の推移

出典)「江南市立図書館の概要」2018年

2) 貸出者数

貸出者数と1日平均貸出者数も同様に横ばいで推移しています（図 2-10 参照）。

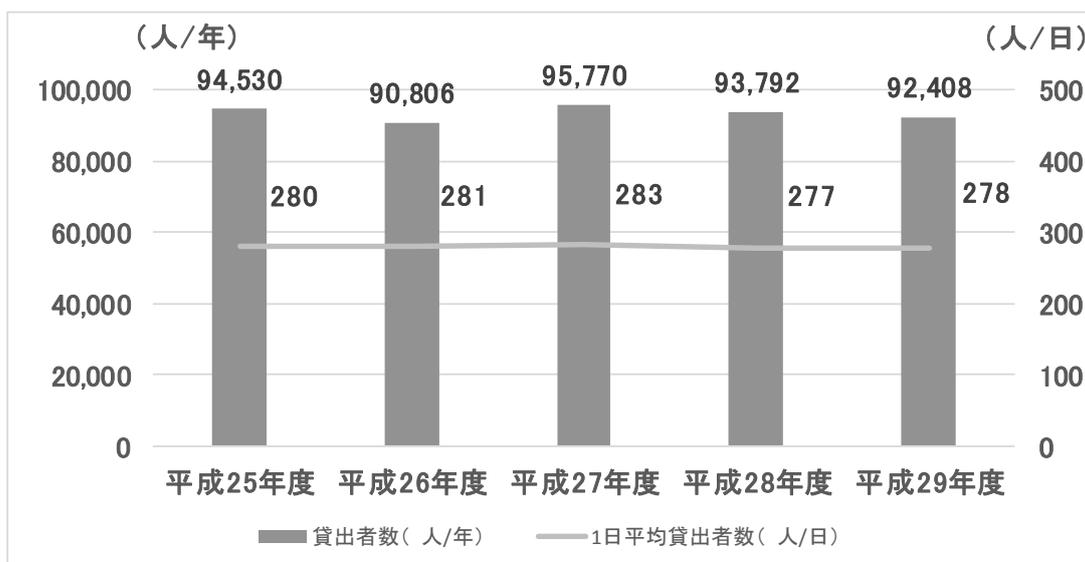


図 2-10 貸出者数と1日平均貸出者数の推移

出典)「江南市立図書館の概要」2018年

3) 年齢別利用状況

人口に対する登録者数・利用者数を年齢別にみると、19歳から30歳までの若い世代は登録者のうちの利用者が40%に満たず、他の年代に比べて少ない傾向にあります（表2-10参照）。

表 2-10 年齢別利用状況

年齢区分	人口 (人)	登録者数 (人)	利用者数 (人)	登録者数/ 人口 (%)	利用者数/ 人口 (%)	利用者数/ 登録者数 (%)
0～6	5,626	797	7,514	14.2%	133.6%	942.8%
7～12	5,566	2,972	13,409	53.4%	240.9%	451.2%
13～15	3,217	1,891	1,927	58.8%	59.9%	101.9%
16～18	3,057	2,064	922	67.5%	30.2%	44.7%
19～22	3,644	2,842	812	78.0%	22.3%	28.6%
23～30	7,219	6,284	2,372	87.0%	32.9%	37.7%
31～40	11,777	8,173	10,606	69.4%	90.1%	129.8%
41～50	15,322	8,378	14,761	54.7%	96.3%	176.2%
51～64	16,028	6,888	12,701	43.0%	79.2%	184.4%
65歳以上	25,805	6,860	17,829	26.6%	69.1%	259.9%
年齢不詳	1,098	6	10	0.5%	0.9%	166.7%
合計	98,359	47,155	82,863	47.9%	84.2%	175.7%

※人口データは平成27年10月1日時点、国勢調査より（図2-11も同様）

4) 地区別利用状況

利用率が高い地域は図2-11に示すとおりで、古知野地区、布袋地区でともに90%を超えており、登録率も50%前後です。

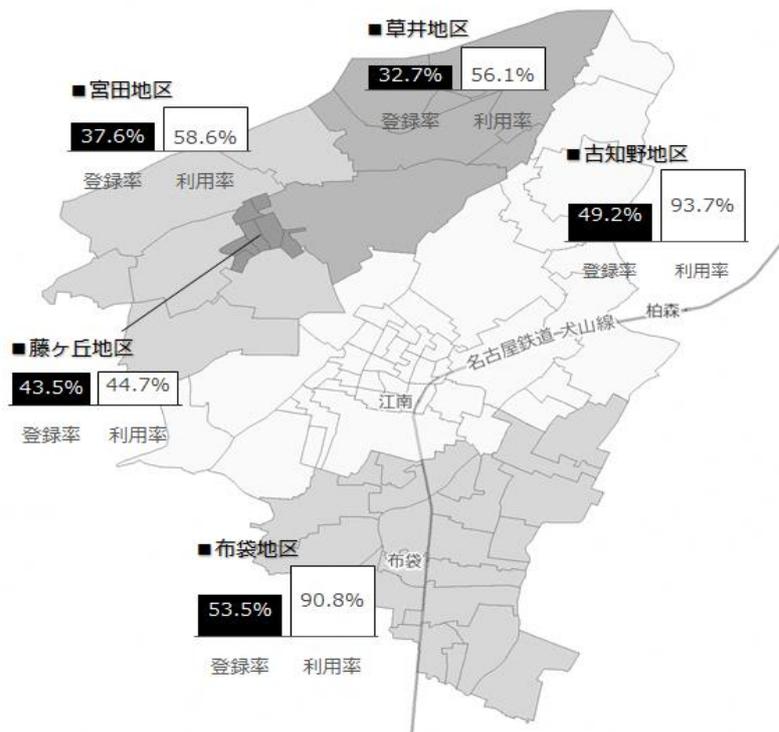


図 2-11 地区別登録率・利用率

(2) 貸出冊数

図 2-12 に示すとおり、貸出冊数は5年間ほぼ横ばいになっています。

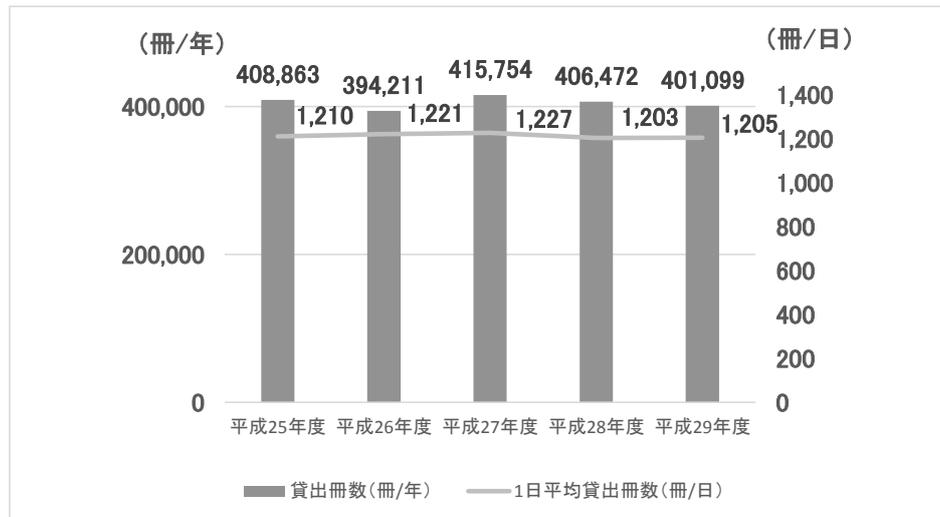


図 2-12 貸出冊数の推移

※「江南市立図書館の概要」掲載のデータを基に作成

同じ5年間の推移を資料区分別にみると、一般書の利用が減少、児童書の利用は増加傾向にあります(図 2-13 参照)。

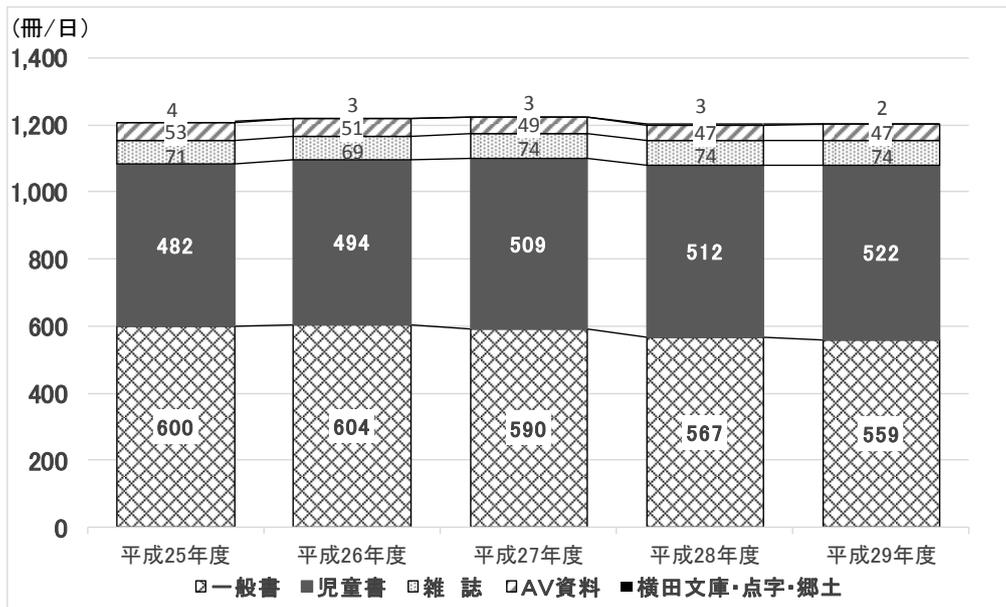


図 2-13 資料区分貸出冊数の推移

※「江南市立図書館の概要」 2014年～2018年版掲載のデータを基に作成

(3) 予約件数・レファレンス件数・相互貸借件数の推移

表 2-11 に示すとおり、予約件数は近年増加しています。レファレンス件数は、平成 27 年度から新たに資料の配架位置の案内をレファレンスとして扱うこととしたことにより、大幅に増加しました。自治体間の相互貸借においては、県内の他図書館から借り受ける冊数が貸出冊数を上回っています。

表 2-11 予約件数・レファレンス件数・相互貸借件数

年度	予約件数 (件)	レファレンス件数 (件)	相互貸借		
			貸出冊数 (冊)	借受冊数 (冊)	貸出-借受 (冊)
平成24年度	24,836	63	335	902	-567
平成25年度	23,849	45	288	808	-520
平成26年度	23,392	26	263	686	-423
平成27年度	25,375	693	190	800	-610
平成28年度	27,104	702	277	797	-520

※「日本の図書館」2013～2017 各年の掲載データを基に作成

(4) 配本サービスの利用状況

配本サービスの利用状況は表 2-12 のとおりで、市役所、布袋支所、宮田支所が多く、返却は布袋支所、江南駅で多く利用されています。

全ての施設で貸出より返却での利用が多くなっています。

表 2-12 配本サービス施設別貸出・返却冊数

年度	貸出									返却									貸出合計 -返却合計		
	市役所	布袋支所	宮田支所	草井支所	老人福祉センター	北公民館	古知野西公民館	古知野西公民館	古知野西公民館	布袋南部地区学習等供用施設	貸出合計	市役所	布袋支所	宮田支所	草井支所	老人福祉センター	北公民館	古知野西公民館		古知野西公民館	布袋南部地区学習等供用施設
平成28年度	1,288	1,170	1,459	935	1,057	316	804	70	7,099	2,169	7,298	6,000	2,394	2,343	669	1,652	292	9,236	32,053	-24,954	
平成29年度	1,131	1,229	1,817	931	994	233	827	87	7,249	2,018	8,094	6,587	2,605	2,270	797	1,502	217	9,406	33,496	-26,247	

出典) 平成 29、30 年度第 1 回江南市図書館運営委員会会議録 別紙-2

2.7. 他自治体図書館との整備水準の比較

(1) 県内図書館との比較

1) 中央図書館の比較

愛知県内の 37 自治体（町村を除く）の中央図書館の整備状況を比較した結果を表 2-13 に示します。現江南市立図書館では、開館日数以外の全ての項目が平均を下回る水準にあります。

表 2-13 県内自治体中央図書館の整備状況(1)

No.	館名	奉仕人口 (人)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	貸出数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 (千円)	開館日数 (日)
1	江南市立図書館	101,053	962	121,745	399,171	27,104	12,070	338
2	豊田市中央図書館	422,571	12,567	1,762,706	3,310,795	224,755	109,750	305
3	一宮市立中央図書館	386,343	6,702	582,474	1,660,341	258,644	55,936	323
4	岡崎市立中央図書館	382,784	7,895	893,255	2,247,483	244,332	53,091	305
5	豊橋市中央図書館	378,485	5,655	674,947	932,586	54,827	62,209	290
6	春日井市図書館	311,327	4,983	784,900	1,320,118	156,038	40,000	307
7	安城市図書情報館	185,818	6,808	706,388	1,593,033	178,435	94,112	252
8	豊川市中央図書館	185,273	5,773	485,636	946,997	62,301	61,216	300
9	西尾市立図書館	170,734	2,722	722,724	1,006,801	76,869	49,445	298
10	小牧市立図書館	153,655	2,224	327,226	524,752	47,437	47,928	341
11	刈谷市中央図書館	149,262	5,509	735,760	839,347	10,801	45,521	288
12	稲沢市立中央図書館	138,089	4,968	625,393	1,490,040	176,909	37,388	282
13	瀬戸市立図書館	130,908	1,412	309,914	651,228	30,745	28,657	333
14	半田市立図書館	118,733	1,749	428,753	804,480	56,437	30,699	301
15	東海市立中央図書館	113,535	2,411	302,232	750,591	51,541	25,529	307
16	おおぶ文化交流の杜図書館	89,788	3,650	336,655	1,378,619	125,657	40,952	342
17	あま市美和図書館	88,527	754	118,084	220,894	13,493	7,252	299
18	日進市立図書館	88,024	6,102	363,427	1,114,716	38,616	27,045	291
19	知多市立中央図書館	86,084	3,229	327,602	538,188	27,696	19,450	294
20	北名古屋市東図書館	84,433	3,022	185,612	422,267	11,448	20,339	287
21	尾張旭市立図書館	82,605	1,393	205,654	618,558	33,851	19,247	304
22	蒲郡市立図書館	81,291	1,986	272,189	425,593	38,015	21,016	293
23	犬山市立図書館	74,790	4,962	238,165	430,836	9,967	14,793	295
24	碧南市民図書館	71,673	4,327	423,888	368,300	29,802	15,133	295
25	知立市図書館	71,010	2,477	226,321	413,458	13,779	18,511	293
26	豊明市立図書館	68,706	2,923	271,860	440,107	11,339	15,884	287
27	清須市立図書館	67,118	3,339	127,645	228,174	15,144	13,847	287
28	愛西市中央図書館	64,699	2,012	144,170	175,317	3,134	18,416	274
29	田原市中央図書館	64,078	3,972	451,379	765,448	74,863	39,507	290
30	津島市立図書館	64,074	5,900	292,404	406,229	13,867	12,288	334
31	みよし市立中央図書館	60,383	3,807	211,679	386,484	13,187	43,538	218
32	常滑市立図書館	58,240	1,447	203,524	320,538	14,807	10,000	288
33	長久手市中央図書館	55,555	4,201	223,951	476,140	15,317	22,018	285
34	新城図書館（ふるさと情報館）	48,553	2,021	162,130	158,166	887	9,805	326
35	岩倉市図書館	47,758	2,588	177,875	280,082	12,274	18,913	307
36	高浜市立図書館	46,756	1,105	204,901	182,614	12,901	15,592	300
37	弥富市立図書館	44,399	1,978	174,198	142,596	5,424	7,259	301
	平均	130,733	3,771	400,199	766,786	59,261	32,010	299
	平均との差	▲ 29,680	▲ 2,809	▲ 278,454	▲ 367,615	▲ 32,157	▲ 19,940	39

※「日本の図書館」2017 の掲載データを基に作成、表 2-24 まで同様

※おおぶ文化交流の杜図書館の延床面積については、施設パンフレットのデータを記載

貸出数を開館日1日当たり、その他の指標を奉仕人口1人あたりで比較しても、現
 江南市立図書館では表 2-14 のとおり全ての値が平均を下回ります。

特に蔵書数は最下位の37位、延床面積・資料費も36位と低い水準にあり、中央図
 書館として相応しい蔵書の充実に向けて、施設の拡張と予算の確保が望まれる状況に
 あります。

表 2-14 県内自治体中央図書館の整備状況(2)

No.	館名	1日あたり		人口あたり									
		貸出数 (冊/日)	順 位	延床面積 (㎡/人)	順 位	蔵書冊数 (冊/人)	順 位	貸出数 (冊/人)	順 位	予約件数 (件/人)	順 位	資料費 (千円/人)	順 位
1	江南市立図書館	1,180.979	29	0.010	36	1.20	37	3.95	29	0.27	21	0.119	36
2	豊田市中央図書館	10,855.066	1	0.030	22	4.17	8	7.83	7	0.53	7	0.260	16
3	一宮市立中央図書館	5,140.375	5	0.017	28	1.51	35	4.30	27	0.67	5	0.145	33
4	岡崎市立中央図書館	7,368.797	2	0.021	27	2.33	29	5.87	16	0.64	6	0.139	34
5	豊橋市中央図書館	3,215.814	10	0.015	32	1.78	34	2.46	37	0.14	31	0.164	31
6	春日井市図書館	4,300.059	6	0.016	30	2.52	26	4.24	28	0.50	8	0.128	35
7	安城市図書情報館	6,321.560	3	0.037	16	3.80	14	8.57	5	0.96	4	0.506	3
8	豊川市中央図書館	3,156.657	11	0.031	20	2.62	25	5.11	24	0.34	16	0.330	8
9	西尾市立図書館	3,378.527	9	0.016	31	4.23	7	5.90	15	0.45	12	0.290	12
10	小牧市立図書館	1,538.862	21	0.014	34	2.13	32	3.42	31	0.31	18	0.312	9
11	刈谷市中央図書館	2,914.399	12	0.037	15	4.93	3	5.62	20	0.07	35	0.305	11
12	稲沢市立中央図書館	5,283.830	4	0.036	17	4.53	5	10.79	4	1.28	2	0.271	14
13	瀬戸市立図書館	1,955.640	17	0.011	35	2.37	28	4.97	26	0.23	24	0.219	24
14	半田市立図書館	2,672.691	13	0.015	33	3.61	17	6.78	9	0.48	9	0.259	17
15	東海市立中央図書館	2,444.922	15	0.021	26	2.66	24	6.61	10	0.45	11	0.225	23
16	おおぶ文化交流の杜図書館	4,031.050	7	0.041	13	3.75	15	15.35	1	1.40	1	0.456	4
17	あま市美和図書館	738.776	33	0.009	37	1.33	36	2.50	36	0.15	30	0.082	37
18	日進市立図書館	3,830.639	8	0.069	3	4.13	9	12.66	2	0.44	13	0.307	10
19	知多市立中央図書館	1,830.571	18	0.038	14	3.81	13	6.25	14	0.32	17	0.226	22
20	北名古屋市東図書館	1,471.314	23	0.036	18	2.20	31	5.00	25	0.14	32	0.241	19
21	尾張旭市立図書館	2,034.730	16	0.017	29	2.49	27	7.49	8	0.41	15	0.233	20
22	蒲郡市立図書館	1,452.536	25	0.024	24	3.35	20	5.24	22	0.47	10	0.259	18
23	犬山市立図書館	1,460.461	24	0.066	4	3.18	23	5.76	19	0.13	33	0.198	28
24	碧南市民図書館	1,248.475	27	0.060	7	5.91	2	5.14	23	0.42	14	0.211	25
25	知立市図書館	1,411.119	26	0.035	19	3.19	22	5.82	18	0.19	28	0.261	15
26	豊明市立図書館	1,533.474	22	0.043	11	3.96	11	6.41	11	0.17	29	0.231	21
27	清須市立図書館	795.031	32	0.050	9	1.90	33	3.40	32	0.23	25	0.206	26
28	愛西市中央図書館	639.843	34	0.031	21	2.23	30	2.71	35	0.05	36	0.285	13
29	田原市中央図書館	2,639.476	14	0.062	6	7.04	1	11.95	3	1.17	3	0.617	2
30	津島市立図書館	1,216.254	28	0.092	1	4.56	4	6.34	13	0.22	27	0.192	29
31	みよし市立中央図書館	1,772.862	19	0.063	5	3.51	18	6.40	12	0.22	26	0.721	1
32	常滑市立図書館	1,112.979	30	0.025	23	3.49	19	5.50	21	0.25	23	0.172	30
33	長久手市中央図書館	1,670.667	20	0.076	2	4.03	10	8.57	6	0.28	20	0.396	5
34	新城図書館(ふるさと情報館)	485.172	36	0.042	12	3.34	21	3.26	33	0.02	37	0.202	27
35	岩倉市図書館	912.319	31	0.054	8	3.72	16	5.86	17	0.26	22	0.396	6
36	高浜市立図書館	608.713	35	0.024	25	4.38	6	3.91	30	0.28	19	0.333	7
37	弥富市立図書館	473.741	37	0.045	10	3.92	12	3.21	34	0.12	34	0.163	32
	平均	2,570.226		0.036		3.35		6.09		0.40		0.272	
	平均との差	▲ 1,389		▲ 0.026		▲ 2.14		▲ 2.14		▲ 0.13		▲ 0.152	

2) 市全体の整備状況の比較

地区図書館・分館などを含めた自治体内全体の整備状況（表 2-15 参照）でも、本市は多くの項目が平均に達していません。

表 2-15 県内自治体の市内全体での図書館整備状況(1)

No.	自治体名	館数 (館)	奉仕人口 (人)	蔵書冊数 (冊)	貸出数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 (千円)
1	江南市	1	101,053	121,745	399,171	27,104	12,070
2	豊田市	2	422,571	2,375,432	5,123,262	252,298	151,007
3	一宮市	7	386,343	1,062,905	3,031,821	290,049	102,493
4	岡崎市	3	382,784	1,059,182	2,820,585	369,977	62,565
5	豊橋市	4	378,485	1,003,918	1,791,728	172,231	62,209
6	春日井市	2	311,327	1,002,138	1,891,579	156,038	40,000
7	安城市	2	185,818	904,298	2,401,097	195,457	94,112
8	豊川市	6	185,273	679,500	1,221,799	63,043	61,216
9	西尾市	5	170,734	750,071	1,051,733	79,144	49,445
10	小牧市	5	153,655	564,681	1,186,865	122,661	47,928
11	刈谷市	4	149,262	905,458	1,113,819	14,544	58,103
12	稲沢市	4	138,089	646,829	1,522,969	177,921	37,629
13	瀬戸市	3	130,908	309,914	767,517	30,745	32,925
14	半田市	3	118,733	503,321	1,070,584	64,536	31,515
15	東海市	1	113,535	302,232	750,591	51,541	25,529
16	大府市	2	89,788	380,683	1,425,241	126,377	43,655
17	あま市	1	88,527	118,084	220,894	13,493	7,252
18	日進市	1	88,024	363,427	1,114,716	38,616	27,045
19	知多市	2	86,084	357,740	575,446	29,346	19,450
20	北名古屋	2	84,433	272,046	580,430	14,043	20,339
21	尾張旭市	1	82,605	205,654	618,558	33,851	19,247
22	蒲郡市	2	81,291	315,452	453,972	44,878	21,016
23	犬山市	2	74,790	259,208	440,431	10,347	15,092
24	碧南市	4	71,673	546,079	519,162	35,105	21,288
25	知立市	1	71,010	226,321	413,458	13,779	18,511
26	豊明市	2	68,706	298,162	490,815	14,020	17,120
27	清須市	2	67,118	127,645	234,930	16,296	13,847
28	愛西市	3	64,699	207,972	245,711	5,869	18,416
29	田原市	5	64,078	488,996	765,448	74,863	39,507
30	津島市	2	64,074	305,687	435,705	15,371	12,288
31	みよし市	2	60,383	211,679	386,484	16,080	45,100
32	常滑市	2	58,240	254,132	444,140	14,807	11,917
33	長久手市	1	55,555	223,951	476,140	15,317	22,018
34	新城市	1	48,553	162,130	158,166	887	9,805
35	岩倉市	1	47,758	177,875	280,082	12,274	18,913
36	高浜市	2	46,756	216,894	215,684	15,529	15,592
37	弥富市	1	44,399	174,198	142,596	5,424	7,259
	平均	3	130,733	488,801	994,144	71,185	35,498
	平均との差	▲ 2	▲ 29,680	▲ 367,056	▲ 594,973	▲ 44,081	▲ 23,428

本市の奉仕人口1人あたりの貸出数は、中央館のみの比較での29位から、市内全体の比較では32位に低下します。蔵書数が十分ではないことや、資料費の不足で新しい資料の購入が抑制されていることが影響し、貸出数が低い水準に止まっていると考えられます（表2-16参照）。

表 2-16 県内自治体の市内全体での図書館整備状況(2)

No.	自治体名	人口あたり							
		蔵書冊数 (冊/人)	順位	貸出数 (冊/人)	順位	予約件数 (件/人)	順位	資料費 (千円/人)	順位
1	江南市	1.20	37	3.95	32	0.27	22	0.119	36
2	豊田市	5.62	4	12.12	4	0.60	8	0.357	8
3	一宮市	2.75	30	7.85	9	0.75	7	0.265	18
4	岡崎市	2.77	29	7.37	14	0.97	5	0.163	34
5	豊橋市	2.65	32	4.73	30	0.46	14	0.164	32
6	春日井市	3.22	26	6.08	24	0.50	11	0.128	35
7	安城市	4.87	5	12.92	2	1.05	4	0.506	3
8	豊川市	3.67	21	6.59	21	0.34	19	0.330	10
9	西尾市	4.39	9	6.16	23	0.46	13	0.290	14
10	小牧市	3.67	20	7.72	10	0.80	6	0.312	11
11	刈谷市	6.07	3	7.46	13	0.10	35	0.389	7
12	稲沢市	4.68	7	11.03	6	1.29	2	0.272	16
13	瀬戸市	2.37	34	5.86	27	0.23	28	0.252	21
14	半田市	4.24	13	9.02	7	0.54	10	0.265	17
15	東海市	2.66	31	6.61	20	0.45	15	0.225	26
16	大府市	4.24	12	15.87	1	1.41	1	0.486	4
17	あま市	1.33	36	2.50	37	0.15	32	0.082	37
18	日進市	4.13	15	12.66	3	0.44	16	0.307	12
19	知多市	4.16	14	6.68	19	0.34	18	0.226	25
20	北名古屋	3.22	25	6.87	17	0.17	31	0.241	23
21	尾張旭市	2.49	33	7.49	12	0.41	17	0.233	24
22	蒲郡市	3.88	18	5.58	29	0.55	9	0.259	20
23	犬山市	3.47	23	5.89	25	0.14	33	0.202	30
24	碧南市	7.62	2	7.24	15	0.49	12	0.297	13
25	知立市	3.19	28	5.82	28	0.19	30	0.261	19
26	豊明市	4.34	11	7.14	16	0.20	29	0.249	22
27	清須市	1.90	35	3.50	34	0.24	26	0.206	27
28	愛西市	3.21	27	3.80	33	0.09	36	0.285	15
29	田原市	7.63	1	11.95	5	1.17	3	0.617	2
30	津島市	4.77	6	6.80	18	0.24	27	0.192	31
31	みよし市	3.51	22	6.40	22	0.27	23	0.747	1
32	常滑市	4.36	10	7.63	11	0.25	25	0.205	28
33	長久手市	4.03	16	8.57	8	0.28	21	0.396	5
34	新城市	3.34	24	3.26	35	0.02	37	0.202	29
35	岩倉市	3.72	19	5.86	26	0.26	24	0.396	6
36	高浜市	4.64	8	4.61	31	0.33	20	0.333	9
37	弥富市	3.92	17	3.21	36	0.12	34	0.163	33
	平均	3.84		7.16		0.45		0.287	
	平均との差	▲ 2.63		▲ 3.21		▲ 0.18		▲ 0.168	

(2) 全国の類似自治体との比較

1) 中央図書館の比較

総務省による人口と産業構造（産業別就業人口の構成比）に基づく市区町村の類型化で、本市と同類型（平成 29 年度：一般市のⅢ－2（人口 10 万人以上 15 万人未満、Ⅱ次Ⅲ次 90%以上、Ⅲ次 65%未満））に属する 30 自治体（本市を含む）の図書館の整備状況を比較した結果を表 2-17 に示します。

本市の奉仕人口は 30 自治体の中で 29 位、平均より 40 日多く開館していますが、その他の項目は平均を下回っています。

表 2-17 類似自治体の中央図書館の整備状況(1)

No.	館名	奉仕人口 (人)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	貸出数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 (千円)	開館日数 (日)
1	江南市立図書館	101,053	962	121,745	399,171	27,104	12,070	338
2	石巻市図書館	148,798	1,463	186,843	250,295	9,515	10,306	293
3	各務原市立中央図書館	148,409	4,015	550,311	957,230	76,104	26,722	281
4	周南市立中央図書館	147,482	3,681	338,069	385,235	81,549	34,425	274
5	藤枝市立駅南図書館	146,609	3,299	364,139	626,430	52,480	41,659	302
6	古河市古河図書館	144,715	604	127,968	122,968	5,512	3,878	332
7	桑名市立中央図書館	143,149	3,169	335,745	757,849	50,753	-	302
8	尾道市立中央図書館	142,462	3,376	539,921	711,855	18,204	26,494	301
9	焼津市立焼津図書館	142,016	1,422	202,897	538,625	55,842	18,268	288
10	稲沢市立中央図書館	138,089	4,968	625,393	1,490,040	176,909	37,388	282
11	富士宮市立中央図書館	134,526	3,802	422,310	738,504	48,360	46,920	276
12	瀬戸市立図書館	130,908	1,412	309,914	651,228	30,745	28,657	333
13	草津市立図書館	130,385	2,781	324,423	721,302	72,020	16,751	274
14	大東市立中央図書館	123,397	891	146,547	307,327	22,813	12,563	314
15	新居浜市立別子銅山記念図書館	122,347	3,072	301,622	625,504	29,238	23,229	295
16	佐野市立図書館	121,183	3,042	268,114	357,746	9,368	15,057	314
17	長浜市立長浜図書館	120,995	1,749	269,262	304,722	107,004	33,362	296
18	半田市立図書館	118,733	1,749	428,753	804,480	56,437	30,699	301
19	防府市立防府図書館	117,713	3,527	455,645	574,497	26,480	28,171	298
20	掛川市立中央図書館	117,609	4,611	333,809	584,586	65,281	25,616	284
21	桐生市立図書館	116,934	2,369	302,538	266,721	9,989	24,515	287
22	東近江市立八日市図書館	115,304	2,289	299,508	320,220	56,045	15,616	285
23	加須市立加須図書館	114,289	2,480	248,477	236,341	56,510	36,665	289
24	丸亀市立中央図書館	113,587	3,405	342,759	312,242	12,411	32,213	299
25	東海市立中央図書館	113,535	2,411	302,232	750,591	51,541	25,529	307
26	白山市立松任図書館	112,829	4,337	337,841	507,742	13,259	26,876	297
27	彦根市立図書館	112,786	2,743	756,285	583,378	40,236	26,865	278
28	小松市立図書館	108,573	1,840	202,584	246,260	25,193	15,978	303
29	可児市立図書館	101,148	1,528	170,661	293,295	16,968	20,936	292
30	三条市立図書館	100,884	2,233	284,225	357,495	37,244	22,629	325
	平均	125,015	2,641	330,018	526,129	44,704	24,830	298
	平均との差	▲ 23,962	▲ 1,679	▲ 208,273	▲ 126,958	▲ 17,600	▲ 11,932	40

奉仕人口1人あたりの値でも、県内自治体での比較と同様に、現江南市立図書館は特に蔵書数と資料費が低い水準にあります（表 2-18 参照）。貸出・予約の値は16位～18位で、平均に近い利用状況です。

表 2-18 類似自治体の中央図書館の図書館整備状況(2)

No.	館名	1日あたり		人口あたり									
		貸出数 (冊/日)	順位	延床面積 (㎡/人)	順位	蔵書冊数 (冊/人)	順位	貸出数 (冊/人)	順位	予約件数 (件/人)	順位	資料費 (千円/人)	順位
1	江南市立図書館	1,181	18	0.010	28	1.20	28	3.95	16	0.27	17	0.119	26
2	石巻市図書館	854	27	0.010	27	1.26	27	1.68	29	0.06	29	0.069	28
3	各務原市立中央図書館	3,407	2	0.027	7	3.71	5	6.45	4	0.51	6	0.180	20
4	周南市立中央図書館	1,406	17	0.025	10	2.29	20	2.61	23	0.55	4	0.233	11
5	藤枝市立駅南図書館	2,074	11	0.023	13	2.48	16	4.27	15	0.36	14	0.284	3
6	古河市古河図書館	370	30	0.004	30	0.88	30	0.85	30	0.04	30	0.027	29
7	桑名市立中央図書館	2,509	6	0.022	14	2.35	19	5.29	7	0.35	16	0.000	-
8	尾道市立中央図書館	2,365	8	0.024	12	3.79	4	5.00	10	0.13	24	0.186	19
9	焼津市立焼津図書館	1,870	15	0.010	26	1.43	26	3.79	17	0.39	11	0.129	23
10	稲沢市立中央図書館	5,284	1	0.036	3	4.53	2	10.79	1	1.28	1	0.271	6
11	富士宮市立中央図書館	2,676	3	0.028	6	3.14	7	5.49	6	0.36	13	0.349	1
12	瀬戸市立図書館	1,956	13	0.011	25	2.37	18	4.97	11	0.23	19	0.219	14
13	草津市立図書館	2,632	5	0.021	17	2.49	15	5.53	5	0.55	5	0.128	24
14	大東市立中央図書館	979	25	0.007	29	1.19	29	2.49	25	0.18	22	0.102	27
15	新居浜市立別子銅山記念図書館	2,120	9	0.025	8	2.47	17	5.11	9	0.24	18	0.190	18
16	佐野市立図書館	1,139	19	0.025	9	2.21	22	2.95	19	0.08	28	0.124	25
17	長浜市立長浜図書館	1,029	23	0.014	24	2.23	21	2.52	24	0.88	2	0.276	5
18	半田市立図書館	2,673	4	0.015	23	3.61	6	6.78	2	0.48	9	0.259	7
19	防府市立防府図書館	1,928	14	0.030	5	3.87	3	4.88	13	0.22	21	0.239	8
20	掛川市立中央図書館	2,058	12	0.039	1	2.84	10	4.97	12	0.56	3	0.218	15
21	桐生市立図書館	929	26	0.020	19	2.59	14	2.28	26	0.09	27	0.210	16
22	東近江市立八日市図書館	1,124	20	0.020	20	2.60	13	2.78	21	0.49	8	0.135	22
23	加須市立加須図書館	818	28	0.022	16	2.17	23	2.07	28	0.49	7	0.321	2
24	丸亀市立中央図書館	1,044	22	0.030	4	3.02	8	2.75	22	0.11	26	0.284	4
25	東海市立中央図書館	2,445	7	0.021	18	2.66	12	6.61	3	0.45	10	0.225	12
26	白山市立松任図書館	1,710	16	0.038	2	2.99	9	4.50	14	0.12	25	0.238	9
27	彦根市立図書館	2,098	10	0.024	11	6.71	1	5.17	8	0.36	15	0.238	10
28	小松市立図書館	813	29	0.017	21	1.87	24	2.27	27	0.23	20	0.147	21
29	可児市立図書館	1,004	24	0.015	22	1.69	25	2.90	20	0.17	23	0.207	17
30	三条市立図書館	1,100	21	0.022	15	2.82	11	3.54	18	0.37	12	0.224	13
	平均	1,787		0.021		2.65		4.18		0.35		0.201	
	平均との差	▲ 606		▲ 0.012		▲ 1.44		▲ 0.23		▲ 0.09		▲ 0.082	

2) 市全体の整備状況の比較

類似自治体の市全体の整備状況を比較しても、蔵書冊数など全ての項目が平均を下回っています（表 2-19 参照）。

表 2-19 類似自治体の市内全体での図書館整備状況（1）

No.	自治体名	館数 (館)	奉仕人口 (人)	延床 面積	蔵書冊数 (冊)	貸出数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 (千円)
1	江南市	1	101,053	962	121,745	399,171	27,104	12,070
2	石巻市	9	148,798	2,672	256,848	288,942	10,798	10,306
3	各務原市	4	148,409	4,691	604,296	1,150,175	80,763	26,722
4	周南市	8	147,482	6,751	657,776	837,275	102,128	38,045
5	藤枝市	5	146,609	5,117	634,955	938,084	86,902	41,659
6	古河市	3	144,715	3,508	300,034	318,789	8,904	14,875
7	桑名市	3	143,149	6,695	544,624	1,209,514	73,045	9,311
8	尾道市	7	142,462	7,076	599,613	715,397	37,947	26,494
9	焼津市	3	142,016	2,915	370,509	762,699	65,005	27,098
10	稲沢市	4	138,089	8,013	646,829	1,522,969	177,921	37,629
11	富士宮市	5	134,526	5,092	599,667	1,051,895	72,795	56,336
12	瀬戸市	3	130,908	1,419	309,914	767,517	30,745	32,925
13	草津市	3	130,385	3,742	489,578	1,159,496	129,586	30,262
14	大東市	4	123,397	3,683	460,178	806,392	47,360	35,165
15	新居浜市	3	122,347	3,235	342,174	729,168	31,735	25,081
16	佐野市	4	121,183	4,948	475,537	545,266	13,402	27,764
17	長浜市	7	120,995	8,820	1,056,588	969,293	152,085	33,362
18	半田市	3	118,733	2,047	503,321	1,070,584	64,536	31,515
19	防府市	3	117,713	3,543	466,716	598,036	27,090	28,171
20	掛川市	6	117,609	9,386	663,903	862,874	74,997	25,616
21	桐生市	3	116,934	3,131	475,048	352,921	11,264	28,415
22	東近江市	9	115,304	10,142	997,959	980,213	82,177	55,012
23	加須市	4	114,289	6,475	550,587	628,827	71,165	36,665
24	丸亀市	4	113,587	5,248	569,788	816,975	18,539	34,720
25	東海市	1	113,535	2,411	302,232	750,591	51,541	25,529
26	白山市	6	112,829	6,317	552,481	767,608	25,129	41,139
27	彦根市	2	112,786	2,744	780,545	606,722	42,437	29,854
28	小松市	4	108,573	3,384	275,322	412,609	29,956	23,702
29	可児市	4	101,148	2,115	287,253	521,559	38,284	20,936
30	三条市	5	100,884	2,658	371,795	487,649	41,639	24,342
	平均	4	125,015	4,631	508,927	767,640	57,566	29,691
	平均との差	▲ 3	▲ 23,962	▲ 3,669	▲ 387,182	▲ 368,469	▲ 30,462	▲ 17,621

奉仕人口1人あたりでは蔵書冊数が最下位、資料費は27位、貸出数も26位となり、県内自治体の比較と同様に類似自治体の中でも低い水準に止まっています（表2-20参照）。

表2-20 類似自治体の市内全体での図書館整備状況（2）

No.	自治体名	人口あたり									
		延床面積	順位	蔵書冊数 (冊/人)	順位	貸出数 (冊/人)	順位	予約件数 (件/人)	順位	資料費 (千円/人)	順位
1	江南市	0.010	30	1.20	30	3.95	26	0.27	20	0.119	27
2	石巻市	0.018	27	1.73	29	1.94	30	0.07	29	0.069	29
3	各務原市	0.032	14	4.07	14	7.75	8	0.54	9	0.180	26
4	周南市	0.046	10	4.46	9	5.68	17	0.69	5	0.258	12
5	藤枝市	0.035	13	4.33	11	6.40	14	0.59	8	0.284	7
6	古河市	0.024	23	2.07	28	2.20	29	0.06	30	0.103	28
7	桑名市	0.047	8	3.80	18	8.45	5	0.51	12	0.065	30
8	尾道市	0.050	7	4.21	13	5.02	23	0.27	21	0.186	25
9	焼津市	0.021	26	2.61	25	5.37	20	0.46	13	0.191	24
10	稲沢市	0.058	4	4.68	8	11.03	1	1.29	1	0.272	9
11	富士宮市	0.038	12	4.46	10	7.82	7	0.54	11	0.419	2
12	瀬戸市	0.011	29	2.37	27	5.86	16	0.23	23	0.252	13
13	草津市	0.029	18	3.75	19	8.89	3	0.99	3	0.232	17
14	大東市	0.030	17	3.73	20	6.53	13	0.38	16	0.285	6
15	新居浜市	0.026	20	2.80	23	5.96	15	0.26	22	0.205	23
16	佐野市	0.041	11	3.92	17	4.50	25	0.11	27	0.229	18
17	長浜市	0.073	3	8.73	1	8.01	6	1.26	2	0.276	8
18	半田市	0.017	28	4.24	12	9.02	2	0.54	10	0.265	10
19	防府市	0.030	16	3.96	16	5.08	22	0.23	24	0.239	16
20	掛川市	0.080	2	5.65	4	7.34	9	0.64	6	0.218	21
21	桐生市	0.027	19	4.06	15	3.02	28	0.10	28	0.243	14
22	東近江市	0.088	1	8.66	2	8.50	4	0.71	4	0.477	1
23	加須市	0.057	5	4.82	7	5.50	18	0.62	7	0.321	4
24	丸亀市	0.046	9	5.02	5	7.19	10	0.16	26	0.306	5
25	東海市	0.021	24	2.66	24	6.61	12	0.45	14	0.225	19
26	白山市	0.056	6	4.90	6	6.80	11	0.22	25	0.365	3
27	彦根市	0.024	22	6.92	3	5.38	19	0.38	18	0.265	11
28	小松市	0.031	15	2.54	26	3.80	27	0.28	19	0.218	20
29	可児市	0.021	25	2.84	22	5.16	21	0.38	17	0.207	22
30	三条市	0.026	21	3.69	21	4.83	24	0.41	15	0.241	15
	平均	0.037		4.10		6.12		0.46		0.241	
	平均との差	▲ 0.028		▲ 2.89		▲ 2.17		▲ 0.19		▲ 0.121	

(3) 全国の人口規模 10 万人~15 万人の自治体との比較

1) 中央図書館の比較

現江南市立図書館の状況について、「日本の図書館 2017」掲載の奉仕人口が 10 万人以上 15 万人未満の自治体の中央図書館の平均値と比較します。現江南市立図書館では、開架図書割合と開館日数以外の全ての項目で平均を下回っています（表 2-21 参照）。奉仕人口 1 人あたりの値では、貸出・予約が平均に近い順位にあるのに対して、延床面積が 98 位、蔵書冊数が 99 位と低水準にあります（表 2-22 参照）。

表 2-21 人口 10~15 万人自治体の中央図書館の平均との比較 (1)

	奉仕人口 (人)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	貸出数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 (千円)	開館日数 (日)
江南市立図書館	101,053	962	121,745	399,171	27,104	12,070	338
104自治体の 中央図書館の平均	123,312	2,804	322,563	488,732	54,039	27,367	298
平均との差	▲ 22,259	▲ 1,842	▲ 200,818	▲ 89,561	▲ 26,935	▲ 15,297	40

表 2-22 人口 10~15 万人自治体の中央図書館の平均との比較 (2)

	1日あたり		人口あたり									
	貸出数 (冊/日)	順位	延床面積 (㎡/人)	順位	蔵書冊数 (冊/人)	順位	貸出数 (冊/日)	順位	予約件数 (件/日)	順位	資料費 (千円/日)	順位
江南市立図書館	1,180.979	68	0.010	98	1.20	99	3.95	47	0.27	63	0.119	82
104自治体の 中央図書館の平均	1,630.714	/	0.023	/	2.62	/	3.96	/	0.43	/	0.221	/
平均との差	▲ 450	/	▲ 0.013	/	▲ 1.42	/	▲ 0.01	/	▲ 0.17	/	▲ 0.102	/

2) 市全体の整備状況の比較

自治体内全体の状況と比較しても、本市の整備水準は平均に達せず、特に蔵書冊数の少なさが目立ちます（表 2-23 参照）。人口 1 人あたりの蔵書冊数は 103 位で、非常に低い水準となっています（表 2-24 参照）。

表 2-23 人口 10~15 万人自治体の平均との比較 (1)

	館数 (館)	奉仕人口 (人)	蔵書冊数 (冊)	貸出数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 (千円)
江南市	1	101,053	121,745	399,171	27,104	12,070
104自治体の平均	5	123,312	489,959	763,418	80,147	30,550
平均との差	▲ 4	▲ 22,259	▲ 368,214	▲ 364,247	▲ 53,043	▲ 18,480

表 2-24 人口 10~15 万人自治体の平均との比較 (2)

	人口あたり							
	蔵書冊数 (冊/人)	順位	貸出数 (冊/人)	順位	予約件数 (件/人)	順位	資料費 (千円/人)	順位
江南市	1.20	103	3.95	81	0.27	71	0.119	89
104自治体の平均	3.98	/	6.16	/	0.64	/	0.247	/
平均との差	▲ 2.78	/	▲ 2.21	/	▲ 0.37	/	▲ 0.128	/

3. 江南市の概要・まちづくりの方向性と図書館の役割

3.1. 江南市の概要

(1) 江南市の歴史・変遷

濃尾平野北部、木曾川に接する肥沃な扇状地が広がり、温暖な気候に恵まれた江南の地には、先土器時代から人が住んでいました。市内では縄文時代の土器の破片が発見され、狩猟や採集で生活していた様子がうかがえます。

5世紀から6世紀の古墳時代には二子山古墳や富士塚古墳が築造され、有力な豪族が支配していたことがわかります。応仁の乱の後には豪商・生駒氏がこの地に移り住み、大きな影響力を持つようになりました。



図 3-1 二子山古墳
出典) 江南市観光協会HP



図 3-2 曼陀羅寺書院
関ヶ原の戦の折、徳川方の武将、池田輝政らが戦略会議を開いた場所
出典) 江南市HP

戦国時代には生駒の方が織田信長の室として嫁いだことから一族の地位が確立し、生駒家の由緒と武勲が刻まれた富士塚の碑など、戦国武将にまつわる史跡が現在も多く残っています。また、後醍醐天皇が創建した古刹・曼陀羅寺には、織田・豊臣・徳川氏から下付された古文書が多く残され、山内の慈光院には豊臣秀吉の念持仏であった釈迦尊像も安置されています。

江戸時代には木曾川沖積層の砂質土壌に合った茶・桑・大豆・大根などの畑作が盛んになり、市域南部に岩倉街道から分岐した往来街道が通ったことから物資の集積場として繁栄、商業都市として大きくなります。

明治以降は養蚕による絹織物、その後は人絹（化学繊維）織物の室内装飾品を多く生産し、機械金属工業・食品加工業も伸展しました。

大正元年には現在の名鉄犬山線が開通してより交通の利便性が高まり、周辺都市との結び付きも強まりました。

昭和29年6月1日に丹羽郡古知野町・布袋町、葉栗郡宮田町・草井村の4か町村の合併により江南市が発足、都市化が進みます。昭和30年代半ばから昭和50年頃にかけて、江南団地の誘致などにより大幅に人口が増加し、名古屋圏のベッドタウンとしての機能を強めながら発展し、現在に至っています。



図 3-3 江南市民まつり

市民の憩い・ふれあいの施設「すいとびあ江南」で開催
出典) 江南市観光協会HP

(2) 人口

平成 30 年 4 月末現在の総人口は 100,754 人、世帯数は 40,840 世帯であり、市政施行の昭和 29 年から平成 29 年まで、図 3-4 のとおり推移しています。

現在も総人口の 9.8%が居住する江南団地（藤ヶ丘）の建設や宅地の造成が進んだ時期に急速に人口が増えましたが、平成 22 年で増加が止まり、平成 25 年に微増しますがその後は減少傾向が続いています。

世帯数は増加していますが、一世帯あたりの平均人口は昭和 29 年の 5.3 人から平成 29 年は 2.5 人になり、継続して減少しています。

年齢別の人口構成は図 3-5 のとおりで、平成 17 年から平成 27 年の 10 年間で年少人口と生産年齢人口が約 12%減少したのに対し、65 歳以上人口は 44.4%増加し、高齢化が進行しています。平成 27 年の高齢化率は 26.24%で、全国平均 26.64%より若干低く、愛知県平均 23.79%を上回っている状況です。

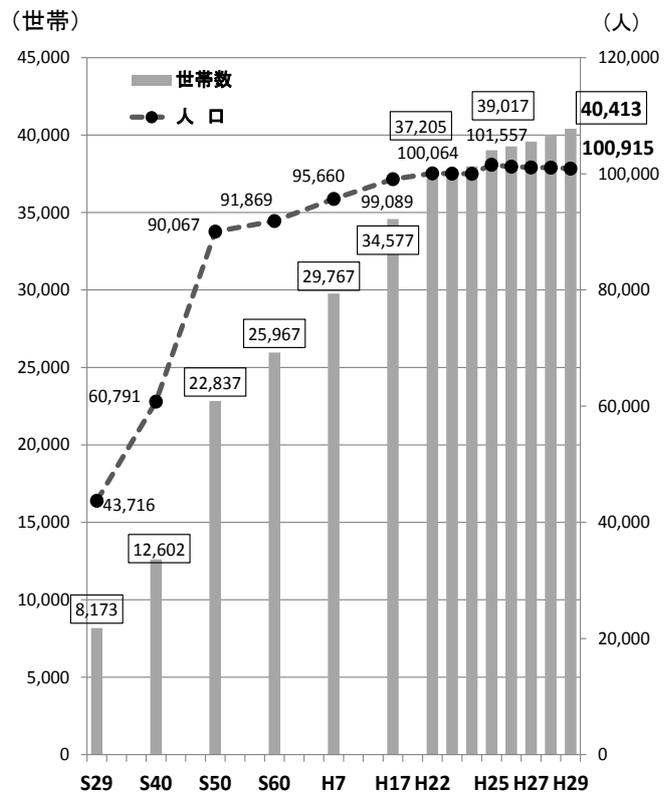


図 3-4 住民基本台帳人口と世帯数の推移

※各年 4 月 1 日、昭和 29 年のみ 6 月 1 日
江南市 HP「こうなんの統計」のデータを基に作成

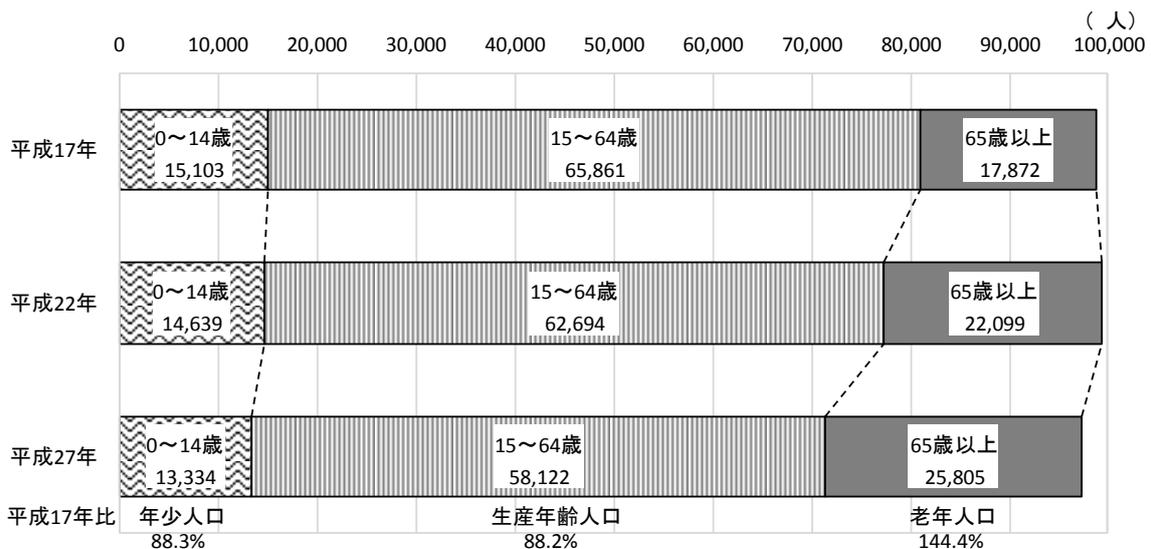


図 3-5 年齢別人口構成の推移

※国勢調査結果（総務省統計局）を基に作成

国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』によれば、本市では人口の減少が続き平成57年の人口は8万人を下回りますが、65歳以上の人口は増え続けて約3万人となり、高齢化率は38.6%に達する見込みです。

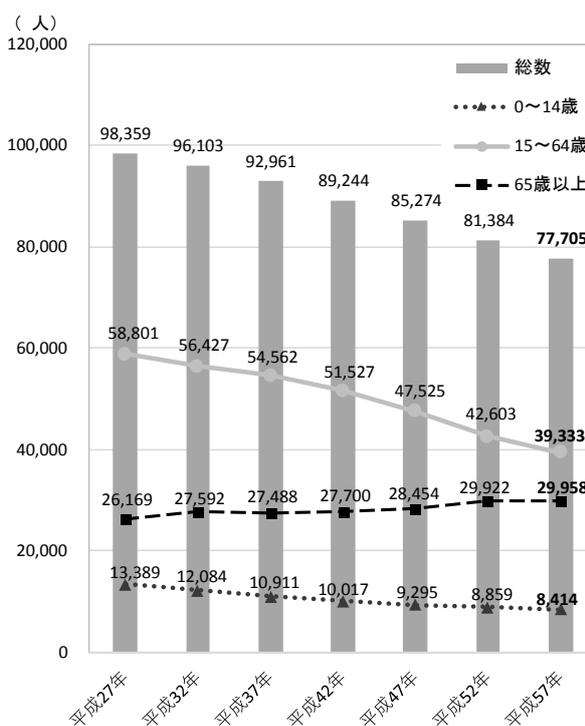


図 3-6 江南市の将来人口推計

※国立社会保障・人口問題研究所の推計値を基に作成

(3) 通勤・通学動向

本市は夜間人口が昼間人口より多く、宅地が多い住宅都市（ベッドタウン）です。夜間人口に対する昼間人口の割合は平成27年の国勢調査で84.1%であり、大きな変化なく80%台で推移してきました。

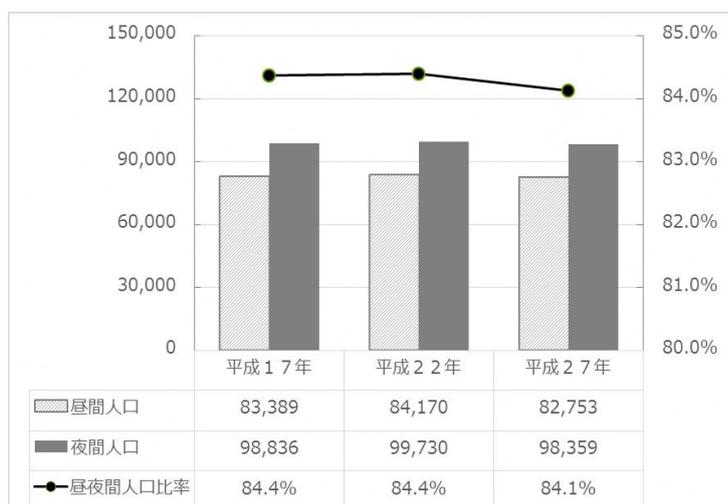


図 3-7 昼夜間人口の推移

※国勢調査結果（総務省統計局）を基に作成

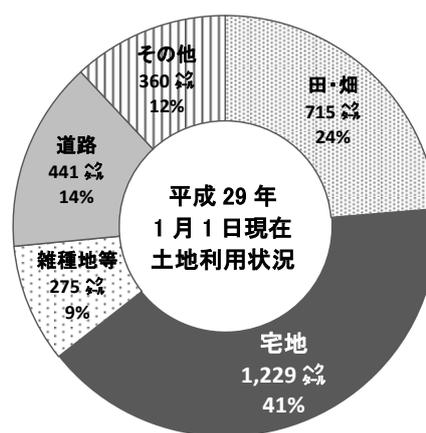


図 3-8 土地利用状況

※江南市HP「こうなんの統計」のデータを基に作成

平成 27 年 10 月 1 日の国勢調査では昼間に市外へ流出する人口のうち就業者が約 90%を占め、通学者は 10%です。

市外の通勤・通学地は名古屋市が 27%ともっとも多く、市外から本市へ通勤・通学している人は、一宮市の常住者がもっとも多く約 30%を占め、岐阜県からの通勤・通学も 17%を占めています。

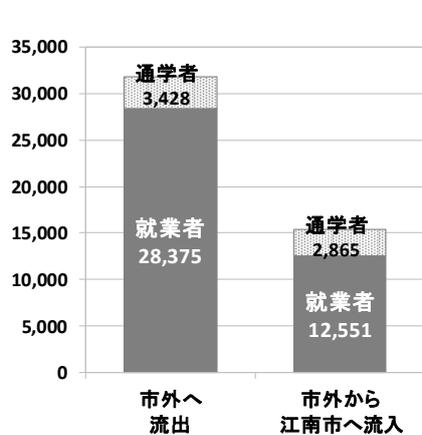


図 3-9 移動人口の通勤・通学割合

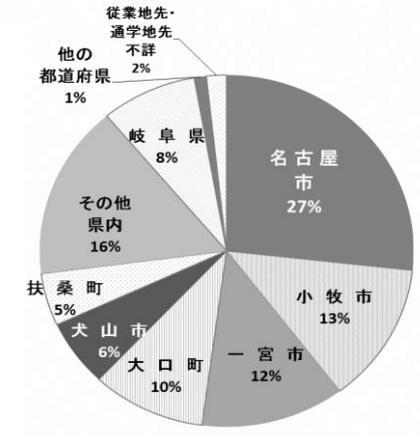


図 3-10 市外へ流出する人の通勤・通学先

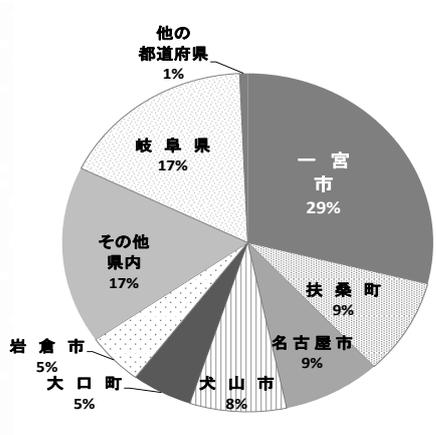


図 3-11 市内へ通勤・通学する人の常住地

※図 3-9, 10, 11 は、国勢調査結果（総務省統計局）を基に作成

(4) 産業・経済動向

1) 工業動向

平成 26 年度までの推移では、市内の事業所数・従業者数は微減傾向にあります。事業所の従業者規模は 4～9 人が半数以上で 500 人以上の事業所は無く、小規模の事業所が多くを占めています。

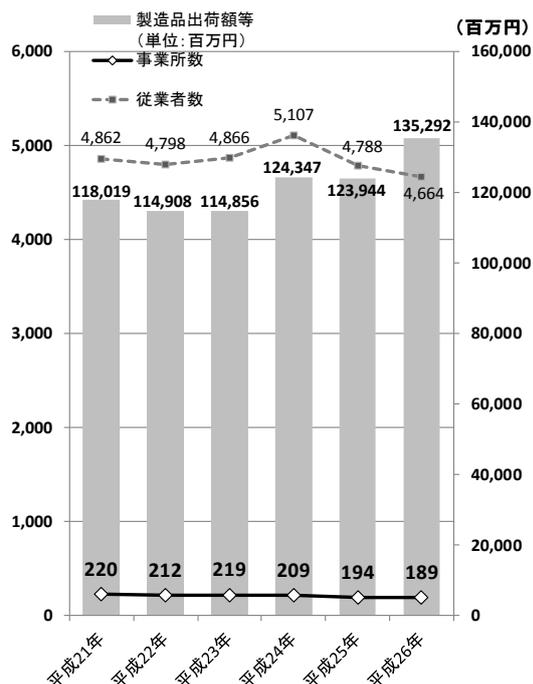


図 3-12 事業所、従業者数、製造品出荷額などの推移（従業員 4 人以上の事業所）

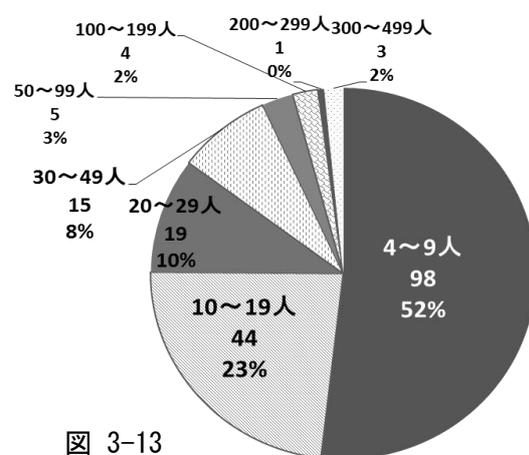


図 3-13 従業者規模別事業所数（平成 26 年 12 月 31 日現在）

※図 3-12, 13 は、国勢調査結果（経済産業省）を基に作成

本市はインテリア織物の産地として発展し、中でもカーテン地は、デザイン・品質・量ともに全国から高い評価を得ています。市内には紡績工場のほかにも、乳製品や金属製品の工場があり、製造業が主要産業となっています。豊富で良質な地下水を利用した地酒やきしめんなどの麺類も生産され、土産物に創作和菓子も人気があります。

表 3-1 産業（中分類）別事業所数・従業者数及び製造品出荷額など

（平成 26 年 12 月 31 日現在：上位 10 業種）

★事業所数 上位10業種 (従業員4人以上の事業所)			★従業者数 上位10業種			★製造品出荷額 上位10業種 (単位:万円)		
No.	業種 (産業中分類)	事業所数	No.	業種 (産業中分類)	従業者数	No.	業種 (産業中分類)	製造品 出荷額等
1	繊維	37	1	食料品	990	1	食料品	4,104,504
2	生産用機械	31	2	プラスチック	679	2	生産用機械	2,240,434
3	金属製品	30	3	生産用機械	611	3	プラスチック	1,201,433
4	プラスチック	14	4	繊維	552	4	繊維	1,008,657
5	食料品	12	5	金属製品	471	5	金属製品	991,791
6	はん用機械	10	6	輸送機械	228	6	輸送機械	427,033
7	輸送機械	10	7	その他	225	7	窯業・土石	417,695
8	家具・装備品	6	8	ゴム製品	193	8	印刷	277,246
9	印刷	6	9	窯業・土石	137	9	パルプ・紙	207,673
10	窯業・土石	6	10	パルプ・紙	119	10	はん用機械	169,764

※工業統計調査結果（経済産業省）を基に作成

2) 商業動向

卸売業・小売業の商店数・従業者数・年間商品販売額は、平成3年まで増加を続けた後は大きな変化なく推移し、平成19年以降は減少に転じています。

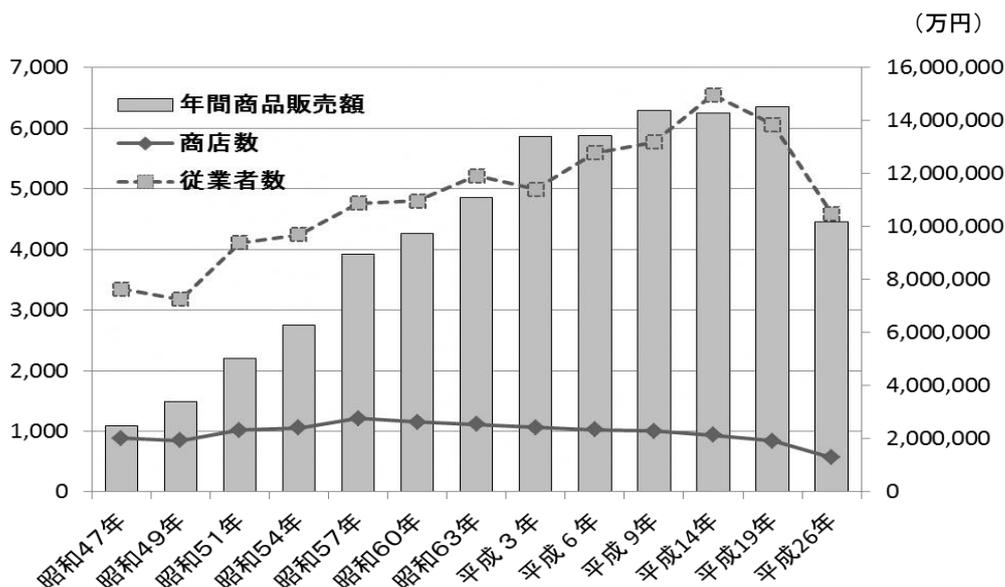


図 3-14 飲食店を除いた年間商品販売額・商店数・従業者数の推移

※商業統計調査結果（経済産業省）を基に作成

3) 農業動向

農家数、耕地とも減少傾向にあります。大根、ねぎ、白菜などの露地野菜を主体に生産しています。布袋地区では「越津ねぎ」が秋冬ねぎとして生産され「あいちの伝統野菜」に認定されているほか、宮田地区はなばなの産地で、「江南なばな」として出荷されています。

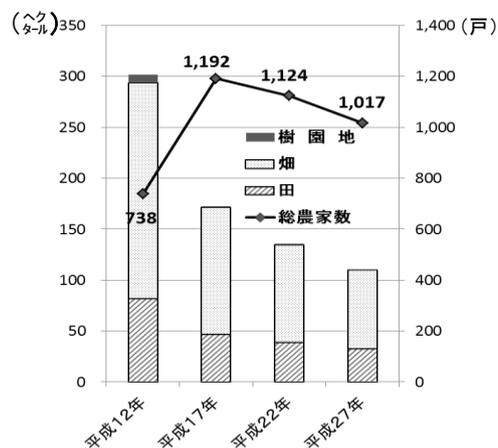


図 3-15 農家数、作付面積の推移

※農林業センサス結果（農林水産省）を基に作成

(5) 観光動向

戦国武将ゆかりの史跡をめぐる散策を楽しめるほか、曼陀羅寺公園の藤などの自然資源や特産品を活かしたイベントも年間を通じて開催され、魅力的な観光資源を有しています。特に「江南藤まつり」は多くの人を集め、来場者数は増加傾向にあります。

表 3-2 市内で実施される主なイベント

名称	開催時期	場所	概要
五条川桜まつり	4月上旬	五条川堤防	水面に映った桜が楽しめる
江南藤まつり	4月下旬～5月上旬	曼陀羅寺公園	広さ 4,700 m ² 、最長 75mの藤棚に藤が咲き誇る中、各種イベントが開催される
あじさい祭り	6月	音楽寺	33種約 1,200株のあじさいなどが楽しめる
江南市民サマーフェスタ	8月	布袋駅周辺及び江南駅周辺	市内の商店街が中心となったお祭り。「阿波踊り大会」にはいろいろな団体が参加する
江南市民花火大会 江南市民まつり	10月	すいとびあ江南	「音楽花火」が名物 市内商工業者と市民が一体となって開催
農業まつり	4月 11月	愛知北農業協同組合本店 すいとびあ江南	農家のほか、市民から出品された農産物を一堂に展示した農業総合品評会や江南産野菜の即売、その他多くの催し物が行われる
北野天神社筆まつり	1月	北野天神社	長さ約 4m重さ 50kgほどの大筆が御所車に載せられる「大筆奉納行列」が行われる

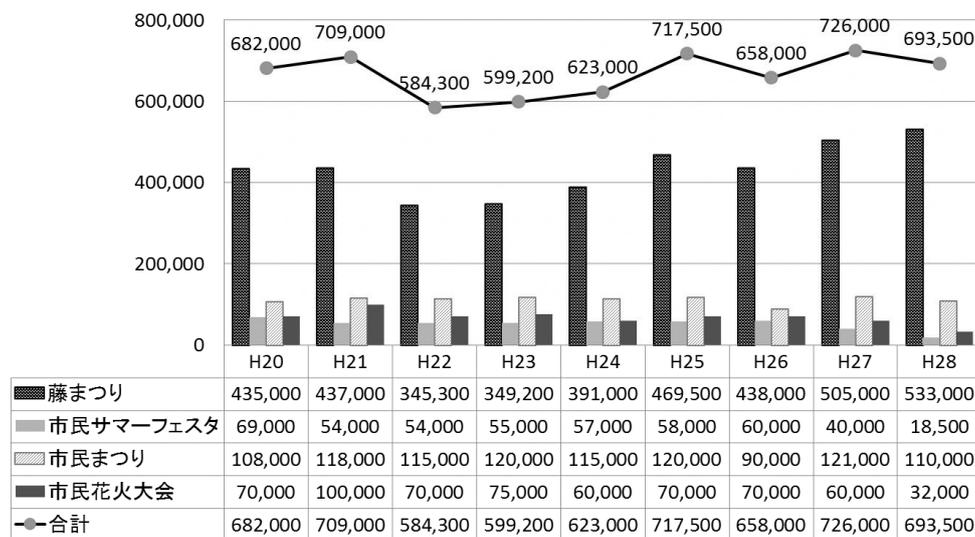


図 3-16 主なイベントの来場者数の推移

※江南市HP オープンデータカタログ観光・江南市催事・来場者一覧表（観光部門）から作成

(6) 運輸（公共交通の状況）

市内には名鉄犬山線の2カ所の駅があり、名鉄バスと大口町コミュニティバスも定期路線を有しています。

「江南市地域公共交通基礎調査」（平成28年度）では、駅から半径1km、バス停から半径500m圏域の人口カバー率は78.7%となっており、鉄道や路線バス、いこまいCAR（※）などにより、市内全域の移動サービスが確保されています。

（※）市民の市内移動の交通手段として、市が運行しているタクシーを利用した交通サービス

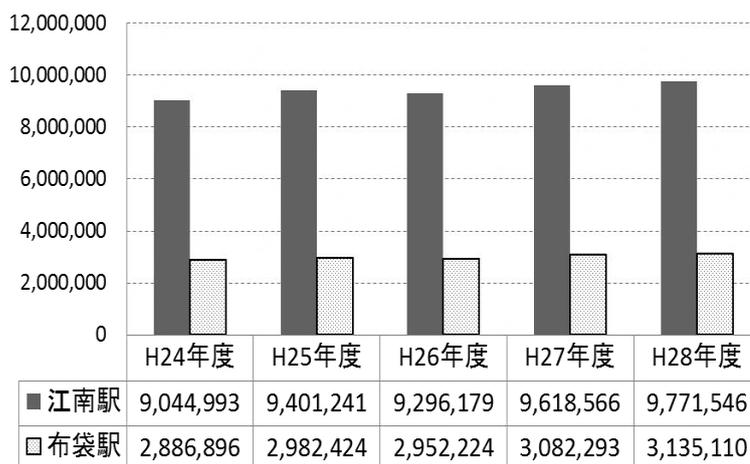


図 3-17 名鉄電車乗降客数（乗車人員・降車人員合計）の推移

※定期利用が多く定期外は江南駅約25%、布袋駅約30%
江南市HP「こうなんの統計」のデータを基に作成

表 3-3 名鉄バス路線乗降客数（平成29年5月調べ）

路線	停留所数	乗降客数	路線	停留所数	乗降客数
江南駅～名鉄一宮駅	37(12)	3,600	江南駅～江南団地 (古知野高校経由)	11(11)	461
宮田本郷～名鉄一宮駅	24(3)	2,443	江南団地～名鉄一宮駅	26(7)	398
布袋駅～江南駅～江南厚 生病院～すいとぴあ江南	17(17)	756	江南駅～江南団地～ 川島(直通系統)	21(15)	89
江南駅～江南団地 (ヴィアモール経由)	11(11)	653	江南駅～江南団地～江 南厚生病院(直通系統)	17(17)	88

※停留所数のうち()は、市内にある停留所数

5月のうち1日間の統計をとったもの。市外の停留所での乗降客数を含む。

江南市HP「こうなんの統計」のデータを基に作成

3.2. まちづくりの方向性

(1) 上位・関連計画の整理

本市では、市民と行政の“総合的かつ計画的なまちづくりの指針”となる総合計画を策定し、行政分野や施策ごとに個別の計画をたてて体系的にまちづくりを進めています。最上位計画に位置付けられる「第6次江南市総合計画」のほか、各種計画で目指すまちづくりの方向性と図書館づくりで踏まえるべき事項は次のとおりです。

1) 最上位計画：第6次江南市総合計画「愛と知との江南市計画」

人口減少社会を前提とした人口減少抑制策の実施を基本に、平成30年度から39年度までの10年間で戦略的な施策実施により地域の魅力向上を図る計画です。

基本構想に位置づけられた本市の将来像の実現を図るため、5つの基本目標に対応した5分野ごとにめざす成果を柱立てし、展望や目標、関連する取り組みを「分野別計画」として示しています。本市が持続的に発展していくための地域社会の実現を、市民と行政が協働でめざすこと、市長が強く推進する政策を「市長の戦略政策」として示していることが計画の特徴です。図書館施策は「ひとづくり分野」「生涯学習」の政策で明記しています。

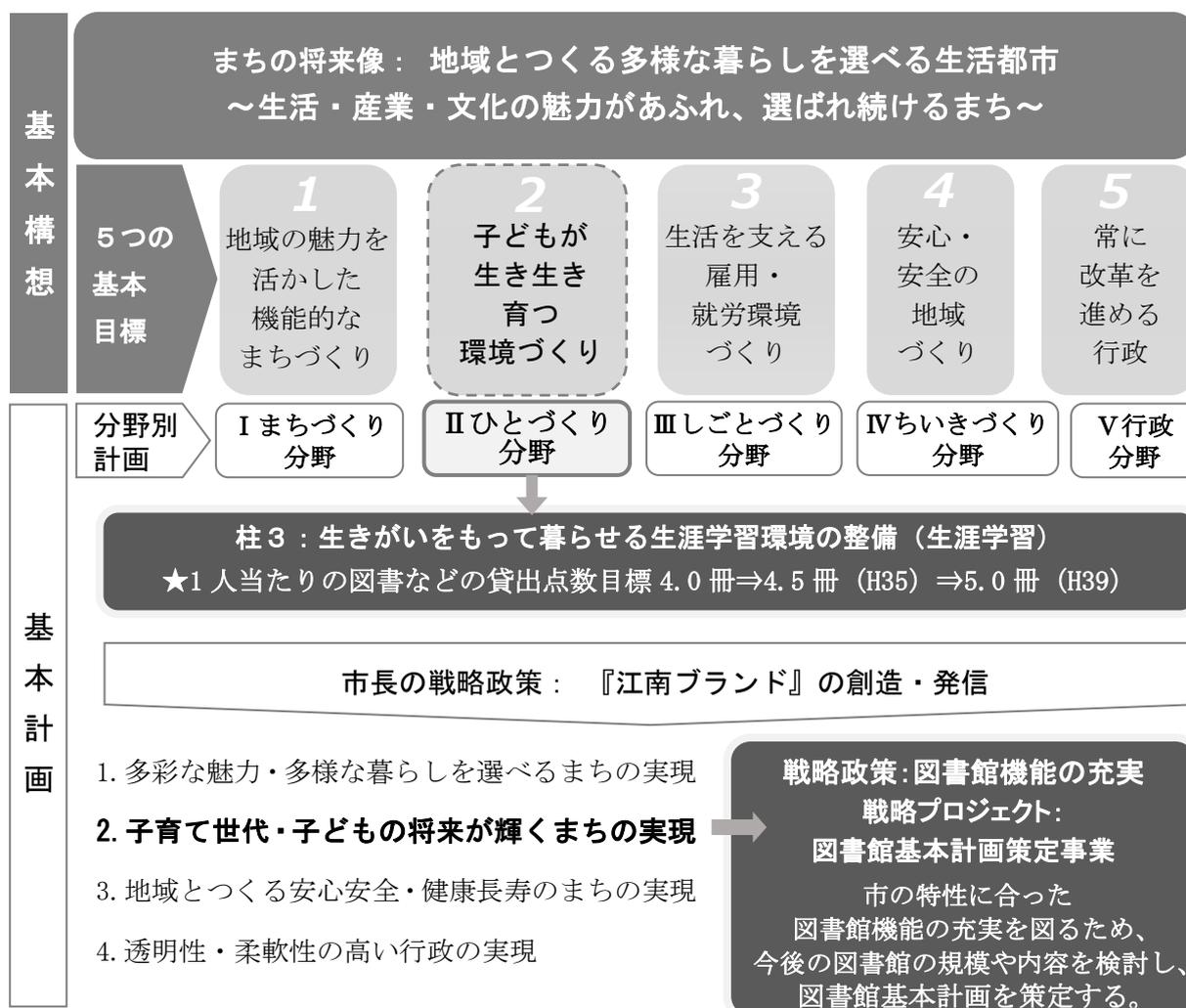


図 3-18 第6次総合計画の概要

2) まちづくり分野の計画

総合計画に次ぐまちづくりの指針として「江南市都市計画マスタープラン」で土地利用や施設整備の方針などを示しています。また、「まち・ひと・しごと創生法」の制定に伴い策定された「江南市人口ビジョン」、「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の方向性も踏まえる必要があります。

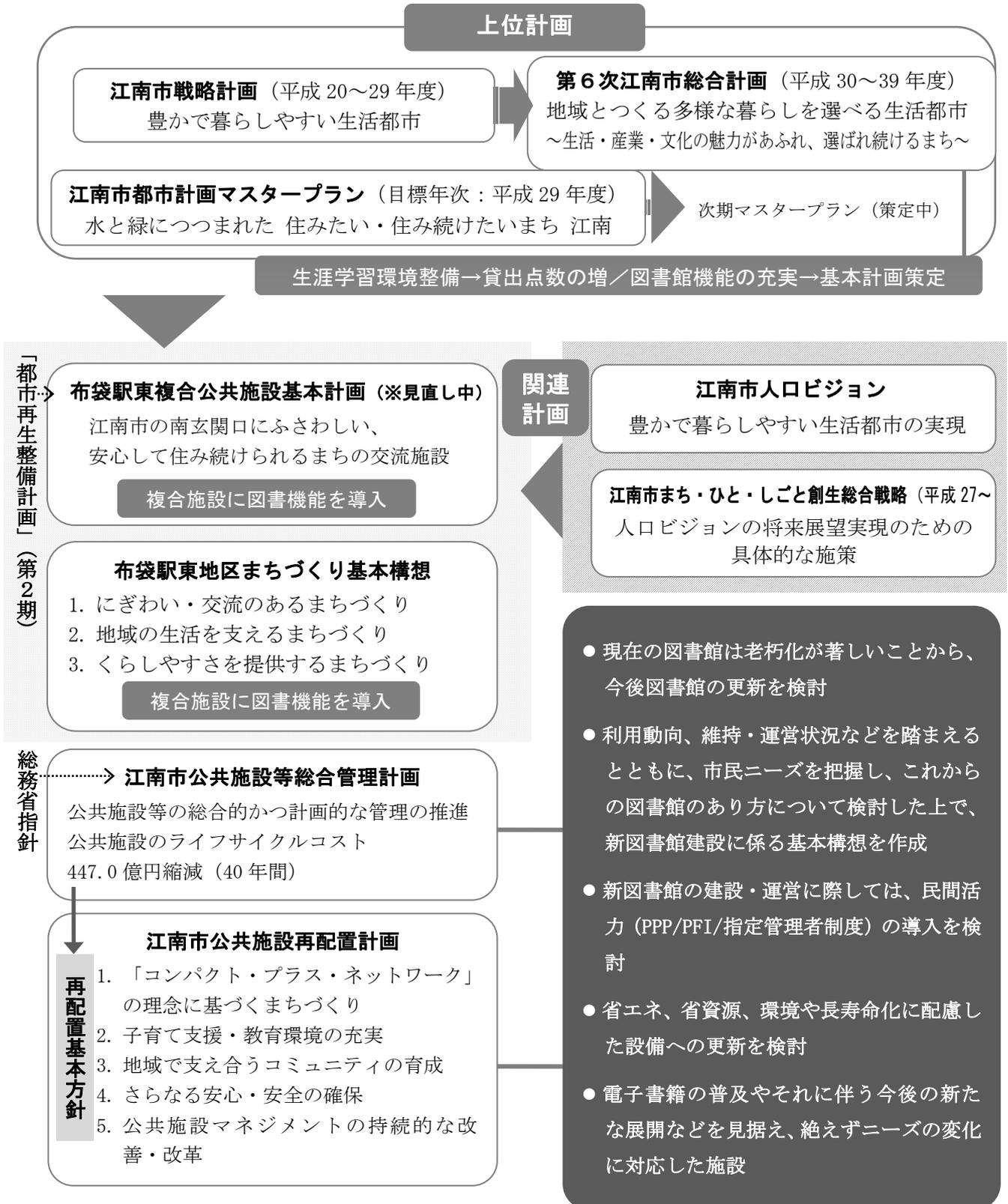


図 3-19 まちづくり分野の計画の体系

i. 江南市都市計画マスタープラン

平成 21 年 3 月策定→目標年次：平成 29 年度（平成 30 年度は次期計画策定中）

計画の位置付け・目的など

- ・都市計画法第 18 条の 2 に基づく「市の都市計画に関する基本的な方針」として定めるもので、総合計画などの上位計画及び関連計画を踏まえ、目標年次に対応した「全体構想」と「地域別構想」により構成されています。

図書館に関連する内容

- ・図書館施策について直接的な言及はありませんが、全体構想の「公共公益施設の方針」では、高齢化に対応したユニバーサルデザイン・バリアフリー化などハード面の整備とあわせ、都市計画や人にやさしいまちづくりの興味を高めるための「江南市まちづくり出前講座」の活用など、ソフト面における充実を示しています。
- ・地域別構想において、図書館の移転先となる布袋地区を含む南部地域は「地域の歴史性を活かした新しい拠点づくりと市の活力を牽引する産業基盤の強化」というまちづくりテーマを設定しています。

ii. 布袋駅東複合公共施設基本計画（※見直し中）

計画の位置付け・目的など

- ・「都市再生整備計画」で布袋地区において、「交通結節点の改善」「安心・安全な生活環境の確保」「住民協働による活気あるまちづくり」をめざすこととしたことを受け、新たな賑わいの拠点を創出する公共施設整備に関する基本計画として策定しました。
- ・「保健機能」「子育て支援機能」「交流機能」「図書機能」と民間施設を導入し、賑わい・交流をもたらすことを目標に設定します。

図書館に関連する内容

※見直し中

iii. 布袋駅東地区まちづくり基本構想

平成 30 年 1 月策定、布袋駅東地区（約 42ha）を対象としたまちづくり構想

計画の位置付け・目的など

- ・ 江南市戦略計画（第 5 次総合計画）や都市計画マスタープランなどに示される将来都市像の実現に向け、複合公共施設の整備を契機とした布袋駅東地区のあり方や土地利用・基盤整備などのまちづくりの方向性を示した構想です。
- ・ 布袋駅東地区が、布袋駅を中心とした本市の南玄関にふさわしい魅力ある拠点となること、地域に暮らす住民の生活を支え、誰もが“暮らしやすさ”を実感できるまちとなることをめざしています。

図書館に関連する内容

- ・ にぎわいや交流を創出し、住民の生活を支える拠点施設として、布袋駅に隣接する区域に複合公共施設の整備を図り、その施設には保健・福祉機能や子育て支援機能、交流機能、図書機能などの導入を検討する、としています。

iv. 江南市公共施設等総合管理計画

平成 28 年 3 月策定、計画期間：平成 28 年度～平成 67 年度（40 年間）

計画の位置付け・目的など

- ・ 市が所有する公共施設のうち、建設後 30 年以上経過したものが全体で 8 割近くを占めており、将来非常に多くの施設が一斉に改修・更新時期を迎え、多額の費用が必要になると見込まれています。
- ・ 今後、人口減少等により、公共施設の利用需要が変化することが予想されることを踏まえ、早急に公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を計画的に実施し、財政負担を軽減・平準化するとともに、行政サービスの維持・向上を図るための基本方針を定めるものです。

図書館に関連する内容

- ・ 図書館を生涯学習系施設に分類した上で、老朽化が著しいことから更新を検討し、新図書館建設に係る基本構想を作成することとしています。

v. 江南市公共施設再配置計画

平成 30 年 3 月策定、計画期間：平成 30 年度～平成 67 年度（38 年間）

計画の位置付け・目的など

- ・ 「公共施設等総合管理計画」における基本方針を踏まえ、今後必要となる公共施設の更新・改修費用の不足額の解消に向け、公共施設再配置の方針を定め、長寿命化や施設保有量の最適化を図り有効活用する「公共施設マネジメント」を推進するための指針となる計画です。

図書館に関連する内容

- ・ 図書館を「生涯学習の拠点となる施設」「文化の発信地として重要な施設」と評価し、短期的には図書館機能の充実を図り、長期的には電子書籍の普及などを見据えニーズの変化に対応した施設づくりを図るとしています。

vi. 江南市人口ビジョン

平成 28 年 3 月策定

計画の位置付け・目的など

- ・ 平成 26 年の「まち・ひと・しごと創生法」の制定、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の閣議決定に伴い、地方公共団体が策定に努めることとなった「地方人口ビジョン」として策定しました。
- ・ 平成 72 年における人口展望として、平成 27 年比で約 18,400 人（平成 27 年人口の約 18%）の人口減少を見込んでいます。
- ・ 人口減に伴う経済縮小の克服に向け、詳細な人口の現状分析や将来人口推計などを示したうえで、今後の目指すべき将来の方向について、江南市戦略計画を踏まえた「豊かで暮らしやすい生活都市」の実現と設定しています。

図 人口ビジョン P. 35 のものに差替

図 3-20 「江南市人口ビジョン」で示す将来展望人口

出典) 江南市人口ビジョン第 2 章 人口の将来展望 >(3) 人口の将来展望

図書館に関連する内容

- ・ 図書館施策について直接的な言及はありませんが、公立図書館として市民に地域などの格差なく公平な図書館サービスを実施するために、市内の人口分布、地域ごとの特性や課題、人口の変化が与える影響を踏まえる必要があります。

vii. 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 28 年 3 月策定、計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度（5 年間）

計画の位置付け・目的など

- ・ 「江南市人口ビジョン」の将来展望の実現に向け、早期に効果を発現させるための具体的な施策を展開することを目的として策定しました。

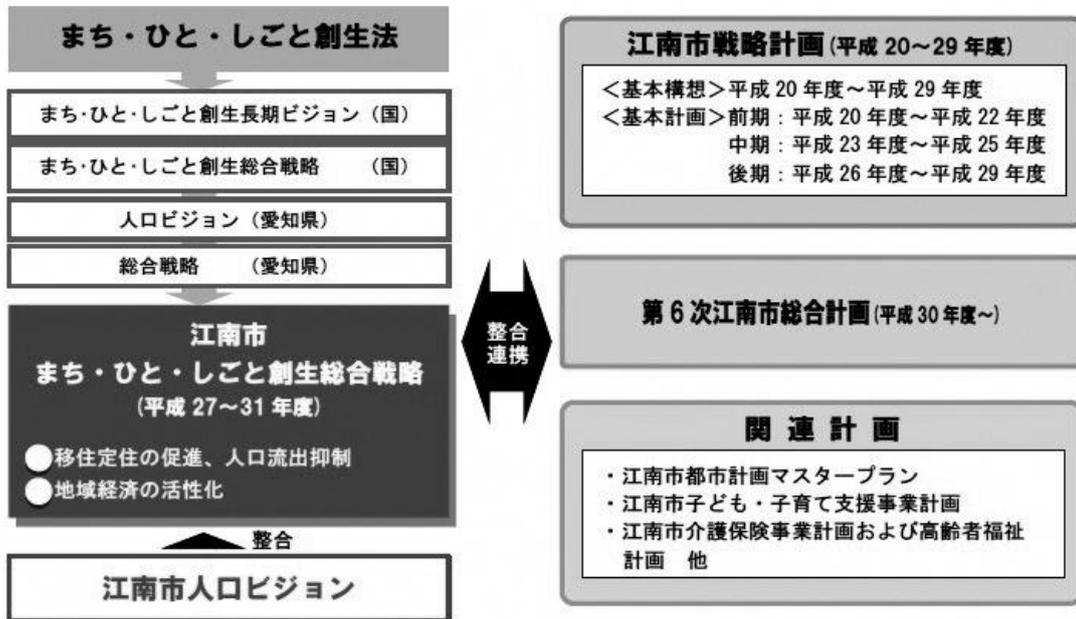


図 3-21 まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

出典) 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略>総合戦略策定の概要

図書館に関連する内容

- ・ 図書館施策について直接的な言及はありませんが、関連する基本施策として、小学生以下の子どもを対象とした読書通帳の配布、歴史を活かしたまちづくりの推進、高齢者が活躍できる場づくりなどを挙げています。

3) 生涯学習分野の関連計画

i. 第2次江南市生涯学習基本計画

平成24年3月策定、計画期間：平成24年度～平成33年度（10年間）

計画の位置付け・目的など

- ・生涯学習活動の友好的かつ効果的な推進を図るためのガイドラインを示し、さまざまな分野にわたる事業を総合的かつ体系的に捉えていくことを目的とする計画です。
- ・教育基本法の理念に基づき、「江南市戦略計画」（第5次総合計画）を上位計画として策定しました。

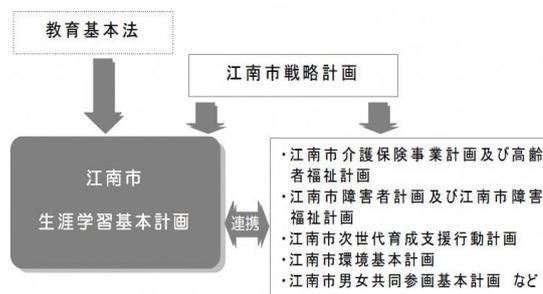


図 3-22 生涯学習基本計画の位置付け

出典) 第2次江南市生涯学習基本計画
>生涯学習基本計画策定にあたって

図書館に関連する内容

- ・生涯学習ニーズの高度化、多様化に対応できるよう、既存施設の有効的な活用と、新たな学習拠点として、体育館や図書館の整備が必要としています。
- ・図書館は狭隘化が顕著であり、市民が安心して気軽に利用できる環境整備に努める必要があることから、今後の図書館の在り方を、引き続きさまざまな角度から調査研究することとしています。

ii. 第2次江南市子ども読書活動推進計画「こうなん“わくわく”読書プラン」

平成27年4月策定、計画期間：平成27年度～平成31年度（5年間）

計画の位置付け・目的など

- ・「子どもの読書活動の推進に関する法律」において、地方公共団体の責務として策定に努めることが定められている計画です。
- ・家庭、地域、学校、その他関係機関が一体となり、子どもの充実した読書環境と読書機会を得ることを目的に、国及び愛知県の計画内容を踏まえ、平成22年4月に策定した「江南市子ども読書活動推進計画」における成果と課題を把握し、これからの子ども読書活動の基本的な方向と、施策を推進するための指針として策定しました。

図書館に関連する内容

- ・5つの基本目標のひとつとして「市図書館における子どもの読書活動の推進」を掲げ、「蔵書の充実」「読書支援の充実」「行事の充実」「障害者を対象としたサービスの充実」「ボランティアとの連携」「保育園・児童館・小中学校との連携」のための施策を実施するほか、ブックスタート事業などで関連機関と連携して計画を推進することとしています。

(2) 布袋地区で進行中の事業にみるまちづくりの方向性

現市立図書館の移転先となる布袋地区は、平成 16 年度から都市再生整備計画事業によるまちづくりを進めています。周辺地域のまちづくりの経緯などを、以下に概観します。

1) 都市再生整備計画事業（布袋地区）

都市再生特別措置法に基づく制度を活用し、平成 16 年度から 5 年ごとに都市再生整備計画を策定して事業を進めています。前出の「布袋駅東複合公共施設基本計画」は第 2 期の計画を受けて策定したもので、現在は、第 3 期（平成 26 年度～30 年度）の計画に基づく事業を進めています。第 3 期では、「鉄道高架を中心とした安心・安全な暮らしやすいまちづくり」をテーマに、新たに「地域資源を生かしたまちづくり」を目標に加えています。

2) 名鉄犬山線布袋駅付近鉄道高架事業

市内を南北に縦断する鉄道による踏切渋滞・踏切事故などの問題の解消や交通利便性の向上を図るため事業に取り組み、平成 21 年度の仮線工事を皮切りに工事を進めています。

鉄道の高架化により地区の東西での往来が容易となるほか、都市再生整備計画事業内で実施する土地区画整理事業との相乗効果により、魅力ある良好な市街地の形成が促進されます。

3) 住民協働によるまちづくり

前項の鉄道高架化は、国・県への要望活動を地元まちづくり団体（布袋地区鉄道高架・街づくり協議会）と市とで継続的に行うことで、事業化につながりました。平成 14 年度に行政、有識者、地元住民とで策定した中心市街地活性化基本計画で、布袋駅西地区では、みんなで作るふれあい・活気あるまちづくりを目指していることもあり、地元まちづくり団体による活動ニュースが継続的に発行され、布袋の町並みを歩きながら楽しめる「まちあるきmap」作成、「まちあるきイベント」の企画・運営も実施されています。

さらに、布袋駅西地区の歴史的資源を活かしたまちなみ形成に向け、道路や付帯施設などの公共空間のイメージ、また、住宅や店舗などの民有空間での修景の基本的な方針を示すことを目的とする「布袋駅西地区まちなみ整備計画」も策定され、地域住民のまちづくりに対する意識をさらに高める取り組みが行われています。

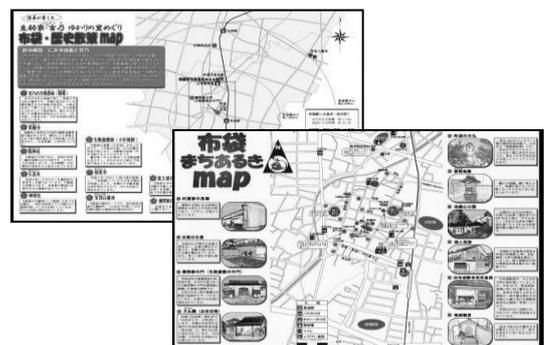


図 3-23 住民主体で作成されたまちあるきマップ

※江南市 HP 掲載 PDF ファイルから画像を作成

(3) まちづくりの方向性のまとめ

本章で概観した各種計画・事業にみられるまちづくりの考え方の中で、図書館づくりにおいて深く関わる点を以下の3点に整理します。

☆ 市民の暮らしやすさ、「生活都市」の機能を重視

生活都市とは、住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市」を核に、様々な生活機能が付加された「生活者」のための都市。生活者自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現される。



出典) 第6次江南市総合計画・基本構想

本市では、最上位計画である「総合計画」で継続して都市の将来像として「生活都市」を掲げていることを受けて、他の計画でも表 3-4 のとおり、市民の暮らしを重視する理念や方針を掲げています。また、「暮らしが花ひらく生活都市。江南市」をテーマにシティプロモーションも展開しています。

図書館においても、市民の暮らしに役立ち、あらゆる世代の市民が充実した生活がおくれるように、サービス向上に取り組むことが求められます。

表 3-4 主な計画の基本理念など

計画名	将来像、基本理念など
江南市戦略計画	<u>豊かで暮らしやすい生活都市</u> ～市民の生活が地域で支えられる「生活都市」～
第6次江南市総合計画	地域とつくる <u>多様な暮らしを選べる生活都市</u> ～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～
江南市人口ビジョン	「 <u>豊かで暮らしやすい生活都市</u> 」の実現
江南市まち・ひと しごと創生総合戦略	全ての世代が互いに支え合う生活都市こうなん ～笑顔があふれ、健康で生きがいを持って暮らし続けられるまち～
江南市都市計画 マスタープラン	「水と緑に <u>つまれた 住みたい・住み続けたいまち 江南</u> 」 ～豊かで暮らしやすい生活都市を目指して～
布袋駅東複合公共施設 基本計画	江南市の南玄関口にふさわしい、 <u>安心して住み続けられるまち</u> の交流施設
布袋駅東地区 まちづくり基本構想	地域に暮らす住民の生活を支え、誰もが“暮らしやすさ”を実感できる <u>まち</u>

◇ 子ども・子育て政策を重視

「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「子育てしやすい環境づくり」を、第6次江南市総合計画では、「子どもが生き生き育つ環境づくり」を基本目標に掲げています。

これを受けて市は、より充実した子育て環境の推進を図るため、組織を再編して「こども未来部」を創設し、教育・保育や子育て支援の多様なニーズに対応するための取り組みを進めることで「子育て先進市」を目指しています。

また、布袋駅東複合公共施設においても、保健機能・子育て支援機能を中心とした子育て世代のワンストップ拠点と位置づけ、交流スペースや新図書館において多世代がふれあう場とすることで、にぎわいの創出により、人口減少を抑制し、まちの発展につながる子どもたちの成長を育むための政策を重視しています。

図書館で行う児童サービス・子育て関連情報の提供を中心とした子育て支援の拡充が望まれます。

◇ 市民協働を重視

第5次総合計画では、「市民と市役所が共につくり共有する計画」をめざし、基本構想の中では将来像として「都市のすがた」だけではなく、「地域社会のしくみ」として「だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土～地域の進むべき方向を「共に考え」地域づくりを「共に担う」～」を描きました。

第6次総合計画でも「市民参加により策定される計画」「市民と行政が協働して的確な施策実現を行う」「市民協働型事業の明記などによる共有性を高めた計画」が明確に示され、分野別計画でも随所に市民協働の推進がもりこまれています。

布袋地区において、住民団体とともにまちづくりを進めてきた経過も踏まえて、図書館運営においても市民の意見や提案を積極的にとり入れ、市民協働を推進することが重要です。

4. 図書館を取り巻く動向整理

4.1. 先進的事例

今後のあり方の検討に向け、他自治体の図書館における先進的事例を、ICT の活用、賑わい・交流の創出、子育て支援、機能間の融合、市民協働の促進の5点に着目して整理しました。

安城市図書情報館では、最新技術を搭載した機器類を取り揃え、市民の文化活動・ビジネス支援に役立てているほか、地域の企業と連携して次世代の ICT 学習機会を創出するなど、ICT の活用・教育を積極的に行っています。

賑わい・交流創出を重視するひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスでは、図書館機能を中心に生涯学習・市民活動・青少年活動への支援機能を有機的に融合させることでさまざまな世代の来館を促し、賑わいの創出を実現しています。

TRC 八千代中央図書館では子育て支援サービスとして、図書館利用者向け託児サービス、子育て世代同士が交流できる場の提供などを行っており、子育て世代層の図書館利用や仕事復帰に向けた学習機会の確保を支援しています。

また、公共施設の複合化に伴い、近年では機能間を融合させたサービスを提供する図書館が増加しています。大和市立図書館では複合施設全体を図書館ととらえ、図書館フロア以外にも図書を配置して多様な利用者のニーズに応えているほか、東根市図書館では、図書館・美術館・活動支援センターを一体的に運営することで、複合施設としての相乗効果の創出を図っています。

市民協働を重視している事例としては鯖江市図書館が挙げられます。市民ボランティアと協働してさまざまな事業に取り組んでおり、ライブラリーカフェの開催、市民のアイデアを元にした図書館アプリの開発などを行っています。

表 4-1 ICT を積極的に活用している事例

安城市図書情報館（中心市街地拠点施設アンフォーレ内）			
1 所在地	愛知県安城市御幸本町 12-1	7 奉仕人口	185,818 人
2 開館年月	平成 29 年 6 月	8 貸出冊数	-
3 開館時間	9:00～20:00(土・日・祝 9:00～18:00)	9 来館者数	-
4 休館日	火曜日、第 4 金曜日、年末年始	10 蔵書冊数	706,388 冊
5 延床面積	6,173 m ² (公共施設全体 9,193 m ² 、商業施設全体 3,041 m ²)	11 運営形態	直営
6 併設施設	多目的ホール、市民課窓口、民間商業施設	12 駐車場	273 台 (有料・共有)

特徴

■ 子どもや親子が遊びの中で ICT に触れる機会の提供

大型のディスプレイを設置し、子どもの動きに反応して画像を変化させることで、子どもが画面の中にいるような体験の出来る環境を提供。体験を通じて ICT に対する子どもの興味・関心を喚起。



■ 協働での作業やグループ学習を効率化するための環境提供

データを共有してアイデアを練ることの出来るディスカッションテーブルや電子黒板を備えるディスカッションルーム(有料)、3D プリンターなどを備えた編集・録音スタジオ(有料)などを提供し、新たな文化・ビジネスの創造を支援。



写真出典) 安城市図書情報館HP

■ 24 時間貸出を可能とする予約本受取機の設置

機械式の予約本受取機を館外に設置することで、開館日・時間以外でも自身による貸出処理による資料の受け取りを可能とし、利用者利便性の向上、新たな利用の促進に貢献。



写真出典) 安城市図書情報館HP

■ 次世代育成を目的とした ICT 学習機会の提供

市内に工作機械メーカーや産業用ロボットメーカーが集積していることを活かし、企業との連携などを通じて小学 3 年生～6 年生を対象としたプログラミング講座を開催。

講座回数	年間 24 回
開催曜日	日曜日・月曜日・水曜日・木曜日・土曜日(各日 2 回実施、10 コース)
開催時間	平日 1 回目 16:00～17:30 2 回目 18:00～19:30 土日祝日 1 回目 14:00～15:30 2 回目 16:00～17:30

出典)「日本の図書館 2017」、安城市図書情報館 HP、安城市図書情報館 Twitter、安城市 HP

表 4-2 賑わい・交流創出を重視している事例

ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス									
1 所在地	東京都武蔵野市境南町 2-3-18	7 奉仕人口	144,902 人						
2 開館年月	平成 23 年 7 月	8 貸出冊数	1,156,168 冊						
3 開館時間	9:30～22:00	9 来館者数	1,953,759 人						
4 休館日	水曜日、12 月 29 日～1 月 4 日	10 蔵書冊数	183,539 冊						
5 延床面積	9,809 m ²	11 運営形態	指定管理者						
6 併設施設	生涯学習支援機能、市民活動支援機能、青少年活動支援機能	12 駐車場	28 台 (有料・共有)						
特徴									
<p>■ 図書館機能と生涯学習・市民活動・青少年活動支援機能の複合化による交流の場の提供</p> <p>図書館機能を中心に、生涯学習、市民活動や青少年活動を支援する機能が有機的に交わることでさまざまな世代が来館し賑わいを創出。</p> <p>各フロアの機能と連携して蔵書が分散しており、カフェを含めて館内のどこでも閲覧が可能。</p>									
<table border="1"> <tr> <td>生涯学習支援機能</td> <td>フォーラム、ワーキングデスク、スタディコーナー</td> </tr> <tr> <td>市民活動支援機能</td> <td>ワークラウンジ、メールボックス、ロッカー、プリント工房</td> </tr> <tr> <td>青少年活動支援機能</td> <td>スタジオラウンジ、クラフトスタジオ、サウンドスタジオ</td> </tr> </table>		生涯学習支援機能	フォーラム、ワーキングデスク、スタディコーナー	市民活動支援機能	ワークラウンジ、メールボックス、ロッカー、プリント工房	青少年活動支援機能	スタジオラウンジ、クラフトスタジオ、サウンドスタジオ		
生涯学習支援機能	フォーラム、ワーキングデスク、スタディコーナー								
市民活動支援機能	ワークラウンジ、メールボックス、ロッカー、プリント工房								
青少年活動支援機能	スタジオラウンジ、クラフトスタジオ、サウンドスタジオ								
<p>■ 青少年活動支援機能</p> <p>若者の居場所として、地下2階に芸術に関する図書・青少年(満 19 歳以下)向けの図書・雑誌を集めたアート&ティーンズライブラリー及び、青少年のみ利用可能なスタジオやラウンジを設置し、様々な興味関心に応じた活動を支援。</p>									
<p>■ 1 階中心地へのカフェ設置</p> <p>ゆったりとコーヒーを飲みながらの雑誌閲覧、無線 LAN サービスの利用、来館者同士の談笑、学生の勉強など、来館者の多様な利用形態に対応し、交流の創出にも寄与。夕刻以降は、酒類(ビール、ワイン)・おつまみを提供。</p>									

出典)「日本の図書館 2017」、ひと・まち情報創造館武蔵野プレイス HP、武蔵野市 HP

表 4-3 子育て支援サービスを展開している事例

TRC 八千代中央図書館															
1 所在地	千葉県八千代市村上 2510	7 奉仕人口	195, 173 人												
2 開館年月	平成 27 年 7 月	8 貸出冊数	379, 179 冊												
3 開館時間	10:00～19:00 (土・日・祝 9:00～18:00)	9 来館者数	321, 516 人												
4 休館日	月曜日、月末平日、12 月 28 日～1 月 4 日	10 蔵書冊数	161, 198 冊												
5 延床面積	3, 016 m ² (複合施設全体:6, 268 m ²)	11 運営形態	指定管理者												
6 併設施設	市民ギャラリー	12 駐車場	260 台 (有料・共有)												
特徴															
<p>■ 図書館利用者を対象とした託児サービスの実施</p> <p>指定管理者による自主事業として、平成 27 年7月から図書館利用者向けに曜日や時間帯を限定した1時間の託児サービス(1日平均15名程度)を実施。子育て世代層の図書館利用や、仕事復帰に向けた勉強などの促進を図る。</p> <table border="1" data-bbox="268 965 1230 1115"> <tbody> <tr> <td>1 曜日</td> <td>毎週火・水・土</td> <td>4 料金</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>2 時間帯</td> <td>10:00～13:30</td> <td>5 利用対象</td> <td>利用登録者</td> </tr> <tr> <td>3 事前予約</td> <td>不要</td> <td>6 対象年齢</td> <td>6か月～未就学児</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 子育て世帯の交流を目的とした子育て広場の実施</p> <p>保育士による手作り遊具や手遊び・読み聞かせなどの提供を含めた、1ヶ月に1回1時間程度の地域の子育て世帯同士の交流の場を提供。</p> <p>■ 図書館でのイベント時無料の託児サービス</p> <p>図書館でのイベント時に託児を実施することで、これまでイベントに参加しにくかった子育て世代の市民の参加促進に寄与。</p>				1 曜日	毎週火・水・土	4 料金	無料	2 時間帯	10:00～13:30	5 利用対象	利用登録者	3 事前予約	不要	6 対象年齢	6か月～未就学児
1 曜日	毎週火・水・土	4 料金	無料												
2 時間帯	10:00～13:30	5 利用対象	利用登録者												
3 事前予約	不要	6 対象年齢	6か月～未就学児												
															
															

出典)「日本の図書館 2017」、TRC 八千代市立中央図書館・オーエンス八千代市民ギャラリーHP
八千代市 HP、運営受託者実績報告

表 4-4 他機能と連携して特長的サービスを展開している事例①

大和市立図書館（大和市文化創造拠点シリウス）											
1 所在地	神奈川県大和市大和南 1-8-1	7 奉仕人口	234,627 人								
2 開館年月	平成 28 年 11 月	8 貸出冊数	1,086,949 冊								
3 開館時間	9:00～21:00(日・祝 9:00～20:00)	9 来館者数	-								
4 休館日	12 月 31 日、1 月 1 日	10 蔵書冊数	513,190 冊								
5 延床面積	6,560 m ² (複合施設全体:22,904 m ²)	11 運営形態	指定管理者								
6 併設施設	芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場	12 駐車場	55 台 (有料・共有)								
特徴											
<p>■ 「健康図書館」としての取り組み</p> <p>「健康創造都市やまと」の実現に向け、市内関連部署などと連携し、「健康図書館」をコンセプトに様々な事業を展開するとともに、健康情報サービスを提供。健康関連の書籍1万冊と測定機器を備えた健康相談も可能なフロアを設置。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>健康コーナー</td> <td>医学書をはじめとする健康を多角的に捉えた資料の提供</td> </tr> <tr> <td>健康度見える化コーナー</td> <td>近隣7市町村との連携事業として、体組成計や血圧計などの設置 健康相談の受付、「健康度見える化手帳」の配布など</td> </tr> <tr> <td>健康テラスイベント</td> <td>健康に関する講座や地域交流の場として毎日開催 市の健康づくり推進課や、高齢者福祉課による健康講座も実施 市が実施する「ヤマトン健康ポイント」の対象講座あり</td> </tr> <tr> <td>健康遊具</td> <td>屋外の読書テラスに健康遊具を設置</td> </tr> </tbody> </table>				健康コーナー	医学書をはじめとする健康を多角的に捉えた資料の提供	健康度見える化コーナー	近隣7市町村との連携事業として、体組成計や血圧計などの設置 健康相談の受付、「健康度見える化手帳」の配布など	健康テラスイベント	健康に関する講座や地域交流の場として毎日開催 市の健康づくり推進課や、高齢者福祉課による健康講座も実施 市が実施する「ヤマトン健康ポイント」の対象講座あり	健康遊具	屋外の読書テラスに健康遊具を設置
健康コーナー	医学書をはじめとする健康を多角的に捉えた資料の提供										
健康度見える化コーナー	近隣7市町村との連携事業として、体組成計や血圧計などの設置 健康相談の受付、「健康度見える化手帳」の配布など										
健康テラスイベント	健康に関する講座や地域交流の場として毎日開催 市の健康づくり推進課や、高齢者福祉課による健康講座も実施 市が実施する「ヤマトン健康ポイント」の対象講座あり										
健康遊具	屋外の読書テラスに健康遊具を設置										
<p>■ 大和こどもの国</p> <p>乳幼児から児童向けの本を揃えた「こども図書館」、2歳までの幼児と保護者を対象とした「ちびっこ広場」、3歳から小学2年生までの児童とその保護者を対象とした「げんきっこ広場」、1歳から小学校就学前までの子どもを預かる「保育室」、子どもの育児や悩みを相談する「育児相談室」などから構成。本との出会いだけでなく、親子の交流の場や子ども同士、親同士の交流の場を提供。</p>											
<p>■ 機能間連携によるにぎわいづくり</p> <p>複合施設全体を図書館ととらえ、図書館フロア以外にも図書を配置、複合施設内に併設のカフェなどでも貸出手続きせず閲覧が可能。利用は中学・高校生に加え、夜間は社会人が目立ち、相鉄線や小田急沿線の市外在住者の利用も多い。複合施設として1日8000人～1万人が訪れ、開館から1年で来館者数が累計300万人を超えた。</p>											



出典)「日本の図書館 2017」、大和市文化創造拠点シリウス HP、大和市 HP

表 4-5 他機能と連携して特長的サービスを展開している事例②

東根市図書館 (東根市公益文化施設まなびあテラス内)			
1 所在地	山形県東根市中央南 1-7-3	7 奉仕人口	47,841 人
2 開館年月	平成 28 年 11 月	8 貸出冊数	151,934 冊
3 開館時間	月～土:9:00～20:00(日・祝 9:00～19:00)	9 来館者数	147,937 人
4 休館日	第 2・第 4 月曜日(ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌平日休館)、年末年始(12月 29 日～1月 3 日)、特別整理日(図書館のみ)	10 蔵書冊数	121,712 冊
5 延床面積	1,886 m ² (複合施設全体 4,401 m ²)	11 運営形態	指定管理者
6 併設施設	美術館、市民ギャラリー、市民活動センター、都市公園、カフェ、ショップ	12 駐車場	約 150 台 (無料・専用)

特徴

■ PFI手法による「集い、学び、創造する 情報と芸術文化の交流拠点」を基本理念とする複合施設の整備・運営

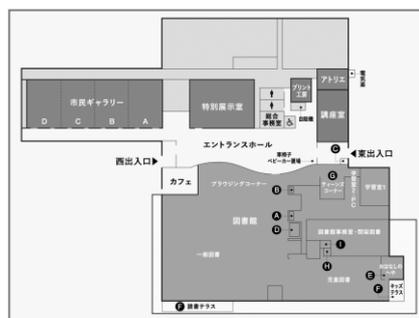
複合文化施設と都市公園を一体的にPFI方式で整備する「東根市公益文化施設整備等事業」より整備。維持管理運営期間は 20 年間。

市民や地域を支える情報拠点としての図書館、市民利用のギャラリーを基本とした芸術文化の活動拠点としての美術館(市民ギャラリー)、活力ある団体活動の情報拠点としての市民活動支援センターから構成。

『集い、学び、創造する 情報と芸術文化の交流拠点』を基本理念に、各機能が独立しながらもそれぞれが互いに融合し相乗効果を発揮する事で、市民が気軽に訪れ、楽しみながら知的好奇心が刺激される場を創出。

■ 一括運営による施設間連携

図書館、美術館、市民活動支援センターの一体的運営により、指揮命令系統の一元化やスタッフの施設間の流動的な配置、美術館イベントに合わせた資料展示などの施設間事業連携、一社運営による弾力的且つ効率的な運営など、複合施設としての相乗効果を発揮。



画像出典) 東根市公益文化施設まなびあテラスHP



出典) 「日本の図書館 2017」、東根市公益文化施設まなびあテラス HP

表 4-6 他機能と連携して特長的サービスを展開している事例③

玉野市立図書館（天満屋ハピータウン・メルカ内）			
1 所在地	岡山県玉野市宇野 1-38-1	7 奉仕人口	61,975 人
2 開館年月	平成 29 年 4 月	8 貸出冊数	190,576 冊
3 開館時間	9:00～21:00	9 来館者数	46,817 人
4 休館日	月曜日、年末年始、特別整理期間	10 蔵書冊数	182,615 冊
5 延床面積	2,260 m ² (商業施設全体 29,585 m ²)	11 運営形態	指定管理者
6 併設施設	公民館、ミュージアム、ギャラリー 専門店、スーパーマーケット、カフェなど	12 駐車場	400 台 (無料・共有)

特徴

■ 公民館との融合による利用促進・相乗効果創出

中心市街地における市民サービスの向上と賑わいの創出を図るとともに、図書館と公民館との連携を核とした学びと課題解決活動による生涯学習社会の充実のため、図書館と中央公民館を中心市街地の既存商業施設(ショッピングモールメルカ)内に立地。

図書館の開架スペースに研修室などの公民館の諸室を点在させ、ガラス越しに互いの利用・活動状況が見える仕組みとすることで、複合施設としての一体感を創出し、双方の施設の利用を促進。

図書館、公民館、ミュージアム、ギャラリーを指定管理者1社が一体的に管理運営し、総合カウンターでの一括対応や各種連携事業の開催など、各機能を融合したサービスを展開することで、さらに利用者利便性を向上。

■ 商業施設内での立地を活かした賑わいの創出

100 円ショップや衣料品店などの立地する専門店と同一フロアに立地。商業施設のホームページでの図書館や公民館のイベント情報の発信、1 階のイベントスペースを活用した事業の実施など、立地を活かした連携事業の展開により、双方の利用者層の拡大に貢献。商業施設内のテナントの営業時間(最大 22 時)などを考慮し、図書館・公民館ともに 21 時まで開館し、商業施設利用者の立ち寄り利用を促進。



画像出典) 玉野市HP



写真出典) 玉野市立図書館・中央公民館 Facebook

出典)「日本の図書館 2017」玉野市立図書館・中央公民館 HP、玉野市 HP

表 4-7 他機能と連携して特長的サービスを展開している事例④

徳島市立図書館（アミコビル内）			
1 所在地	徳島県徳島市元町 1-24	7 奉仕人口	256,451 人
2 開館年月	平成 24 年4月	8 貸出冊数	1,056,240 冊
3 開館時間	9:00～21:00	9 来館者数	561,331 人
4 休館日	第1火曜日、1月1日、長期図書整理期間	10 蔵書冊数	479,692 冊
5 延床面積	3,440 m ² (商業施設全体 87,654 m ²)	11 運営形態	指定管理者
6 併設施設	シビックセンター、百貨店、ホテルなど	12 駐車場	-

特徴

■ 民間施設と連携したサービス展開・相互利用促進

駅前の商業施設内に立地する利点を活かし、併設する百貨店やホテルと連携した事業を展開。図書館貸出カード保持者はレストランのランチバイキングの100円割引が受けられるほか、ホテル宿泊客は団体貸出による図書館資料の利用が可能。連携したサービス展開により、施設全体としてのサービスを向上するとともに各施設間の相互利用を促進。



写真出典) 徳島市立図書館 HP

■ 地元サッカーチームとの連携

地域に根ざした主要団体としての地元Jリーグチームの徳島ヴォルティスと連携し、常設の特設コーナーの設置、選手によるおはなし会とサイン会の実施など、地域連携とともに子どもたちの成長支援への積極的な取り組みを実施。



写真出典) 徳島市立図書館 HP

■ 徳島大学図書館との連携協力事業の実施

徳島大学附属図書館と徳島市立図書館が、図書館による地域貢献を果たすとともに、利用者の利便性や図書館サービスを向上させ、図書館の利用を促進し価値を高めることを目的として、それぞれの特性を活かした幅広い連携協力を推進。

連携協力の一環として、市立図書館職員と大学図書館職員との合同研修の実施、徳島市立図書館 6 階一般室にテーマに沿った企画展示などを実施する徳島大学コーナーの設置、大学の教授を招いた健康講座の実施などを通じてサービス向上に寄与。



写真出典) 徳島市立図書館 HP

出典) 「日本の図書館 2017」、徳島市立図書館 HP

表 4-8 市民協働を重視している事例

鯖江市図書館（鯖江市文化の館内）			
1 所在地	福井県鯖江市水落町 2-25-28	7 奉仕人口	69, 104 人
2 開館年月	平成 9 年 12 月	8 貸出冊数	380, 208 冊
3 開館時間	10:00～18:00(金曜日 10:00～20:00、金曜日が祝日の場合 10:00～18:00)	9 来館者数	283, 431 人
4 休館日	第 4 木曜日、12 月 29 日～1 月 3 日	10 蔵書冊数	335, 603 冊
5 延床面積	6, 656 m ²	11 運営形態	直営
6 併設施設	視聴覚ライブラリー、映像情報館	12 駐車場	200 台 (無料・共有)

特徴

■ 様々な活動団体との協働企画実施

「さばえ図書館友の会」や「さばえっこ図書館ボランティアネットワーク」、「こどものつどい協力者グループ」など、市民ボランティア団体と協同して様々な事業を企画し実行。

市民と図書館をつなぐ架け橋になることを目的に掲げ、昭和 63 年 4 月に設立された「さばえ図書館友の会」では、運営費を年額 1,500 円の会費で賄いながら、毎月 1 回「友の会たより」を発行し、図書館での催し物などを案内するとともに、図書館と協同してライブラリーカフェやライブラリーカフェコンサートを企画。



写真出典) さばえ図書館友の会HP

■ さばえライブラリーカフェの開催

図書館、さばえ図書館友の会、関連団体で平成 17 年度から計画・実施。「新書のような手軽さ」をモットーに、医学や経済、地場産業など多様なテーマを扱い、毎回 50 人ほどが参加。平成 30 年 4 月 17 日時点で通算 156 回実施。毎回の講演録と参加者の感想を友の会の会報などに掲載。



写真出典) 鯖江市文化の館 Facebook

■ 女子高生のアイデアから生まれた図書館アプリ

「鯖江市役所 JK 課」が女子高生のアイデアを取り入れ、鯖江市図書館の個人用機の空席状況の確認、本の検索、図書館の本の返却可能施設の地図上の表示といった機能を備える図書館アプリ「Sabota」を作成し公開。



写真出典) 鯖江市HP

出典) 「日本の図書館 2017」、鯖江市図書館 HP、鯖江市 HP

4.2. 社会的動向

(1) 図書館を取り巻く社会的環境の変化

近年、少子高齢化、ICT化の進展、ライフスタイルの多様化、コミュニティの希薄化、東日本大震災に伴う社会のあり方の変化などに伴い、表4-9に示すように公共図書館に期待される役割が多様化しています。

表4-9 社会的環境の変化と公共図書館に求められる役割

項目	内容
① 少子高齢化と人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ● 「超高齢化社会」の到来に伴い、公共図書館でも高齢者のニーズへ対応することが求められており、公共図書館という居場所を活かした交流や生きがいがづくりの支援が必要 ● 安心して子どもを産み育てられる環境へのニーズが高まる中で、公共図書館では親子連れが利用しやすい施設・設備・サービスなどの充実、子育てに関連する情報やサービスの提供、子育て世代の市民のつながりの創出に資する場の提供などが必要
② ICT化の進展	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT (Information and Communication Technology) 社会の進展に伴いインターネットやモバイル端末が普及する中で、公共図書館でもICTの導入が進む ● 平成22年は電子書籍元年といわれるなど、資料や情報のデジタル化は今後も進展していくものと考えられ、公共図書館でも紙とデジタル資料とを効率的に組み合わせ、利用者のニーズに応じた資料提供を行うことが必要
③ ライフスタイルや価値観の変化	<ul style="list-style-type: none"> ● 時代の変化に伴い市民のライフスタイル、働き方、家族構成、価値観などが多様化する中で、生活の豊かさやゆとりなどへの要求が高まり、資料を借りたり情報を調べたりするほか、日常の課題について相談したり、くつろぎの時間を過ごしたり、文化活動を楽しんだりする場としての機能が求められており、市民一人ひとりの多様なニーズに対応していくことが必要
④ 地域コミュニティの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少、核家族化を背景に地域コミュニティや人と人とのつながりが希薄化している中で、公共図書館はその集客性を活かして市民を惹きつけ、出会いの場、交流の場、賑わいの場として機能することが必要 ● 大規模災害などをきっかけに絆づくりの重要性も再認識されており、公共図書館の所蔵する資料や情報を活用し、同じ分野に興味・関心を持つ市民と市民とを結び付け、新たな知のネットワークの創出を期待
⑤ 地域の記憶の必要性の高まり	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災などの大規模災害の経験から、被災の記憶やそこから得た教訓を未来へとつなごうという機運が高まっており、市民が自らの住む地域について知り、学び、考え、愛着を育むという流れの中でも地域独自の資料や情報は大きな役割を果たしていることから、それぞれの地域の過去から現在までの記録と資料を網羅的に収集、保存し、未来へとつなげていく公共図書館の重要性が増大

項目	内容
⑥ 経済や文化のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会のグローバル化に伴い国境を越えた人の移動が日常化する中で、世界の中での日本を理解することの重要性が高まっているほか、東京オリンピック・パラリンピックの開催などを機に訪日外国人数もさらに増加することが想定されるため、公共図書館でも多文化共生に関する学習機会の提供が求められるほか、外国人の日本語や日本社会に対する理解を支援したり、多文化交流機会を提供したりすることなども必要
⑦ 貧困と格差の出現	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期の経済不振や非正規雇用の拡大などに伴い、一億総中流社会から貧困と格差が問題となる社会への変容が見られる中で、貧困の連鎖や格差の固定化を防ぐという観点から公共図書館の重要性が増しており、家庭環境などにより市民の学習環境の格差が拡大することのないよう、困難を抱えた市民へ資料・情報利用機会を確保することなどが必要
⑧ 学校図書館との連携要請の強まり	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度情報化社会の進展に伴う意思決定の複雑化を背景に子どもの「生きる力」の育成が必要とされており、学校図書館もその重要性を増しているため、公共図書館と学校図書館とはそれぞれ独自のサービスを展開するのではなく、連携を密にしていって子どもの読書環境の充実を図っていくことが必要

(2) 国の図書館関連行政の動向

公共図書館がそれぞれの特性を活かしつつ、「(1) 図書館を取り巻く社会的環境の変化」に示す事項などへ対応していくことを支援するための図書館関係法の改正、事例提供や調査研究、政策提言などが行われています。現代的・社会的な課題に対応した学習などの推進、学びの場を核とした地域コミュニティの形成を目指した取り組み、学習や社会生活に困難を有する者への学習機会の提供などが重視されているほか、学校、家庭、地域との連携のもとに地域の教育力を高めるための取り組みなどが進められています（表 4-10 参照）。

表 4-10 国の図書館関連施策の動向

年	月	内 容
平成 24 年	12 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学省告示第 172 号) <ul style="list-style-type: none"> - 公立図書館だけでなく私立図書館を含む内容へ改正 - 図書館法改正を踏まえ、図書館における評価やその結果の住民への情報提供、家庭教育の向上に資することや学習成果を活用して行う活動の機会の提供などを盛り込み - 図書館に関するニーズ等を踏まえ、レファレンスサービスの充実、課題解決支援、ハイブリッド図書館、多様な資料の提供、児童・青少年サービスの充実、関係機関との連携・協力や図書館経営に必要な視点を盛り込み
平成 25 年	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定 <ul style="list-style-type: none"> - 子どもの読書活動の推進に係る施策の基本方針と具体的な方策をまとめた5ヶ年計画 - 基本の方針として、国及び地方公共団体は、1. 家庭、地域、学校を通じた社会全体における取り組み、2. 子どもの読書活動を支える環境の整備、3. 子どもの読書活動に関する意義の普及等を通じて、子どもの自主的な読書活動の重要性を踏まえて、推進を図ることを掲げる
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第二期教育振興基本計画」閣議決定 <ul style="list-style-type: none"> - 教育基本法改正を踏まえ教育再生を実現するため、生涯の各段階を貫く方向性や具体的方策等を掲げる - 4つの基本的方向性の下に、8つの成果目標と30の基本施策を掲げる - 図書館関連施策としては、基本施策 11：現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進、基本施策 18：学習や社会生活に困難を有する機会の提供、基本施策 20：活力あるコミュニティ形成に向けた学習環境・協働体制整備等
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」公布 <ul style="list-style-type: none"> - 障害を理由に差別的取扱いや権利侵害をしてはいけないこと、社会的障壁を取り除くための合理的な配慮をすること、国は差別や権利侵害を防止するための啓発や知識を広げるための取り組みを行わなければならないことなどを規定 - 図書館における合理的配慮の例としては、手話や点字などで意思疎通をやすくすること、大活字本や音声図書、電子書籍の提供等があり、国の行政機関・地方公共団体には法的義務、民間事業者には努力義務が課せられる
平成 26 年	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学校図書館法の一部を改正する法律（改正法）」公布 <ul style="list-style-type: none"> - 専ら学校図書館の職務に従事する職員を学校司書として位置付け、これを学校に置くよう努めることなどを規定（§6） - 学校には司書教諭のほか、学校司書を置くよう努めること、学校司書の資質向上を図るため、研修その他の必要な措置を講ずることなどを規定
平成 30 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定 <ul style="list-style-type: none"> - 2018～2022 年年度にわたる子供の読書活動推進に関する基本方針と具体的な方策を明らかにした - ①読書週間の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取り組みの推進②友人同士で本を勧め合うなど、読書への関心を高める取組みの充実③情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第 3 期教育振興基本計画」閣議決定 <ul style="list-style-type: none"> - 2030 年以降の社会の変化を見据えた教育政策の在り方を示す - 今後の教育政策に関する基本的な方針として①夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する ②社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する③生涯学び、活躍できる環境を整える④誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する⑤教育政策推進のための基盤を整備する

5. 市民ニーズ

5.1. 図書館ボランティアヒアリング調査

図書館ボランティアの現在の活動状況やこれからの江南市立図書館に求める機能などについて把握するため、ヒアリング調査を実施しました。調査は平成30年7月18日（水）午後2時から午後5時まで、7団体12名を2グループに分けて行いました。

調査に参加した団体は表5-1のとおり、おはなし会、ブックトーク、点訳・音訳資料の作成、蔵書の修理や配架などの活動を行っており、多くの活動は会議室で行われています。しかし、作業を行えるスペース、勉強会や打合せに集中できるスペース、備品の保管スペースなどが不足しており、ボランティアルーム、おはなしの部屋、会議室、録音室、講演会が開催できる多目的ホールなど、それぞれの活動を充実させるためのスペースが求められています（表5-2参照）。

また、ボランティア活動を維持していく上で、新規会員の獲得や活動の認知度の向上なども課題として挙げられました。こうした課題解決のため、養成講座の開催、点訳本などの紹介、館外での活動や広報活動への協力など、ボランティアの活動支援を求める意見も多くなっています。また、複数の団体が一体となって図書館を支える仕組の必要性が挙げられ、ボランティア団体間の連携について話し合う機会や場が求められています。

その他、車を利用しない会員や行事の参加者が来館しやすくなる公共交通の整備や、活動時に使用できる駐車場・駐輪場の確保を求める意見も見られました。

表 5-1 図書館ボランティアヒアリング結果（1）現在の活動状況と問題点

	活動内容	活動概要	現在の問題点など
1	おはなし会 (ストーリーテリング)	[規模] 13名 [活動頻度] おはなし会：月1回 勉強会：月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館では勉強会の実施が困難になった ・会員を増やすために養成講座の開催が必要
2	おはなし会 (歌など含む)	[規模] 4名 [活動頻度] おはなし会：年4回	<ul style="list-style-type: none"> ・歌声が漏れて苦情に繋がる心配があり、図書館で練習が行えない ・備品の保管場所がなく、小さなものは会員の自宅に、大きなものは図書館の空調管理室に保管している
3	おはなし会 (読み聞かせ)	[規模] 10名 [活動頻度] おはなし会：年4回 勉強会：月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・備品の保管場所がない ・会議室は学習スペースとしても使用しているため、勉強会は利用者の少ない日時に行っている ・車を利用しない会員もいるため遠距離の移動が困難
4	音訳テープ作成、おはなし会 (読み聞かせ)	[規模] 19名	<ul style="list-style-type: none"> ・録音・編集する設備や勉強会・講座を開催できる部屋が図書館にない ・音訳養成講座の参加者が少ない ・活動資金が足りない
5	点訳図書作成	[規模] 8名程度 [活動頻度] 例会：月2回	<ul style="list-style-type: none"> ・点訳資料の利用者が少ない ・年代によって点字の認識率が低い ・図書館との接点が少ない（例会は設備の整った社会福祉協議会で、点訳作業は自宅で行っている）
6	ブックトーク、蔵書修理	[活動頻度] ブックトーク：年4回 蔵書修理：月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・会員を増やす努力が必要である
7	配架、蔵書修理、講演会など	[規模] 160名程度 [活動単位] 配架：3名 蔵書修理：3～4名 [活動頻度] 配架：月2週、土日 蔵書修理：月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会を行う場所が図書館にない ・館外の活動の宣伝に図書館から協力が得られない ・ボランティア同士の活動や様子を知る機会がない

表 5-2 図書館ボランティアヒアリング結果（2）図書館に求める機能

	分類	ヒアリング内容
必要諸室	おはなしの部屋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20～30 人規模の独立した部屋 ・ ボランティア団体のおはなし会や練習が優先だが、空いている時間は利用者が親子で使用できるようにするとよい ・ 階段状・すり鉢状で多目的に使える形状 ・ 光や音を遮断できる仕組 ・ 窓などは不要 ・ 足音が響かず、座り心地のよい床
	ボランティア活動の紹介スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点字を身近に感じてもらうための点訳本スペース ・ おはなしの部屋の入り口や傍に活動紹介スペースがあると良い（おはなし会） ・ 地域で活動する団体を広く紹介する展示スペースや掲示板
	録音室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声の編集もできる録音室 ・ 音訳資料の整理や復旧作業のできる部屋
	会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大・小で2つ欲しい（ブックトーク） ・ 勉強会ができる 10～20 人規模の部屋（おはなし会） ・ 講師を呼んで講習会が行える部屋（音訳、おはなし会） ・ 職員と共用でもよい
	ボランティアルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアルーム内に備品置き場があるとよい ・ 印刷機や資料を置く棚などの用意（配架・蔵書修理） ・ 他のボランティア団体とは共用でよい
	備品置き場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大小の備品を保管したり作成したりできる倉庫 ・ 備品倉庫（ブックトーク）
	その他の施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100 人規模の多目的ホール（講演会） ・ 多目的に使用できる 50 人規模のミニシアター ・ エレベーター、多機能トイレなどバリアフリーへの配慮
必要な支援	活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館外での活動の宣伝や広報活動への協力（講演会） ・ ボランティア団体同士が協力して図書館を支えるために話し合える機会・場
	会員獲得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館でのストーリーテリング養成講座の開催
その他	今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館新規利用者獲得のための企画にボランティアとして関わりたい ・ 現在は図書館との接点が少ないため、今後接点を増やしたい
	交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車を利用しない会員のためにコミュニティバスが欲しい ・ ボランティアやおはなし会の参加者が無料で使える駐車・駐輪スペースの確保を望む

5.2. 図書館職員ヒアリング調査

現江南市立図書館の現状や課題と、これからの江南市立図書館に求める機能や規模などについて、現場に勤務している図書館職員 16 名を対象としたヒアリング調査を行いました。調査は平成 30 年 6 月 28 日（木）午後 2 時から午後 4 時 30 分まで、職員 15 名を 3 グループに分けて実施し、残りの 1 名は文書での回答となっています。

調査の結果、施設の狭隘化に伴う各種スペースの不足を指摘する意見が多く見られました（表 5-3 参照）。現在は、会議室をおはなし会や会議などの多様な目的で使用していることから、部屋から漏れた声が他の利用者からのクレームに繋がっている状況も見られます。そのため、一般・児童それぞれでの十分な開架スペースの確保のほか、各種目的に応じて利用可能な空間や業務に集中できる作業スペースの設置などを求める意見が見られました。

保育園帰りの親子の利用が多いことなどを踏まえ、絵本・育児書や子ども用の机・椅子の充実など、子育て世代が快適に図書館を利用できるよう求める意見も多くなっています。さらに、ブックスタート事業を協働で展開する保健センターとの併設となることから、さらなる連携の強化によるサービスの充実や、子育て世代間の交流の支援などを期待する意見も見られました。

その他には、若い世代向けのイベントの開催や図書館未利用者層へアピールするための目新しい機器類の導入、視聴覚資料・郷土資料の利用の促進、作業時間の確保が可能な開館日・時間の設定などの必要性も挙げられました。

表 5-3 図書館職員ヒアリング調査結果

	大分類	小分類	ヒアリング内容
1 現状や課題について	施設	各スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書架スペースが狭い ・ 閉架書庫に余裕がなく、図書館に置けない資料は藤里小学校に置かれている ・ DVD 視聴席の配置や環境が良くない、複数人で視聴できない ・ 学習スペースが不足 ・ おはなし会のスペースがなく、声が漏れてクレームに繋がることがある
		動線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員用の休憩室へ行くには弁当を持ってロビーを通り抜けなければならない、動線に配慮が必要
	利便性	バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 階段が多く、高齢者や足が不自由な人にとって不便 ・ 昇降機では中 2 階や 3 階まで行けない ・ ベビーカーや杖を使っている利用者は昇降機の利用を避けることも多い
		駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広さは足りている ・ 図書館まで遠く、雨が降ったときに不便 ・ 水はけが悪く、雨が降ると水溜りができる
		立地・交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回バスがない ・ 図書館が現在の場所にあるからこそ来館する利用者もいる
	利用日・利用時間帯	休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休館日や館内整理日が少なく、業務の負担が大きい
		利用時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉館時間間際には利用者が数人しかいない ・ 試験期間中の学生に向け遅くまで開館してほしいという要望もある
	利用者属性	平日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午前には年配の男性が多い ・ 14 時以降は若い利用が増える ・ 夕方頃から保育園帰りの親子が多くなる
		土曜・日曜・休日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族連れも多い ・ 学生が学習目的で来館する
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生は自習に来るのみ、貸出フロアには来ない
	提供サービスの充実度	イベント・行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館らしい行事・特集ができるよう工夫が必要 ・ 休館日が少なく、読み聞かせなどの準備に時間が取れない
		館外でのサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のサービスはいずれも好評 ・ 人員が増えなければ充実は難しい ・ 保育園への配本サービスを職員が行う必要性を感じない
		職員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人数がギリギリ ・ 土日にイベントがあると人数が不足する
	運営体制	IC 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入していない、あるに越したことはない ・ 配置の関係上目の届きにくい雑誌コーナー・閉架書庫をフォローするためにも必要 ・ 本の盗難が多い ・ 防犯カメラは抑止力として働いている

	大分類	小分類	ヒアリング内容
2 これからの江南市立図書館に求める機能・規模について	必要な機能	蔵書	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊本の充実 ・ビジネス書、洋書、育児書、絵本・児童書の充実
		サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の開架への設置、利用の促進 ・視聴覚資料の貸出の促進 ・若い世代や高齢者向けのイベントの提供 ・調べ物をする利用者のサポート ・本を消毒できる機能 ・サービスの数ではなく質の向上
		開館時間 ・休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・遅くまで開館すると会社帰りの人にはメリットになる ・時期に合わせて開館時間を変えてもよい ・あまり遅くまで開館しすぎるのもよくない ・閉館時間が遅くなりすぎると、勤務が厳しくなる可能性がある ・休館日が週に1日あれば、作業や事務を計画的に行える
		施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・館内でくつろいで過ごせる配慮 ・エレベーターまたはエスカレーター ・授乳室/男性も利用できるおむつ交換スペース/トイレ内の児童用手洗い場/おはなしスペース/会議室/学習室/本の修理スペース/職員・ボランティア専用スペース ・児童と一般で分かれた開架 ・大人用・子ども用それぞれのテーブルや椅子 ・書類記入のための記載台 ・虫の侵入を防ぐ網戸 ・自動返却機があるとよい ・目新しいアピールポイント（書籍消毒機や読書通帳、自習室予約システム、新聞拡大システムなど） ・保冷用ロッカー（複合施設にスーパーが入る場合）
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの整備 ・職員が車で通勤できる環境（駐車場など）
	他施設との連携による相乗効果が期待できる機能	保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターのPR（現在図書館で健康に関連する特集コーナーとチラシを設置して行っている） ・ブックスタートがやりやすくなる ・保健センターを訪れる子育て世代層の交流の支援 ・医者ニーズにも応えられるような連携
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館と図書館の郷土資料を一緒にしたい ・図書館と学校のシステムの統一 ・ロビーコンサートなど文化的な催し ・スーパーでも20～21時は利用者がほとんどおらず、複合化して遅くまで開館したとしても相乗効果が見込めるか疑問

5.3. 市民アンケート調査

(1) 調査概要

市民の現江南市立図書館の利用状況や今後のあり方に対する意向を把握するため、表 5-4 に示す市民アンケート調査を実施しました。調査は平成 30 年 6 月に実施し、955 票の回答が得られました。

表 5-4 市民アンケート調査概要

項目	内容
1. 調査名	江南市立図書館に関する市民アンケート調査
2. 調査対象	13 歳以上の市民 2,000 名
3. 調査方法	郵送配布・郵送回収
4. 調査内容	①江南市立図書館の利用状況 ②今後の江南市立図書館に望むこと ③属性
5. 調査期間	平成 30 年 6 月 15 日（金）～29 日（金）
6. 回収数	955 票（回収率 47.8%）

(2) 調査結果

1) 回答者属性

回答者の年齢層は図 5-1 のとおりです。「60 歳代」(20.1%) がもっとも多く、「40 歳代」(18.0%)、「50 歳代」(17.5%) がその後に続いており、中高年齢層の占める割合が高くなっています。

居住区別では、「古知野南小学校区」(16.4%) と「布袋小学校区」(16.3%) がほぼ同値でもっとも多く、その次に「古知野東小学校区」(11.9%)、「古知野北小学校区」(9.2%) が多くなっています。

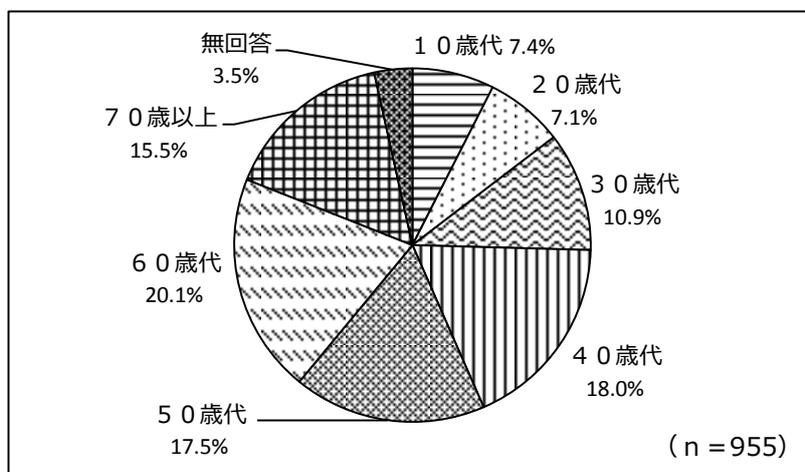


図 5-1 回答者の年齢

2) 江南市立図書館の利用状況

過去1年以内の利用は、「利用したことがある」(37.2%)は40%弱にとどまり、「利用したことがない」(61.9%)が60%を超える結果となりました。さらに、「利用したことがある」回答者の利用頻度は「年数回程度」(52.7%)が半数を超えており、活発に利用されているとは言いがたい状況です。

年代別では、「利用したことがある」回答者は30～40代で45%以上と比較的多く、50～60代では30%前後と少なくなっています。

図書館の利用目的は「本・雑誌・CD等を借りたり返したりするため」(74.1%)が非常に多く、また滞在時間は1時間程度までが80%近くを占めていることから、資料の貸出・返却目的の利用が多く、短時間利用に繋がっていると考えられます。

図書館を利用しない理由は図5-2のとおりで、「図書館が遠い、交通のアクセスが不便」(20.5%)がもっとも多く、次いで「本や雑誌は自分で買う」(18.8%)、「時間がない、開館時間中に行くことができない」(10.3%)となっています。また、蔵書冊数が不十分である、施設の雰囲気が暗い、距離が遠いなどの理由から「市外の図書館を利用する」(8.1%)という回答も見られるほか、育児中のため利用できない、図書館の場所を知らない、図書館へ行くきっかけがないという回答も寄せられました。

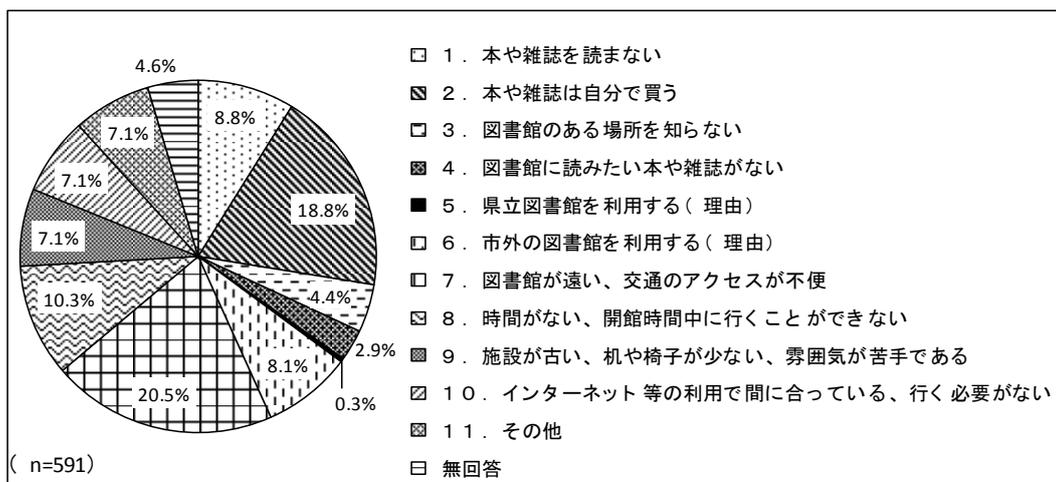


図 5-2 江南市立図書館を利用しない理由

3) 今後の江南市立図書館に望むこと

今後の図書館に望むことについては、「ゆったりとくつろいで本や雑誌を読むことができる」(55.4%)という回答がもっとも多く、次いで「目的がなくても気軽に立ち寄ることができる」(32.9%)、「静かな空間で落ち着いて学習ができる」(25.8%)となっています(図5-3参照)。また、過去1年以内に利用のなかった回答者においては、「目的がなくても気軽に立ち寄れる」、「本を読みながら飲食ができる」がより多くなっており、気軽な利用へのニーズが高くなっています。

年代別では、10～20代の若い世代で電子端末を通じた図書館利用、自由な飲食へのニーズが高くなっており、10代では個人やグループで利用できる学習環境も求められ

ています。また 20～30 代では子育てに図書館を活用することに関心が高く、70 歳以上は医療や健康についての情報収集へのニーズが高くなっています。

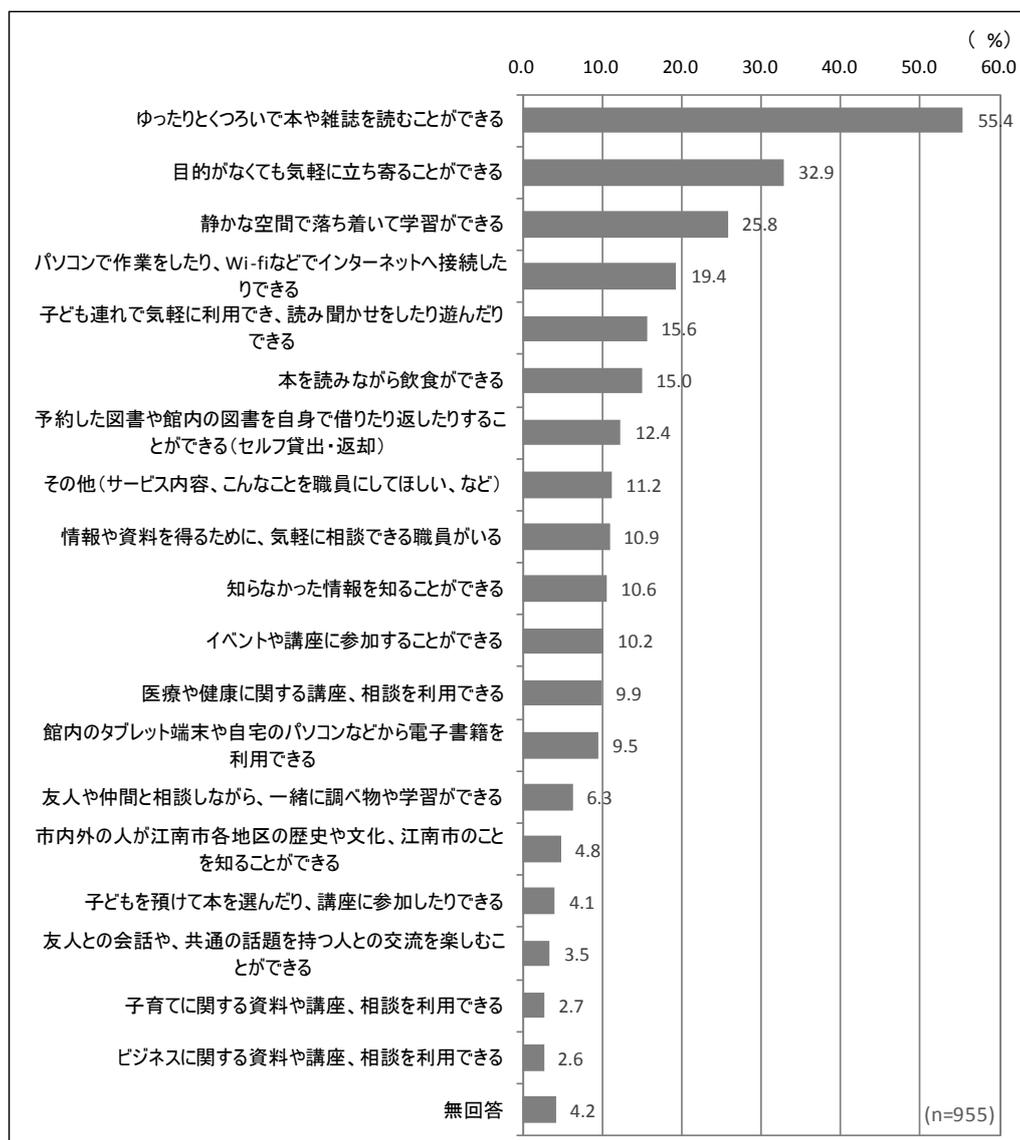


図 5-3 今後の江南市立図書館に望むこと

今後拡充していくべき資料については、「趣味・実用書」(31.8%)、「小説」(31.3%)、「児童書・絵本」(31.7%)がほぼ同値でもっとも多くなっています。年代別では、10代で「小説」(50.7%)が、30代で「児童書・絵本」(64.4%)が、70代以上では「医療に関する図書」(41.9%)が特に多くなっています。

閉館時間については、「20時」(31.4%)とする回答がもっとも多く、次いで「19時」(28.2%)となっています。年齢別でみると、若い世代ほど遅くまでの開館を希望する傾向が見られ、10～20代では「21時」が25%を超えています。

また自由意見では、明るく訪れやすい雰囲気などを求める意見が多く見られたほか、「インターネットで検索して予約できると良い」など、インターネット上での蔵書検索機能や予約機能を求める声が複数寄せられており、図書館のHP上で行われている既存サービスが十分に周知されていない様子が見られます。

5.4. 利用者アンケート調査

(1) 調査概要

現江南市立図書館の利用状況や今後のあり方に対する図書館利用者の意向を把握するため、表 5-5 に示す利用者アンケート調査を実施しました。調査は平成 30 年 6 月に実施し、438 票の回答が得られました。

表 5-5 利用者アンケート調査概要

項目	内容
1. 調査名	江南市立図書館に関する利用者アンケート調査
2. 調査対象	13 歳以上の江南市立図書館利用者
3. 調査方法	直接配布・直接回収
4. 調査内容	①江南市立図書館の利用状況 ②今後の江南市立図書館に望むこと ③属性
5. 調査期間	平成 30 年 6 月 8 日（金）～17 日（日）
6. 回収数	438 票

(2) 調査結果

1) 回答者属性

回答者の年齢構成は図 5-4 のとおりです。「40 歳代」(22.1%) がもっとも多く、「70 歳代」(19.9%)、「60 歳代」(18.3%) がその後に続いています。一方、「10 歳代」(3.0%)、「20 歳代」(3.0%) といった若年層は少なくなっています。

居住区別では、「古知野南小学校区」(20.5%) がもっとも多く、続いて「古知野東小学校区」(13.7%)、「布袋小学校区」(13.2%) が多く、市民アンケート結果と比較すると布袋小学校区がやや少なくなっています。

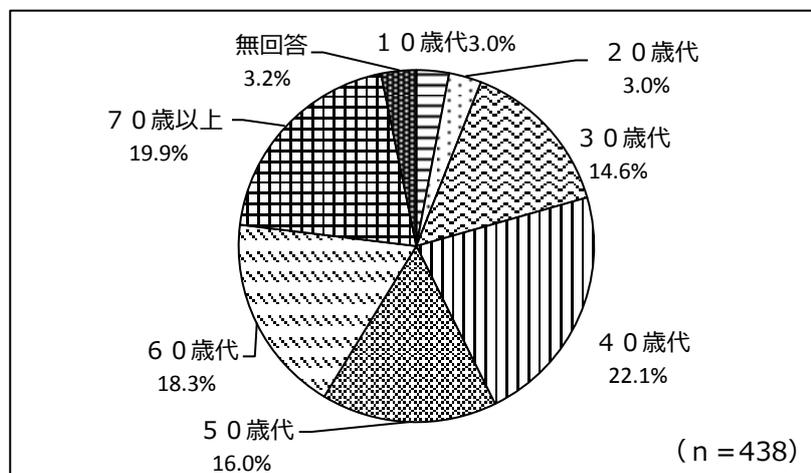


図 5-4 回答者の年齢

2) 江南市立図書館の利用状況

図書館の利用目的・滞在時間は、市民アンケートで見られた傾向がより強く現れており、利用目的を「本・雑誌・CD等を借りたり返したりするため」(90.9%)とする回答者や、滞在時間を1時間程度までとする回答者が約90%を占めています。また利用頻度も「月に1～2回程度」(65.8%)、「週に1～2回程度」(23.7%)が多いことから、資料の貸出・返却目的での定期的な利用が多いと考えられます。

図書館までの交通手段では「自家用車」が70%以上を占めています。居住区別では、現江南市立図書館に近い古知野東小学校区、布袋北小学校区で自家用車の利用割合がやや下がり、25%以上の自転車の利用が見られます。

図書館の満足度に対する回答は図5-5のとおりです。「開館時間」、「職員の対応」に対して「満足」または「やや満足」と回答した人がいずれも80%を超えています。一方、「規模」「施設の充実度」に「不満」または「やや不満」であるという回答はどちらも60%前後であり、改善が必要と考えられます。

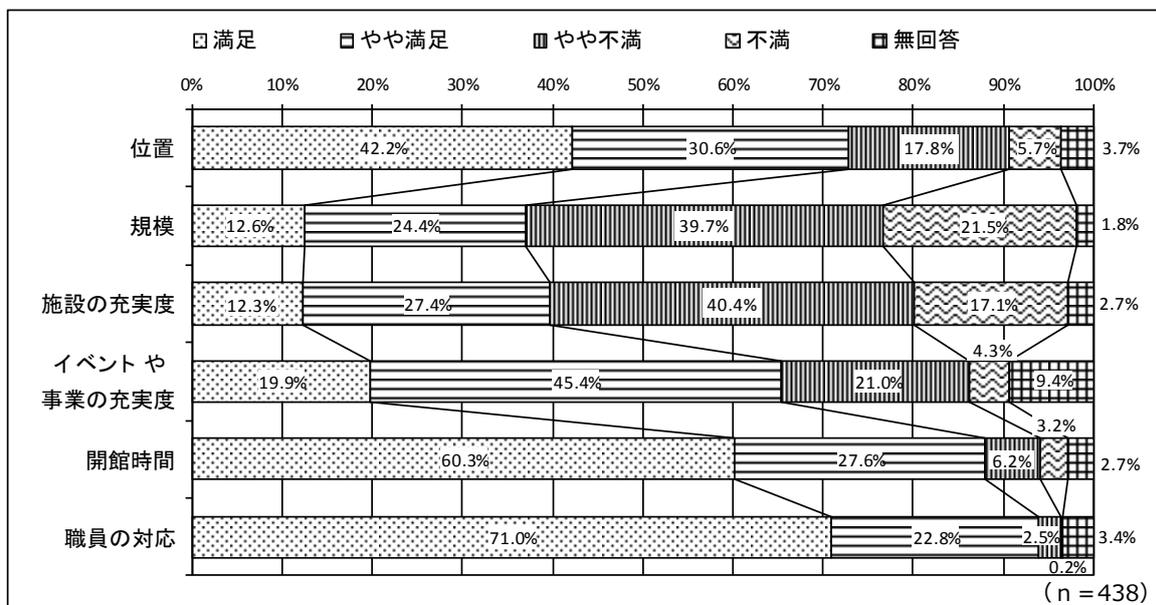


図 5-5 江南市立図書館の項目別満足度

3) 今後の江南市立図書館に望むこと

今後の江南市立図書館に望む機能については、「ゆったりとくつろいで本や雑誌を読むことができる」(66.4%)という回答がもっとも多いほか、「静かな空間で落ち着いた学習ができる」(22.1%)など、快適に読書や学習ができる空間へのニーズが高くなっています(図5-6参照)。また、「予約した図書や館内の図書を自身で借りたり返したりすることができる(セルフ貸出・返却)」(20.5%)ことへの関心も高くなっている一方、「目的がなくても気軽に立ち寄ることができる」(19.4%)は市民アンケートと比べてやや少ない結果となりました。

年齢別では、市民アンケートと同様に10代では電子端末を通じた図書館利用へのニーズが高く、20～40代では子育てに図書館を活用することに関心が高くなっています。60歳以上では「情報や資料を得るために、気軽に相談できる職員がいる」など、情報拠点としての機能が期待されています。

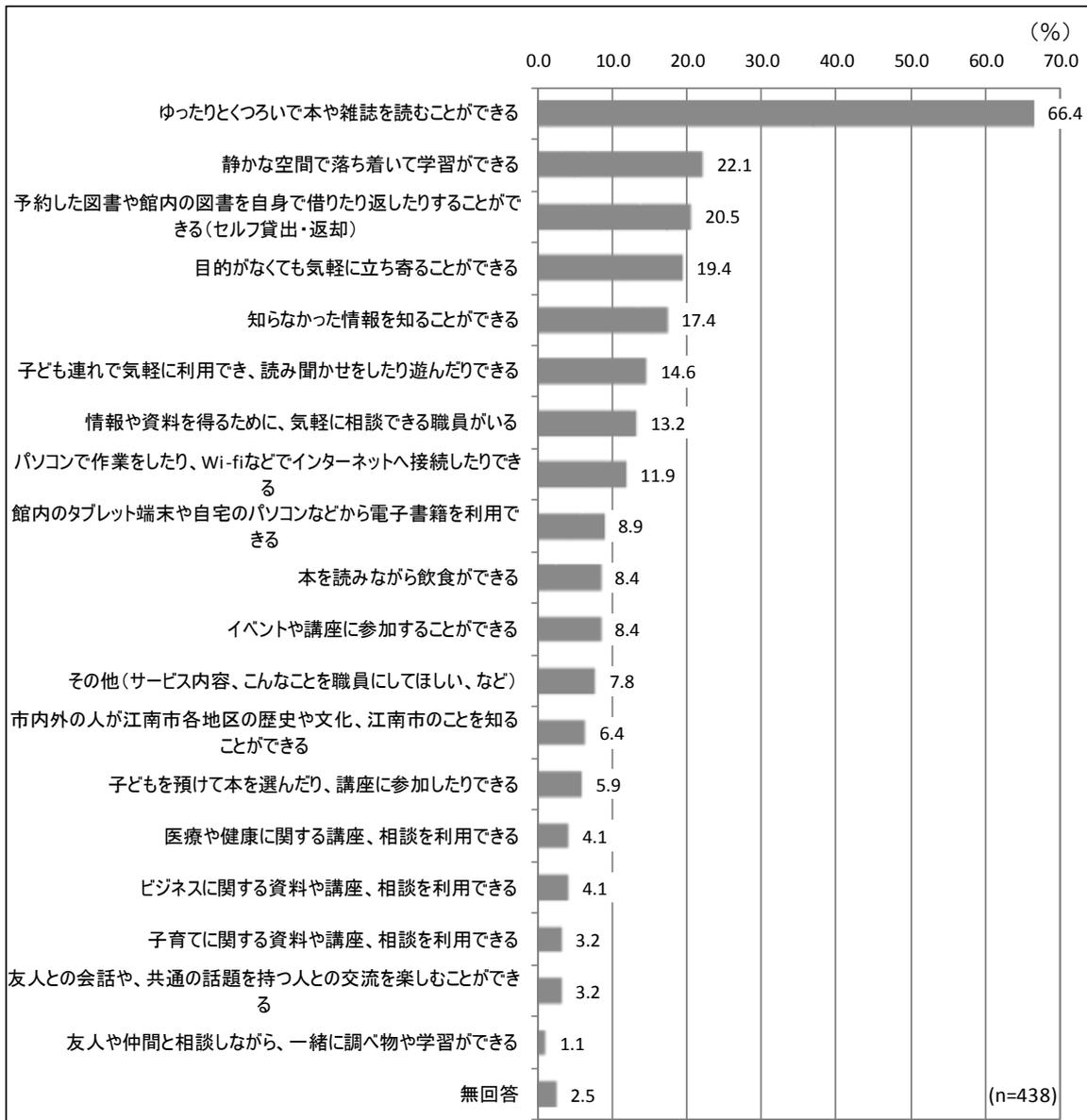


図 5-6 今後の江南市立図書館に望むこと

今後拡充していくべき資料については、「趣味・実用書」(39.3%)、「小説」(38.4%)が並んで多く、その後に「児童書・絵本」(26.7%)、「CD・映像資料」(24.9%)と続いています。また自由意見としても、「蔵書が古くて少ない」といった、新刊書や蔵書全体の拡充を求める意見が多くなっています。

閉館時間については、20時、21時といった遅い時間が多かった市民アンケートとは対照的に、「19時」(40.6%)がもっとも多く、「18時」(26.9%)、「20時」(22.4%)と続き、比較的早い時間が多くなっています。

5.5. 平成 28 年度生涯学習講演会「まちの未来につながる図書館」アンケート

市民とともに図書館のあり方を考えるきっかけ作りを目的に「まちの未来につながる図書館」と題した講演会を開催し、参加者 270 人を対象にアンケートを実施しました。アンケートの概要は次のとおりです。

- 実施日：平成 29 年 2 月 18 日
- 回収数：158（回収率 58.5%）
- 調査項目：図書館には何が重要か、普段から江南市立図書館や他自治体の図書館を利用するのか、図書館はどんなときにするのか、江南市立図書館の良い点、よくない点、今後の江南市の図書館の形態について（以上 6 項目回答選択式）、自由意見（記述式）

図 5-7 は「図書館には何が重要と思われるか」（複数回答可）という設問に対する回答結果です。「交通アクセス」、「蔵書」が過半数を超えているほか、「読書スペース」（41.8%）、「学習スペース」（33.5%）、「高齢者や障害者にやさしい」（31.6%）も多くなっており、誰にとっても利用しやすいことや、蔵書・各スペースの充実などが望まれています。

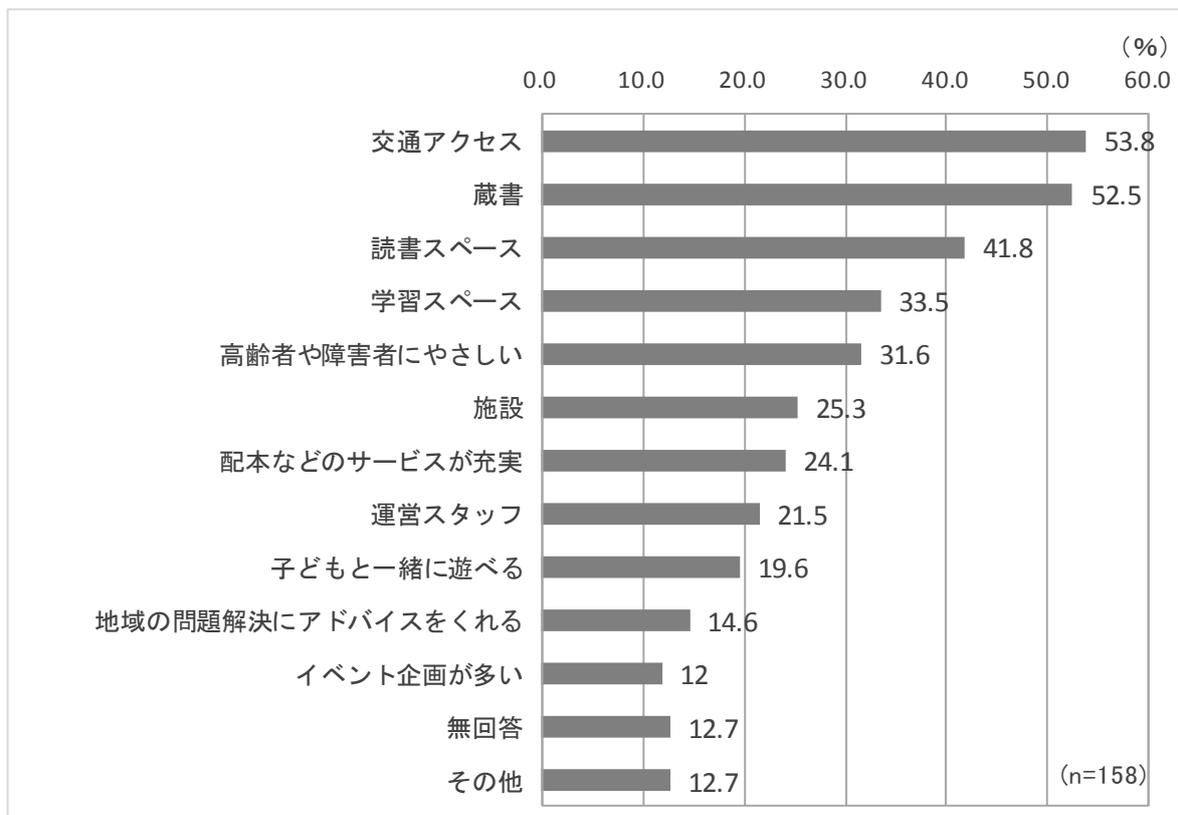


図 5-7 「まちの未来につながる図書館」アンケート回答結果

5.6. 市民ワークショップ

※作成中

表 5-6 市民ワークショップ結果（1）江南市立図書館の良いところ・改善が必要なところ

	分類	内容
良いところ	行事・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近は行事が増えている ・ 時季や時事に対応した展示をしている ・ 図書館まつりでの展示が魅力的である ・ 宅配サービス、返却ポストなど遠隔地でも利用できる工夫がある ・ 休館日が少ない ・ 職員の対応が丁寧で優しい
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他館にはない資料も所蔵している
	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな環境である ・ 家から近い ・ 駐車場が広い ・ 花壇がある ・ トイレがきれいになった
改善が必要なところ	行事・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大人向けの行事が少ない ・ 休日に開催される行事が少ない ・ 検索端末による書架の案内がわかりにくい ・ 職員の数が少ない ・ 閉館時間が早い ・ 配本サービスを受けられる曜日が限定されている ・ 紙芝居など、返却ボックスを利用できない資料がある ・ ホームページが古い
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古い本が多く、新刊書が少ない ・ 専門書、大活字本、郷土資料などが充実していない ・ 蔵書が全体的に少ない ・ 書庫や児童書コーナーが2階にあって不便 ・ 資料の並べ方がわかりにくい ・ 郷土資料のある場所が目につきにくい ・ 横田文庫の貸出サービスがない ・ 雑誌の到着とバックナンバーのある場所が離れている ・ 児童書と一般書が混在している ・ 児童コーナーとおはなし会をする部屋が離れている
	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雰囲気暗い ・ 照明が暗く、窓が少ない ・ 閲覧席、雑誌・新聞コーナー、学習スペース、多目的スペース、通路など全体的に狭い ・ 話し合いができるスペース、読み聞かせのできるスペース、中高生の居場所、子ども用トイレがない ・ 段差が多い ・ エレベーターがない ・ 交通の便が悪く、来館できない人もいる

表 5-7 市民ワークショップ結果（2）私たちが行きたくなる江南市立図書館

分類	内容
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新刊本、児童書、ライトノベル、雑誌、外国語資料、大活字本、郷土資料などの拡充、複本の購入 ・ インターネットで行政資料、電子書籍などを閲覧できるサービス ・ インターネットによる検索機能の充実 ・ セキュリティに配慮した Wi-fi の整備 ・ 市民からの寄贈を活用した蔵書構成 ・ 書店のように書籍を紹介するポップなどがあるとよい ・ リクエストサービスの拡充
貸出・返却	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブックポストの増設 ・ 自動貸出機・返却機の設置
行事・展示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利き酒、時事テーマ関連など大人向け行事の開催 ・ 講演会・原画展、繊維関連のワークショップなどの開催 ・ 図書館やスタッフの推薦書の紹介、展示
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 託児サービスの実施 ・ レファレンス機能の充実 ・ ICT の活用方法が教えてもらえるとよい ・ 本を読まない人でも気軽に立ち寄れ、楽しめる工夫 ・ オリジナルスタンプ、ポイント制度など来館したくなる工夫 ・ インスタグラム、ツイッターなどを活用した外部へのアピール ・ 開館時間の延長
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせスペース/一般と分かれた児童スペース/学習室/会議室/パソコンスペース/調理室/スタジオ/カフェ・レストラン（飲酒も可）/地域資料コーナー/ボランティア団体や地域情報の紹介コーナー/プライバシーに配慮した視聴覚室/大人でも靴を脱いでくつろげるスペース/授乳室/ボランティアルーム/対面音読室 ・ スペースにゆとりがあり、BGM が流れるくつろげる空間 ・ くつろげる椅子/児童書コーナー用のブックカート/遊び心ある小物・置物/低い書架/足音の響かない床 ・ バリアフリーへの配慮 ・ 立体駐車場などによる駐車スペースの確保 ・ 駐車場は無料で利用できるとよい ・ 施設内外に緑が多いとよい ・ ベンチなどがあり、図書館の資料を持ち出して読める公園
他施設との連携など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業施設も含めて 1 日中遊び、学べる空間 ・ 歴史民俗資料館との一元化、男女共同参画センター、女性しごと支援施設、市民活動センターなどとの連携 ・ 市役所の出張所やコンビニの併設 ・ 複合施設でない方がよい
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市のビジョンに合わせた江南市らしい図書館づくり ・ テーマ性があるとよい ・ おりものの町として繊維産業をアピールする工夫 ・ コミュニティ広場として利用できるとよい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員（特に司書）の増員、待遇の改善 ・ 分館、移動図書館、既存の公共施設への分室の設置、学校図書室の充実などによる遠隔地へのサービス ・ コミュニティバスなど公共交通の整備

6. 江南市図書館サービスのあり方と整備の基本方針

6.1. 江南市図書館の課題

(1) 資料面での課題

1) 十分な質・量の資料の確保

現江南市立図書館は築後 40 年以上が経過し、蔵書冊数（約 12 万 2 千冊）が収容能力（約 6 万冊）を大きく上回るなど、資料の計画的な収集・保存が難しい状況です。また、市内に 3 箇所ある公民館図書室でも蔵書の古さや少なさが目立ちます。本市の人口 1 人当たり蔵書冊数の水準は他自治体と比較して極めて低く、人口 1 人当たり資料費もほぼ同様の傾向が見られます。アンケート調査では、回答者の 60%以上が現江南市立図書館の規模を不満（「やや不満」含む）としており、市民ワークショップや職員ヒアリングでも蔵書の古さや資料の少なさを指摘する意見が見られました。今後は、質・量の両面から資料の充実や新陳代謝を図っていくことが必要です。

2) 市民ニーズや社会情勢の変化への対応

現江南市立図書館では児童書の利用が増加傾向にあり、アンケート調査でも約 30%の回答者がその充実を望んでいます。医療関連資料や視聴覚資料に対するニーズも存在するほか、各公民館図書室の蔵書は利用が少ないなど、現在の蔵書構成・資料構成と市民ニーズとの間にはギャップが見られます。新江南市立図書館では他施設との複合化に伴う利用者層の変化も想定されることから、今後は、より多様化する市民ニーズに適切かつ柔軟に対応した資料を収集・提供していくことが必要です。また、高度情報社会の進展に伴い公共図書館でも ICT（情報通信技術）の導入が進んでいることを踏まえ、青空文庫以外の電子書籍を導入するなど、紙とデジタル資料とを効率的に組み合わせた資料提供も必要となります。

(2) サービス面での課題

1) 利用の促進・拡大に資するサービスの展開

現江南市立図書館の貸出冊数や貸出者数は近年ほぼ横ばいで推移していますが、人口 1 人当たり貸出冊数及び人口 1 人当たり予約件数の水準は他自治体と比較して低く、アンケート調査での図書館利用率も約 37%と高くありません。さらに、現江南市立図書館では若年層の利用率が低いほか、市北西部に位置する宮田地区、草井地区、藤ヶ丘地区住民の利用率も低くなっています。今後は、さらなる利用の促進及び新たな利用者層の創出に資するサービスを展開していくことが必要です。

2) 市民の抱える課題の解決に資するサービスの充実

現江南市立図書館では、主に資料の貸出や閲覧、児童対象の行事を中心にサービスを展開してきたため、利用目的も資料の貸出・返却が大部分を占めています。近年では、社会環境の大きな変化に伴い市民や地域の抱える課題が多様化しているため、現江南市立図書館でもビジネス支援サービスなどを開始していますが、その内容は十分とは言えない状況です。そのため、調べ物や職員への相談を目的とする来館は多くなく、レファレンス件数もほぼ横ばいで推移しています。今後は、市民の自主的な学びや日常生活で抱える課題の解決に資するサービスについて、さらなる充実や周知を図っていくことが必要です。

3) 子育て環境の向上に資するサービスの強化

本市では、近年「子育て先進都市」の実現を目指して関連施策の充実に取り組んでいます。また、新江南市立図書館は、布袋駅東複合公共施設内で「子育て世代のワンストップ拠点」機能である保健センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターなどと一体的に整備する予定です。事業予定地周辺では、宅地開発に伴う子育て層の流入も見られることから、新江南市立図書館では他機能と連携して子育て層を対象としたより効果的なサービスを展開することにより、今後も市民が住み続けたいと思えるような子育て先進都市の実現に貢献していくことが必要です。

4) 賑わい・交流創出に資するサービスの推進

布袋駅東複合公共施設は、「江南市の南玄関口にふさわしい、安心して住み続けられるまちの交流施設」をコンセプトとし、効率的・効果的なサービス提供や導入機能間での相乗効果の創出、民間施設との併設による賑わい・交流の創出などを目指して整備を進めています。そのため、同施設内に整備予定の新江南市立図書館では、施設全体としての一体的なサービス展開や市民の継続的利用を促すための取り組みに貢献することが必要となります。また、現江南市立図書館の閉館時間は18時30分までと、駅前に立地する公共図書館としては比較的早いことなどから、今後適切な開館時間帯・開館日数の検討も必要です。

(3) 施設面での課題

1) 快適な読書・学習環境の確保

現江南市立図書館では施設の老朽化が進んでおり、雨漏りや空調機器の故障などの施設・設備の不具合が生じています。また、他自治体の中央館と比較して規模が小さいことや貸出・返却を中心とした施設であることなどから、閲覧席や図書収容能力が不足しているほか、カウンターでの待ち時間も長く、音に関する問題も生じています。平成27年度以降は、公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備や芝生広場へのベンチの設置、児

童コーナーのリニューアルなどに取り組み、今年度はタブレット端末の導入や休憩コーナーの設置を予定するなど、読書・学習環境改善に向けた取り組みを進めています。しかし、アンケート調査では回答者の約60%が施設の充実度について不満（やや不満との回答含む）としており、市民ワークショップでも施設・設備の改善を望む意見が多く見られました。今後は、多様な市民一人ひとりの読書・学習形態に対応した快適な環境づくりが必要です。

2) 利用のしやすさや親しみやすさへの配慮

現江南市立図書館は、平成26年度のバリアフリー改修により昇降機を設置したものの、中2階や3階への移動手段は階段のみであり、書架間隔も狭く、完全バリアフリー化には至っていません。また、授乳室やおはなしの部屋なども未設置です。新江南市立図書館整備にあたっては、高齢な市民や障害のある市民、乳幼児連れの市民などを含むすべての市民が安心して利用できるような施設・設備の充実を図っていくことが必要です。また、アンケート調査では、今後の江南市立図書館には「目的がなくても気軽に立ち寄ることができる」ことを望むとの回答も多いことから、新江南市立図書館では、市民が個々の時間を自由に楽しんだり、利用者同士で交流したりすることを可能とする空間の確保や、初めて来館する市民にとっての利用のしやすさへの配慮などを通じて、市民にとってより身近な施設の実現を図ることも必要となります。

6.2. 江南市図書館のあり方と整備の基本方針

(1) 江南市図書館サービスのあり方

1) サービス網の考え方

「2 江南市立図書館の現状と特性」で示したとおり、江南市内の図書館は現江南市立図書館1館のみであり、その他に古知野東公民館・古知野西公民館・古知野北公民館に図書室を設置しています。現江南市立図書館の予約資料は、古知野西公民館・古知野北公民館を含む8施設で受取が可能で、同施設及び江南駅のブックポストで返却が可能となっています。

現在の本市の図書館整備水準は他自治体と比較して低く、現江南市立図書館へのアクセスを不便と感じている市民も少なくありません。また、図書館利用率の低い市北西部の地区では、布袋駅東複合公共施設内での新江南市立図書館の整備に伴い図書館からの距離がさらに遠くなります。アンケート調査では、図書館移転に伴う分館の設置や資料受取・返却サービスポイントの増設に対するニーズも見られました。

そこで、新江南市立図書館整備後は、今後の本市の人口動態や財政収支の見通しを踏まえて現在のサービス提供体制を基本とするものの、新江南市立図書館及び公民館図書室の蔵書及びサービスの充実や既存公共施設を活用した新たな分室の設置、電子図書館サービスの導入などを通じて市内全域での図書館サービス網を充実し、図書館サービスの利便性の向上を図ることとします。

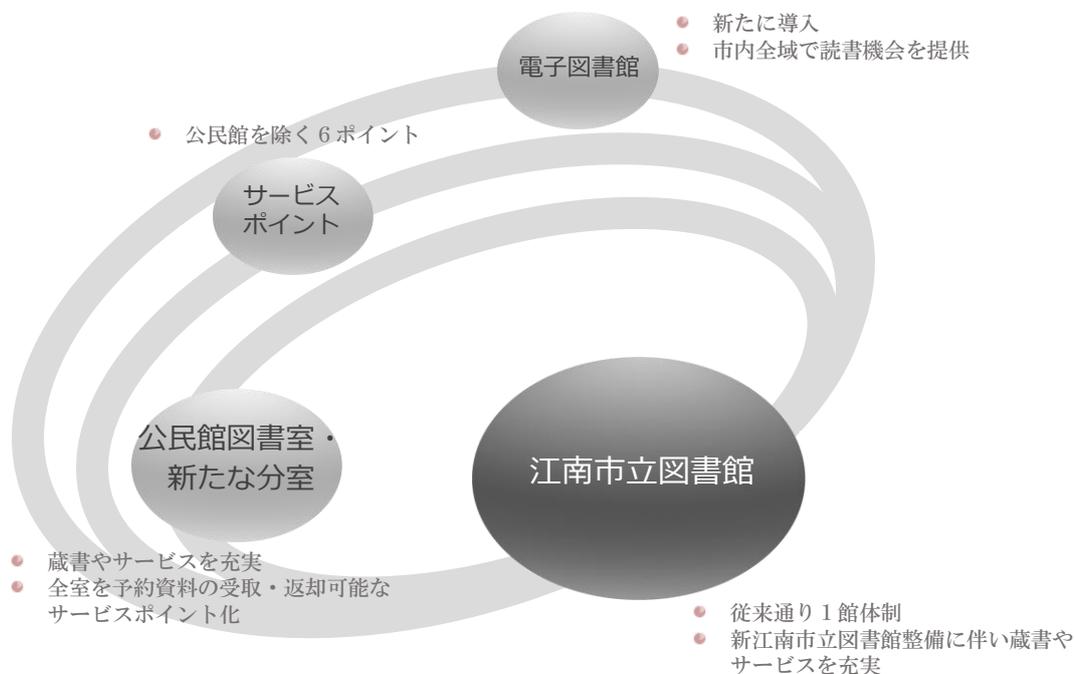


図 6-1 今後のサービス網のイメージ

2) 各館の今後の方向性

i. 新江南市立図書館

今後の江南市図書館サービスについては、新江南市立図書館及び公民館図書室、学校図書館などで市内図書館ネットワークを形成し、新中央図書館はその中枢を担うものとし、また、すべての市民を対象として、高度かつ専門的な図書館サービスを展開することで、市民一人ひとりの生涯にわたる読書・学習活動を支援するほか、公民館図書室や学校図書館の支援、市外の公共図書館との相互協力などを行います。

また、「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」の図書館、「子育て先進都市」の図書館、布袋駅東複合公共施設内の図書館として、市民の日常生活における課題の解決、子育て環境の向上、賑わい・交流創出に資することを目指します。

ii. 公民館図書室・新たな分室

公民館図書室は、子どもから高齢者までの幅広い市民にとって身近で気軽に利用することの出来る施設として、公民館活動に資することや新江南市立図書館の機能を補完することなどを目的に直接的な貸出・予約サービスを展開していきます。今後は、蔵書の充実・更新を図るとともに、新江南市立図書館とのオンライン・ネットワーク化による蔵書検索や予約機能の付加などを通じて、サービス及び利便性の向上を図ります。

iii. 資料受取・返却用サービスポイント

新江南市立図書館及び3つの公民館図書室よりもさらに身近で便利なサービスポイントとして、インターネットなどで予約された資料の受け取りや返却といったサービスを引き続き提供していきます。

iv. 電子図書館

いつでもどこでも誰でも読書を楽しむことのできるインターネットを活用した図書館サービスとして、新たに導入を検討します。新江南市立図書館や分室などへの来館の困難な市民や開館時間中の利用が困難な市民、視覚障がいのある市民、スマートフォンやタブレット端末での読書に慣れた世代、小中学生などを主な対象として、市域全域で読書に親しむ機会を提供します。

(2) 新江南市図書館の基本理念と整備方針

1) 基本理念

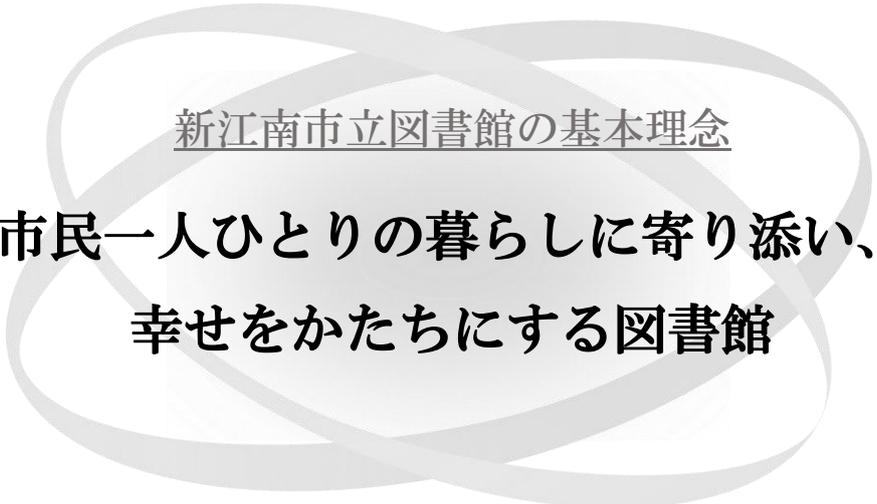
現江南市立図書館は、昭和51年の開館から40年間以上にわたり市民の読書・学習活動を支援するためのサービスを提供してきましたが、近年では施設の狭隘化・老朽化が著しいほか、社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえたサービスのさらなる充実が必要となっています。

また、本市では、独自の歴史資源や豊かな自然資源、名古屋市との近接性などの地

域の個性を活かした「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」の実現を目指した取り組みや、「子育て先進市」の実現を目指した取り組みを進めていることから、新江南市立図書館では、市民の生活の質の向上に貢献するとともに、安心して子育てをすることの出来る環境や子どもたちの健やかな成長を可能とする環境の創出に資することなども求められます。

さらに、新江南市立図書館は、布袋駅東複合公共施設整備事業で保健センターや子育て支援センター、民間施設などと一体的に整備する予定であることから、他施設との連携などを通じて事業コンセプトの「江南市の南玄関口にふさわしい、安心して住み続けられるまちの交流施設」の実現に寄与することも期待されます。

そこで、新江南市立図書館の整備にあたり、市民の生涯にわたる読書・学習活動を支援するだけでなく、市民生活そのものを支援し、本市全体での住みやすさや利便性、子育て環境の向上などへと貢献することを目指し、『市民一人ひとりの暮らしに寄り添い、幸せをかたちにする図書館』を基本理念とします。



新江南市立図書館の基本理念

**市民一人ひとりの暮らしに寄り添い、
幸せをかたちにする図書館**

図 6-2 新江南市立図書館の基本理念

2) 整備方針

基本理念に掲げた新江南市立図書館の図書館像を実現するために、以下の4つの整備方針を策定します。

彩

方針1：日々を彩る資料・情報を備えた図書館

- 人口約10万人の自治体の公共図書館として相応しい量の蔵書を収集・提供するとともに、社会情勢や市民ニーズの変化などを踏まえた新鮮でバランスの取れた資料を収集・提供します。
- 多様な市民の知的好奇心を刺激し、更なる読書・学習意欲を喚起するような読んでみたいと思える本との出会い、自ら手にすることのないような意外な本や資料との出会いなどを演出します。
- 近年の高度情報社会の進展に対応し、市内全域での読書機会を確保するための電子書籍の積極的な導入を図るほか、各種データベース、視聴覚資料などの多様な媒体の資料の充実を図ります。



潤

方針2：生活に潤いや楽しさを添える図書館

- 「豊かで暮らしやすい生活都市」の図書館として、市民の生涯にわたる生きがいのある日々の実現に資するため、ライフステージの各段階に対応した多様な読書や学びの場と機会を提供します。
- 仕事や法律、健康など、市民が日常生活の中で抱える疑問や悩みを解決し、より快適な毎日を送ることに役立つような資料や情報を紹介するとともに、利用者自身で必要な資料や情報にたどり着くことを支援します。
- 市民が気軽に立ち寄って自由時間を楽しんだり、憩いの時間を過ごしたりすることの出来る図書館として、居心地の良さや快適性に配慮した空間を提供します。



育

方針3：子どもの成長や子育てを支える図書館

- 江南市の次世代を担う子どもたちが、本や読書を通じて感じ、考え、表現する力を伸ばすことを可能とする成長に応じた本との触れ合いの場や機会を提供します。また、学校図書館などとの連携・協力体制を強化し、子どもの読書活動の推進に協働で取り組みます。
- 読書離れや図書館離れが進みがちで自主活動の機会も少なくなりがちな中高生に対し、放課後や休日の日常的な居場所や自由な居場所としての機能の充実を図ることで、読書や社会参画のきっかけを提供します。
- 「子育て先進都市」を目指す江南市の図書館として、親子や子育て世代同士が本を通じてコミュニケーションを深めることの出来る場や機会を提供するほか、子どもの発育や仕事との両立といった悩みや不安の解消に関する資料・情報を提供します。



魅

方針4：地域の魅力と活力の満ちた図書館

- 江南市らしさを感じられたり、江南市をより深く知ることが出来たりする資料や情報を関連機関と連携して積極的に発信することで、市民が自らの暮らすまちに対する誇りや愛着を再認識する場や機会を提供するほか、江南市独自の資源を市内外へと広くアピールします。
- 「江南市の南玄関口にふさわしい、安心して住み続けられるまちの交流施設」をコンセプトとする布袋駅東複合公共施設に立地する図書館として、所蔵する資料や情報を通じた市民同士の新たな出会いや交流の創出、文化活動の活発化に資する場や機会を提供します。
- 施設の運営に市民自らが継続的に参画する場や機会を確保し、市民と協働で魅力ある施設運営に取り組みます。



方針1：日々を彩る資料・
情報を備えた図書館

方針2：生活に潤いや楽しさを
添える図書館



図 6-3 新江南市立図書館の整備方針

7. 図書館の蔵書規模と施設規模

7.1. 蔵書規模の計画値

(1) 収蔵冊数（約 30 万冊）

新江南市立図書館の収蔵冊数の計画値は、他自治体の中央館整備水準を踏まえて約 30 万冊とします。

表 7-1 に示すとおり、ア) 愛知県内の 36 市、イ) 本市と類似団体の類型区分（市Ⅲ-2）が同一の 29 市、ウ) 本市と人口が同規模（10～15 万人）の 103 市のそれぞれの人口 1 人当たり蔵書冊数の平均値と本市人口から新江南市立図書館の必要収蔵冊数を算出すると、約 26 万 6 千～34 万 4 千冊となります。（県内市・類似団体・同規模市の詳細は表 7-4～表 7-6 参照）。

表 7-1 他自治体水準を踏まえた新江南市立図書館の必要収蔵冊数

番号	区 分	人口1人当たり	新江南市立図書館 必要規模	
		蔵書(冊/人)	江南市人口 (人)	収蔵冊数(冊)
ア)	愛知県内市(36市)平均	3.41	100,915	343,774
イ)	類似団体(29市)平均	2.70		272,232
ウ)	同規模市(103市)平均	2.63		265,899
—	現江南市立図書館(参考)	1.25		125,695

※人口 1 人当たり蔵書冊数は『日本の図書館 2017』より、本市人口は平成 29 年 4 月 1 日住民基本台帳人口より

その一方で、「[平成 24 年文部科学省告示第 172 号] 図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用の手引き」の「目標基準例」を踏まえると、新江南市立図書館の必要収蔵冊数は約 51 万 3 千冊と、上記他自治体水準を大きく上回ります（表 7-2 参照）。

表 7-2 望ましい基準目標基準例を踏まえた新江南市立図書館必要収蔵冊数

番号	区 分	人口(人)	蔵書冊数(冊)
ア)	望ましい基準目標基準例 ～15万人	124,209	631,264
	人口1人当たり	—	5.1
イ)	新江南市立図書館の必要規模	100,915	512,878
	現江南市立図書館(参考)	—	125,695

※目標基準例は『[平成 24 年文部科学省告示第 172 号] 図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用の手引き』より江南市人口は平成 29 年 4 月 1 日住民基本台帳人口より

そこで、新江南市立図書館では、主に以下のような理由から収蔵冊数の計画値を他自治体水準を踏まえた約 30 万冊とします。

新市立図書館の収蔵冊数を約 30 万冊とする理由

- 『江南市公共施設等総合管理計画』などでも示すとおり、市が所有する公共施設を現状の規模のまま将来にわたって維持管理し、改修・更新する費用を賄えないことが明らかとなっており、今後の人口減少や人口構造のニーズの変化を見据え、施設規模・運営方法の最適化を図る必要があります。
- 新江南市立図書館は布袋駅東複合公共施設内に移転予定であり、その整備には既存の基金及び社会資本整備総合交付金（都市再構築戦略事業）を活用予定ですが、今後厳しさを増すと考えられる財政状況を踏まえて財政支出を極力抑える必要があります。また、布袋駅東複合公共施設整備事業対象地内で整備可能な建物面積には上限があり、導入機能間で調整が必要となる可能性があります。
- 上記を踏まえ、蔵書の規模ではなくその構成や鮮度、立地を活かしたサービス展開などを重視することで図書館サービスの向上を図るものとします。
- なお、この収蔵冊数約 30 万冊について、現在の約 1.5 倍の資料費（約 1,800 万円／年）を想定した場合の蔵書新鮮度（受入冊数／蔵書冊数）は約 3.0% と他自治体水準と比較して若干低くはなりますが、蔵書の鮮度や魅力の維持の面からは適切な規模であると考えられます（参照）。

表 7-3 他自治体及び新江南市立図書館の蔵書新鮮度

番号	区 分	蔵書新鮮度(受入冊数／蔵書冊数)		
		平均	貸出密度上位 10%自治体平均	貸出密度上位1/4 自治体平均
ア)	愛知県内市(36市)	3.8%	4.4%	4.1%
イ)	類似団体(29市)	3.2%	3.6%	3.5%
ウ)	同規模市(103市)	3.9%	3.6%	3.4%
—	新江南市立図書館(想定)	3.0%		

※『日本の図書館 2017』より、貸出密度は市民 1 人あたりの年間貸出冊数を指す

表 7-4 県内市 36 市の中央館整備水準

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	人口あたり	
						蔵書冊数 (冊/人)	順位
—	江南市立図書館	101,053	42	962	121,745	1.20	—
1	豊田市中央図書館	422,571	19	12,567	1,762,706	4.17	8
2	一宮市立中央図書館	386,343	5	6,702	582,474	1.51	35
3	岡崎市立中央図書館	382,784	9	7,895	893,255	2.33	29
4	豊橋市中央図書館	378,485	35	5,655	674,947	1.78	34
5	春日井市図書館	311,327	18	4,983	784,900	2.52	26
6	安城市図書情報館	185,818	1	6,808	706,388	3.80	14
7	豊川市中央図書館	185,273	19	5,773	485,636	2.62	25
8	西尾市立図書館	170,734	34	2,722	722,724	4.23	7
9	小牧市立図書館	153,655	40	2,224	327,226	2.13	32
10	刈谷市中央図書館	149,262	28	5,509	735,760	4.93	3
11	稲沢市立中央図書館	138,089	11	4,968	625,393	4.53	5
12	瀬戸市立図書館	130,908	48	1,412	309,914	2.37	28
13	半田市立図書館	118,733	33	1,749	428,753	3.61	17
14	東海市立中央図書館	113,535	41	2,411	302,232	2.66	24
15	おおぶ文化交流の杜図書館	89,788	4	3,650	336,655	3.75	15
16	あま市美和図書館	88,527	24	754	118,084	1.33	36
17	日進市立図書館	88,024	10	6,102	363,427	4.13	9
18	知多市立中央図書館	86,084	38	3,229	327,602	3.81	13
19	北名古屋市東図書館	84,433	28	3,022	185,612	2.20	31
20	尾張旭市立図書館	82,605	37	1,393	205,654	2.49	27
21	蒲郡市立図書館	81,291	49	1,986	272,189	3.35	20
22	犬山市立図書館	74,790	27	4,962	238,165	3.18	23
23	碧南市民図書館	71,673	25	4,327	423,888	5.91	2
24	知立市図書館	71,010	31	2,477	226,321	3.19	22
25	豊明市立図書館	68,706	38	2,923	271,860	3.96	11
26	清須市立図書館	67,118	6	3,339	127,645	1.90	33
27	愛西市中央図書館	64,699	23	2,012	144,170	2.23	30
28	田原市中央図書館	64,078	16	3,972	451,379	7.04	1
29	津島市立図書館	64,074	18	5,900	292,404	4.56	4
30	みよし市立中央図書館	60,383	2	3,807	211,679	3.51	18
31	常滑市立図書館	58,240	47	1,447	203,524	3.49	19
32	長久手市中央図書館	55,555	26	4,201	223,951	4.03	10
33	新城図書館（ふるさと情報館）	48,553	31	2,021	162,130	3.34	21
34	岩倉市図書館	47,758	35	2,588	177,875	3.72	16
35	高浜市立図書館	46,756	39	1,105	204,901	4.38	6
36	弥富市立図書館	44,399	33	1,978	174,198	3.92	12
	平均	131,557		3,849	407,934	3.41	

※『日本の図書館 2017』より、おおぶ文化交流の杜図書館延床面積は施設案内パンフレット

表 7-5 類似団体（Ⅲ-2）29市の中央館整備水準

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	人口あたり	
						蔵書冊数 (冊)	順位
—	江南市立図書館	101,053	42	962	121,745	1.20	—
1	石巻市図書館	148,798	45	1,463	186,843	1.26	27
2	各務原市立中央図書館	148,409	27	4,015	550,311	3.71	5
3	周南市立中央図書館	147,482	36	3,681	338,069	2.29	20
4	藤枝市立駅南図書館	146,609	9	3,299	364,139	2.48	16
5	古河市古河図書館	144,715	34	604	127,968	0.88	29
6	桑名市立中央図書館	143,149	13	3,169	335,745	2.35	19
7	尾道市立中央図書館	142,462	27	3,376	539,921	3.79	4
8	焼津市立焼津図書館	142,016	33	1,422	202,897	1.43	26
9	稲沢市立中央図書館	138,089	11	4,968	625,393	4.53	2
10	富士宮市立中央図書館	134,526	29	3,802	422,310	3.14	7
11	瀬戸市立図書館	130,908	48	1,412	309,914	2.37	18
12	草津市立図書館	130,385	35	2,781	324,423	2.49	15
13	大東市立中央図書館	123,397	31	891	146,547	1.19	28
14	新居浜市立別子銅山記念図書館	122,347	26	3,072	301,622	2.47	17
15	佐野市立図書館	121,183	35	3,042	268,114	2.21	22
16	長浜市立長浜図書館	120,995	35	1,749	269,262	2.23	21
17	半田市立図書館	118,733	33	1,749	428,753	3.61	6
18	防府市立防府図書館	117,713	12	3,527	455,645	3.87	3
19	掛川市立中央図書館	117,609	17	4,611	333,809	2.84	10
20	桐生市立図書館	116,934	38	2,369	302,538	2.59	14
21	東近江市立八日市図書館	115,304	33	2,289	299,508	2.60	13
22	加須市立加須図書館	114,289	13	2,480	248,477	2.17	23
23	丸亀市立中央図書館	113,587	26	3,405	342,759	3.02	8
24	東海市立中央図書館	113,535	41	2,411	302,232	2.66	12
25	白山市立松任図書館	112,829	15	4,337	337,841	2.99	9
26	彦根市立図書館	112,786	38	2,743	756,285	6.71	1
27	小松市立図書館	108,573	36	1,840	202,584	1.87	24
28	可児市立図書館	101,148	33	1,528	170,661	1.69	25
29	三条市立図書館	100,884	34	2,233	284,225	2.82	11
	29館 平均	125,841		2,699	337,200	2.70	

※『日本の図書館2017』より

表 7-6 同規模市 103 市の中央館整備水準

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	人口あたり	
						蔵書冊数 (冊/人)	順位
—	江南市立図書館	101,053	42	962	121,745	1.20	—
1	米子市立図書館	149,731	5	2,925	300,695	2.01	77
2	入間市立図書館	149,593	33	1,934	249,523	1.67	90
3	刈谷市中央図書館	149,262	28	5,509	735,760	4.93	3
4	石巻市図書館	148,798	45	1,463	186,843	1.26	98
5	各務原市立中央図書館	148,409	27	4,015	550,311	3.71	15
6	多摩市立図書館	147,849	10	5,480	325,460	2.20	72
7	周南市立中央図書館	147,482	36	3,681	338,069	2.29	68
8	藤枝市立駅南図書館	146,609	9	3,299	364,139	2.48	54
9	深谷市立図書館	145,053	27	2,291	259,330	1.79	87
10	古河市古河図書館	144,715	34	604	127,968	0.88	103
11	守口市生涯学習情報センター	144,615	24	2,245	163,024	1.13	102
12	土浦市立図書館	144,088	0	1,159	350,274	2.43	59
13	武蔵野市立中央図書館	143,262	23	7,529	634,215	4.43	7
14	桑名市立中央図書館	143,149	13	3,169	335,745	2.35	62
15	尾道市立中央図書館	142,462	27	3,376	539,921	3.79	13
16	焼津市立焼津図書館	142,016	33	1,422	202,897	1.43	95
17	沖縄市立図書館	140,503	1	5,041	217,271	1.55	91
18	諫早市立諫早図書館	140,140	17	7,405	439,274	3.13	24
19	岩国市中央図書館	139,986	24	4,278	631,088	4.51	5
20	稲沢市立中央図書館	138,089	11	4,968	625,393	4.53	4
21	三郷市立図書館	137,656	4	311	159,348	1.16	100
22	青梅市中央図書館	136,750	10	3,860	297,902	2.18	74
23	朝霞市立図書館	135,928	31	2,752	521,796	3.84	11
24	箕面市立中央図書館	135,587	29	1,910	378,268	2.79	35
25	戸田市立図書館	135,243	34	3,611	408,782	3.02	27
26	富士宮市立中央図書館	134,526	29	3,802	422,310	3.14	23
27	木更津市立図書館	134,002	43	1,855	356,000	2.66	40
28	大崎市図書館	133,958	1	3,855	185,493	1.38	96
29	我孫子市民図書館	132,853	16	2,125	256,855	1.93	81
30	鶴岡市立図書館	131,758	33	2,181	264,063	2.00	78
31	成田市立図書館	131,739	33	5,179	826,681	6.28	2
32	瀬戸市立図書館	130,908	48	1,412	309,914	2.37	60
33	海老名市立中央図書館	130,627	33	3,579	330,795	2.53	52
34	八代市立図書館	130,572	33	2,636	301,051	2.31	66
35	飯塚市立飯塚図書館	130,517	22	1,806	247,651	1.90	82
36	草津市立図書館	130,385	35	2,781	324,423	2.49	53
37	伊勢市立伊勢図書館	129,764	25	2,397	306,543	2.36	61
38	座間市立図書館	129,701	35	3,524	411,945	3.18	20
39	延岡市立図書館	127,924	21	3,168	338,068	2.64	43
40	霧島市立国分図書館	126,966	21	2,058	253,024	1.99	79

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	人口あたり	
						蔵書冊数 (冊/人)	順位
41	唐津市近代図書館	126,280	25	4,351	343,808	2.72	37
42	門真市立図書館	125,409	41	1,598	186,694	1.49	93
43	橿原市立図書館	124,113	22	2,436	302,869	2.44	57
44	大東市立中央図書館	123,397	31	891	146,547	1.19	99
45	市立小樽図書館	122,927	35	2,489	311,359	2.53	51
46	会津若松市立会津図書館	122,749	7	2,809	355,831	2.90	31
47	一関市立一関図書館	122,644	4	7,905	281,667	2.30	67
48	新居浜市立別子銅山記念図書館	122,347	26	3,072	301,622	2.47	55
49	うるま市立中央図書館	122,099	27	3,284	224,278	1.84	85
50	松原市民松原図書館	121,962	38	1,551	395,178	3.24	19
51	奥州市立水沢図書館	121,282	29	2,543	284,118	2.34	63
52	佐野市立図書館	121,183	35	3,042	268,114	2.21	71
53	北見市立中央図書館	121,048	2	4,799	294,936	2.44	58
54	長浜市立長浜図書館	120,995	35	1,749	269,262	2.23	70
55	生駒市図書館	120,944	31	1,381	406,009	3.36	18
56	別府市立図書館	120,658	30	1,353	217,310	1.80	86
57	国分寺市立本多図書館	119,940	35	963	136,351	1.14	101
58	江別市情報図書館	119,517	28	2,821	377,316	3.16	21
59	大牟田市立図書館	119,407	27	2,203	307,414	2.57	49
60	鴻巣市立鴻巣中央図書館	119,192	7	1,157	199,798	1.68	89
61	半田市立図書館	118,733	33	1,749	428,753	3.61	16
62	那須塩原市西那須野図書館	118,308	39	1,370	179,203	1.51	92
63	小金井市立図書館	117,978	42	1,956	288,397	2.44	56
64	防府市立防府図書館	117,713	12	3,527	455,645	3.87	9
65	掛川市立中央図書館	117,609	17	4,611	333,809	2.84	33
66	はつかいち市民図書館	117,292	21	1,466	243,456	2.08	76
67	東久留米市立中央図書館	117,128	31	2,545	273,590	2.34	65
68	桐生市立図書館	116,934	38	2,369	302,538	2.59	48
69	東近江市立八日市図書館	115,304	33	2,289	299,508	2.60	46
70	富田林市立中央図書館	114,919	42	764	299,904	2.61	45
71	加須市立加須図書館	114,289	13	2,480	248,477	2.17	75
72	浦添市立図書館	114,165	33	3,037	297,974	2.61	44
73	羽曳野市立中央図書館	114,146	17	2,661	249,969	2.19	73
74	三田市立図書館	113,996	28	2,676	310,302	2.72	38
75	丸亀市立中央図書館	113,587	26	3,405	342,759	3.02	28
76	東海市立中央図書館	113,535	41	2,411	302,232	2.66	39
77	多治見市図書館	113,419	21	3,307	439,106	3.87	8
78	春日市民図書館	113,026	23	2,632	326,365	2.89	32
79	ふじみ野市立大井図書館	112,919	30	1,403	166,921	1.48	94
80	昭島市民図書館	112,897	45	1,506	334,858	2.97	30

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	人口あたり	
						蔵書冊数 (冊/人)	順位
81	白山市立松任図書館	112,829	15	4,337	337,841	2.99	29
82	彦根市立図書館	112,786	38	2,743	756,285	6.71	1
83	西条市立西条図書館	112,230	9	5,137	341,833	3.05	26
84	三島市立図書館	111,601	21	3,068	415,179	3.72	14
85	富士見市立中央図書館	110,045	23	4,464	423,296	3.85	10
86	河内長野市立図書館	109,545	16	3,910	487,475	4.45	6
87	鎌ヶ谷市立図書館	109,458	31	1,634	303,599	2.77	36
88	取手市立取手図書館	108,957	39	1,528	213,498	1.96	80
89	小松市立図書館	108,573	36	1,840	202,584	1.87	83
90	筑西市立中央図書館	107,807	20	4,673	242,833	2.25	69
91	酒田市立中央図書館	106,733	36	1,449	276,516	2.59	47
92	鹿屋市立図書館	104,949	37	2,073	194,711	1.86	84
93	飯田市立中央図書館	104,247	37	2,507	363,739	3.49	17
94	津山市立図書館	103,954	19	3,229	323,330	3.11	25
95	池田市立図書館	102,671	38	2,512	324,002	3.16	22
96	筑紫野市民図書館	102,459	27	2,213	262,000	2.56	50
97	坂戸市立中央図書館	101,408	34	2,707	268,048	2.64	42
98	可児市立図書館	101,148	33	1,528	170,661	1.69	88
99	泉佐野市立中央図書館	101,035	22	3,025	383,852	3.80	12
100	三条市立図書館	100,884	34	2,233	284,225	2.82	34
101	島田市立島田図書館	100,441	6	2,631	265,947	2.65	41
102	新発田市立中央図書館	100,314	2	2,414	234,609	2.34	64
103	糸島市図書館	100,126	2	1,659	136,356	1.36	97
103館 平均		123,528		2,822	324,512	2.63	

※『日本の図書館2017』より

(2) 開架・閉架比率（開架：閉架＝50%：50%）

新江南市立図書館の開架・閉架比率の計画値は、他自治体の状況や開架資料更新率（年間受入冊数／開架冊数：1年間に更新される開架資料の割合）を踏まえ、開架50%：閉架50%とします。

表 7-7 に示すとおり、現江南市立図書館は収蔵冊数が限界に達していることなどから開架比率が約80%と高くなっていますが、他自治体中央館の開架比率の平均は50%程度となっています（県内市・類似団体市・同規模市の詳細は表 7-9～表 7-11 参照）。

新江南市立図書館の収蔵冊数を約 30 万冊、開架比率を 50%とした場合の開架冊数は約 15 万冊で、現江南市立図書館の約 1.5 倍の開架冊数となります。また、「(1) 収蔵冊数（約 30 万冊）」と同様に資料費約 1,800 万円／年を想定した場合の開架資料更新率は約 6.0%で他自治体水準をやや下回りますが、開架比率 50%は開架冊数の確保と資料の新鮮さや魅力の維持の両立の面から無理のない値であると考えられます（表 7-8 参照）。

表 7-7 現江南市立図書館及び他自治体中央館の開架比率

番号	区 分	蔵書冊数 (冊)	開架	
			冊数(冊)	開架比率
ア)	愛知県内市(36市)平均	407,934	195,406	53.1%
イ)	類似団体(29市)平均	337,200	163,701	51.7%
ウ)	同規模市(103市)平均	324,512	163,426	53.0%
—	現江南市立図書館(参考)	121,745	97,702	80.3%

※『日本の図書館 2017』より

表 7-8 他自治体及び新江南市立図書館の開架資料更新率

番号	区 分	開架資料更新率(年間受入冊数／開架冊数)		
		平均	貸出密度上位 10%自治体平均	貸出密度上位1/4 自治体平均
ア)	愛知県内市(36市)	7.4%	6.7%	7.3%
イ)	類似団体(29市)	6.6%	6.1%	7.6%
ウ)	同規模市(103市)	9.1%	8.4%	7.5%
—	新江南市立図書館(想定)	6.0%		

※『日本の図書館 2017』より

表 7-9 県内市 36 市の中央館開架比率

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	開架図書	
						冊数(冊)	割合
—	江南市立図書館	101,053	42	962	121,745	97,702	80.3%
1	豊田市中央図書館	422,571	19	12,567	1,762,706	880,281	49.9%
2	一宮市立中央図書館	386,343	5	6,702	582,474	—	—
3	岡崎市立中央図書館	382,784	9	7,895	893,255	494,175	55.3%
4	豊橋市中央図書館	378,485	35	5,655	674,947	195,406	29.0%
5	春日井市図書館	311,327	18	4,983	784,900	—	—
6	安城市図書情報館	185,818	1	6,808	706,388	449,510	63.6%
7	豊川市中央図書館	185,273	19	5,773	485,636	282,599	58.2%
8	西尾市立図書館	170,734	34	2,722	722,724	326,716	45.2%
9	小牧市立図書館	153,655	40	2,224	327,226	214,968	65.7%
10	刈谷市中央図書館	149,262	28	5,509	735,760	202,639	27.5%
11	稲沢市立中央図書館	138,089	11	4,968	625,393	—	—
12	瀬戸市立図書館	130,908	48	1,412	309,914	120,000	38.7%
13	半田市立図書館	118,733	33	1,749	428,753	135,743	31.7%
14	東海市立中央図書館	113,535	41	2,411	302,232	168,569	55.8%
15	おおぶ文化交流の杜図書館	89,788	4	3,650	336,655	226,755	67.4%
16	あま市美和図書館	88,527	24	754	118,084	79,963	67.7%
17	日進市立図書館	88,024	10	6,102	363,427	189,413	52.1%
18	知多市立中央図書館	86,084	38	3,229	327,602	177,344	54.1%
19	北名古屋市東図書館	84,433	28	3,022	185,612	73,787	39.8%
20	尾張旭市立図書館	82,605	37	1,393	205,654	108,683	52.8%
21	蒲郡市立図書館	81,291	49	1,986	272,189	118,883	43.7%
22	犬山市立図書館	74,790	27	4,962	238,165	149,870	62.9%
23	碧南市民図書館	71,673	25	4,327	423,888	197,597	46.6%
24	知立市図書館	71,010	31	2,477	226,321	109,483	48.4%
25	豊明市立図書館	68,706	38	2,923	271,860	127,744	47.0%
26	清須市立図書館	67,118	6	3,339	127,645	92,929	72.8%
27	愛西市中央図書館	64,699	23	2,012	144,170	102,328	71.0%
28	田原市中央図書館	64,078	16	3,972	451,379	327,510	72.6%
29	津島市立図書館	64,074	18	5,900	292,404	171,403	58.6%
30	みよし市立中央図書館	60,383	2	3,807	211,679	130,329	61.6%
31	常滑市立図書館	58,240	47	1,447	203,524	127,585	62.7%
32	長久手市中央図書館	55,555	26	4,201	223,951	85,632	38.2%
33	新城図書館（ふるさと情報館）	48,553	31	2,021	162,130	75,639	46.7%
34	岩倉市図書館	47,758	35	2,588	177,875	127,170	71.5%
35	高浜市立図書館	46,756	39	1,105	204,901	88,723	43.3%
36	弥富市立図書館	44,399	33	1,978	174,198	89,033	51.1%
	平均	131,557		3,849	407,934	195,406	53.1%

※『日本の図書館 2017』より、おおぶ文化交流の杜図書館延床面積は施設案内パンフレット

表 7-10 類似団体（Ⅲ-②）29市の中央館開架比率

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	開架図書	
						冊数	割合
—	江南市立図書館	101,053	42	962	121,745	97,702	80.3%
1	石巻市図書館	148,798	45	1,463	186,843	—	—
2	各務原市立中央図書館	148,409	27	4,015	550,311	366,544	66.6%
3	周南市立中央図書館	147,482	36	3,681	338,069	142,137	42.0%
4	藤枝市立駅南図書館	146,609	9	3,299	364,139	276,485	75.9%
5	古河市古河図書館	144,715	34	604	127,968	103,416	80.8%
6	桑名市立中央図書館	143,149	13	3,169	335,745	186,407	55.5%
7	尾道市立中央図書館	142,462	27	3,376	539,921	310,586	57.5%
8	焼津市立焼津図書館	142,016	33	1,422	202,897	132,005	65.1%
9	稲沢市立中央図書館	138,089	11	4,968	625,393	—	—
10	富士宮市立中央図書館	134,526	29	3,802	422,310	174,189	41.2%
11	瀬戸市立図書館	130,908	48	1,412	309,914	120,000	38.7%
12	草津市立図書館	130,385	35	2,781	324,423	159,869	49.3%
13	大東市立中央図書館	123,397	31	891	146,547	87,980	60.0%
14	新居浜市立別子銅山記念図書館	122,347	26	3,072	301,622	160,739	53.3%
15	佐野市立図書館	121,183	35	3,042	268,114	109,756	40.9%
16	長浜市立長浜図書館	120,995	35	1,749	269,262	87,109	32.4%
17	半田市立図書館	118,733	33	1,749	428,753	135,743	31.7%
18	防府市立防府図書館	117,713	12	3,527	455,645	198,048	43.5%
19	掛川市立中央図書館	117,609	17	4,611	333,809	190,482	57.1%
20	桐生市立図書館	116,934	38	2,369	302,538	241,116	79.7%
21	東近江市立八日市図書館	115,304	33	2,289	299,508	118,522	39.6%
22	加須市立加須図書館	114,289	13	2,480	248,477	139,920	56.3%
23	丸亀市立中央図書館	113,587	26	3,405	342,759	151,620	44.2%
24	東海市立中央図書館	113,535	41	2,411	302,232	168,569	55.8%
25	白山市立松任図書館	112,829	15	4,337	337,841	172,753	51.1%
26	彦根市立図書館	112,786	38	2,743	756,285	142,880	18.9%
27	小松市立図書館	108,573	36	1,840	202,584	124,009	61.2%
28	可児市立図書館	101,148	33	1,528	170,661	91,022	53.3%
29	三条市立図書館	100,884	34	2,233	284,225	128,034	45.0%
29館 平均		125,841		2,699	337,200	163,701	51.7%

※『日本の図書館2017』より

表 7-11 同規模市 103 市の中央館開架比率

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	開架図書	
						冊数	割合
—	江南市立図書館	101,053	42	962	121,745	97,702	80.3%
1	米子市立図書館	149,731	5	2,925	300,695	147,526	49.1%
2	人間市立図書館	149,593	33	1,934	249,523	130,066	52.1%
3	刈谷市中央図書館	149,262	28	5,509	735,760	202,639	27.5%
4	石巻市図書館	148,798	45	1,463	186,843	—	—
5	各務原市立中央図書館	148,409	27	4,015	550,311	366,544	66.6%
6	多摩市立図書館	147,849	10	5,480	325,460	—	—
7	周南市立中央図書館	147,482	36	3,681	338,069	142,137	42.0%
8	藤枝市立駅南図書館	146,609	9	3,299	364,139	276,485	75.9%
9	深谷市立図書館	145,053	27	2,291	259,330	149,797	57.8%
10	古河市古河図書館	144,715	34	604	127,968	103,416	80.8%
11	守口市生涯学習情報センター	144,615	24	2,245	163,024	122,020	74.8%
12	土浦市立図書館	144,088	0	1,159	350,274	182,080	52.0%
13	武蔵野市立中央図書館	143,262	23	7,529	634,215	191,667	30.2%
14	桑名市立中央図書館	143,149	13	3,169	335,745	186,407	55.5%
15	尾道市立中央図書館	142,462	27	3,376	539,921	310,586	57.5%
16	焼津市立焼津図書館	142,016	33	1,422	202,897	132,005	65.1%
17	沖縄市立図書館	140,503	1	5,041	217,271	105,887	48.7%
18	諫早市立諫早図書館	140,140	17	7,405	439,274	378,119	86.1%
19	岩国市中央図書館	139,986	24	4,278	631,088	365,363	57.9%
20	稲沢市立中央図書館	138,089	11	4,968	625,393	—	—
21	三郷市立図書館	137,656	4	311	159,348	153,781	96.5%
22	青梅市中央図書館	136,750	10	3,860	297,902	138,370	46.4%
23	朝霞市立図書館	135,928	31	2,752	521,796	317,976	60.9%
24	箕面市立中央図書館	135,587	29	1,910	378,268	170,743	45.1%
25	戸田市立図書館	135,243	34	3,611	408,782	225,255	55.1%
26	富士宮市立中央図書館	134,526	29	3,802	422,310	174,189	41.2%
27	木更津市立図書館	134,002	43	1,855	356,000	—	—
28	大崎市図書館	133,958	1	3,855	185,493	93,850	50.6%
29	我孫子市民図書館	132,853	16	2,125	256,855	134,381	52.3%
30	鶴岡市立図書館	131,758	33	2,181	264,063	74,153	28.1%
31	成田市立図書館	131,739	33	5,179	826,681	335,500	40.6%
32	瀬戸市立図書館	130,908	48	1,412	309,914	120,000	38.7%
33	海老名市立中央図書館	130,627	33	3,579	330,795	252,040	76.2%
34	八代市立図書館	130,572	33	2,636	301,051	133,718	44.4%
35	飯塚市立飯塚図書館	130,517	22	1,806	247,651	137,626	55.6%
36	草津市立図書館	130,385	35	2,781	324,423	159,869	49.3%
37	伊勢市立伊勢図書館	129,764	25	2,397	306,543	165,855	54.1%
38	座間市立図書館	129,701	35	3,524	411,945	373,715	90.7%
39	延岡市立図書館	127,924	21	3,168	338,068	138,102	40.9%
40	霧島市立国分図書館	126,966	21	2,058	253,024	185,040	73.1%

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	開架図書	
						冊数	割合
41	唐津市近代図書館	126,280	25	4,351	343,808	84,913	24.7%
42	門真市立図書館	125,409	41	1,598	186,694	138,939	74.4%
43	橿原市立図書館	124,113	22	2,436	302,869	111,528	36.8%
44	大東市立中央図書館	123,397	31	891	146,547	87,980	60.0%
45	市立小樽図書館	122,927	35	2,489	311,359	-	-
46	会津若松市立会津図書館	122,749	7	2,809	355,831	124,418	35.0%
47	一関市立一関図書館	122,644	4	7,905	281,667	160,007	56.8%
48	新居浜市立別子銅山記念図書館	122,347	26	3,072	301,622	160,739	53.3%
49	うるま市立中央図書館	122,099	27	3,284	224,278	164,034	73.1%
50	松原市民松原図書館	121,962	38	1,551	395,178	8,600	2.2%
51	奥州市立水沢図書館	121,282	29	2,543	284,118	127,266	44.8%
52	佐野市立図書館	121,183	35	3,042	268,114	109,756	40.9%
53	北見市立中央図書館	121,048	2	4,799	294,936	170,634	57.9%
54	長浜市立長浜図書館	120,995	35	1,749	269,262	87,109	32.4%
55	生駒市図書館	120,944	31	1,381	406,009	222,411	54.8%
56	別府市立図書館	120,658	30	1,353	217,310	96,530	44.4%
57	国分寺市立本多図書館	119,940	35	963	136,351	110,377	81.0%
58	江別市情報図書館	119,517	28	2,821	377,316	192,950	51.1%
59	大牟田市立図書館	119,407	27	2,203	307,414	207,947	67.6%
60	鴻巣市立鴻巣中央図書館	119,192	7	1,157	199,798	159,145	79.7%
61	半田市立図書館	118,733	33	1,749	428,753	135,743	31.7%
62	那須塩原市西那須野図書館	118,308	39	1,370	179,203	137,705	76.8%
63	小金井市立図書館	117,978	42	1,956	288,397	124,765	43.3%
64	防府市立防府図書館	117,713	12	3,527	455,645	198,048	43.5%
65	掛川市立中央図書館	117,609	17	4,611	333,809	190,482	57.1%
66	はつかいち市民図書館	117,292	21	1,466	243,456	125,234	51.4%
67	東久留米市立中央図書館	117,128	31	2,545	273,590	105,694	38.6%
68	桐生市立図書館	116,934	38	2,369	302,538	241,116	79.7%
69	東近江市立八日市図書館	115,304	33	2,289	299,508	118,522	39.6%
70	富田林市立中央図書館	114,919	42	764	299,904	-	-
71	加須市立加須図書館	114,289	13	2,480	248,477	139,920	56.3%
72	浦添市立図書館	114,165	33	3,037	297,974	129,605	43.5%
73	羽曳野市立中央図書館	114,146	17	2,661	249,969	82,964	33.2%
74	三田市立図書館	113,996	28	2,676	310,302	131,489	42.4%
75	丸亀市立中央図書館	113,587	26	3,405	342,759	151,620	44.2%
76	東海市立中央図書館	113,535	41	2,411	302,232	168,569	55.8%
77	多治見市図書館	113,419	21	3,307	439,106	165,370	37.7%
78	春日市図書館	113,026	23	2,632	326,365	142,649	43.7%
79	ふじみ野市立大井図書館	112,919	30	1,403	166,921	97,207	58.2%
80	昭島市民図書館	112,897	45	1,506	334,858	174,460	52.1%

No.	館名	奉仕人口 (人)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	開架図書	
						冊数	割合
81	白山市立松任図書館	112,829	15	4,337	337,841	172,753	51.1%
82	彦根市立図書館	112,786	38	2,743	756,285	142,880	18.9%
83	西条市立西条図書館	112,230	9	5,137	341,833	171,077	50.0%
84	三島市立図書館	111,601	21	3,068	415,179	182,645	44.0%
85	富士見市立中央図書館	110,045	23	4,464	423,296	234,365	55.4%
86	河内長野市立図書館	109,545	16	3,910	487,475	200,821	41.2%
87	鎌ヶ谷市立図書館	109,458	31	1,634	303,599	-	-
88	取手市立取手図書館	108,957	39	1,528	213,498	153,319	71.8%
89	小松市立図書館	108,573	36	1,840	202,584	124,009	61.2%
90	筑西市立中央図書館	107,807	20	4,673	242,833	126,715	52.2%
91	酒田市立中央図書館	106,733	36	1,449	276,516	-	-
92	鹿屋市立図書館	104,949	37	2,073	194,711	148,825	76.4%
93	飯田市立中央図書館	104,247	37	2,507	363,739	154,226	42.4%
94	津山市立図書館	103,954	19	3,229	323,330	172,142	53.2%
95	池田市立図書館	102,671	38	2,512	324,002	163,971	50.6%
96	筑紫野市民図書館	102,459	27	2,213	262,000	155,445	59.3%
97	坂戸市立中央図書館	101,408	34	2,707	268,048	90,762	33.9%
98	可児市立図書館	101,148	33	1,528	170,661	91,022	53.3%
99	泉佐野市立中央図書館	101,035	22	3,025	383,852	271,785	70.8%
100	三条市立図書館	100,884	34	2,233	284,225	128,034	45.0%
101	島田市立島田図書館	100,441	6	2,631	265,947	162,495	61.1%
102	新発田市立中央図書館	100,314	2	2,414	234,609	115,513	49.2%
103	糸島市図書館	100,126	2	1,659	136,356	99,352	72.9%
103館 平均		123,528		2,822	324,512	163,426	53.0%

※『日本の図書館2017』より

(3) 一般書・児童書比率（一般書：児童書＝70%：30%）

新江南市立図書館の一般書・児童書比率は、現江南市立図書館の所蔵・利用状況や上位・関連施策などを踏まえて設定しました。

現江南市立図書館の児童書比率は約25%ですが、一般書と比較して児童書の利用率が高くなっています。新江南市立図書館は、布袋駅東複合公共施設内で子育て支援センターなどと併設予定であることなどから、児童書に対するニーズはさらに高まるものと考えられます。さらに、本市では「子育て先進都市」を目指した各種施策も展開していることなどから、新江南市立図書館では児童書比率を現状よりも高めるものとし、一般書・児童書比率の計画値を一般書70%：児童書30%とします。

7.2. 施設規模の計画値

「7.1 蔵書規模の計画値」を踏まえて新江南市立図書館の開架スペース及び閉架書庫の面積を試算すると、

表 7-12 のとおりとなります。さらに、トイレなどを布袋駅東複合公共施設全体での共用部分として計上するものとして必要空間及びその規模を設定すると表 7-13 のとおりとなることから、新江南市立図書館の施設規模の計画値は約 3,000 m²とします。

表 7-12 開架・閉架面積

試算項目		適用	数	単位
開架スペース の面積設定	1㎡当たりの蔵書数		80	冊/㎡
	一般開架スペースの面積	105,000 (冊) / 80 (冊/㎡)	1,313	㎡
		≒	1,320	
	1㎡当たりの蔵書数		100	冊/㎡
	児童開架スペースの面積	45,000 (冊) / 100 (冊/㎡)	450	㎡
	≒	450		
	計		1,770	㎡
閉架書庫 の面積設定	1㎡当たりの蔵書数	集密書庫	500	冊/㎡
	閉架書庫の面積	150,000 (冊) / 500 (冊/㎡)	300	㎡
		≒	300	

表 7-13 必要空間・規模

区分	部門	ゾーン	室名	適用	面積 (㎡)			
					室	ゾーン	部門	区分
利用者	導入	エントランス	ロッカー・車椅子 ベビーカースペース		5	5	55	2,465
			ロビー					
		交流スペース	展示スペース		50	50		
	自販機コーナー							
	開架	児童開架	開架スペース		450	520	2,080	
			お話しスペース		50			
			児童カウンター		10			
			子ども用トイレ		5			
			授乳室		5			
		一般開架	開架スペース		1,320	1,560		
			新聞雑誌スペース		50			
			ティーンズコーナー		50			
			インターネット・AV	2.5㎡×4席	10			
			対面朗読室		10			
	集会 学習	サービスデスク		20				
		参考資料室		100				
		レファレンスデスク	サービスデスクに含む	—				
管理	事務 管理	学習室	2㎡×50人	100	330	240		
		多目的室(視聴覚室)	2㎡×100人	200				
		会議室(貸出用)		30				
		事務作業室	5㎡×24	120	210			
		会議室	30㎡×2	60				
		サポーター(ボランティア)室	30㎡	30				
	保存	閉架書庫	休憩		10	300		
			更衣		10			
			倉庫		10			
			階段・廊下・EV・機械 室・トイレ等	布袋駅東複合公共施設の共用 部として見込む	300		300	
共用							0	
合計						≒	3,005	
							3,000	

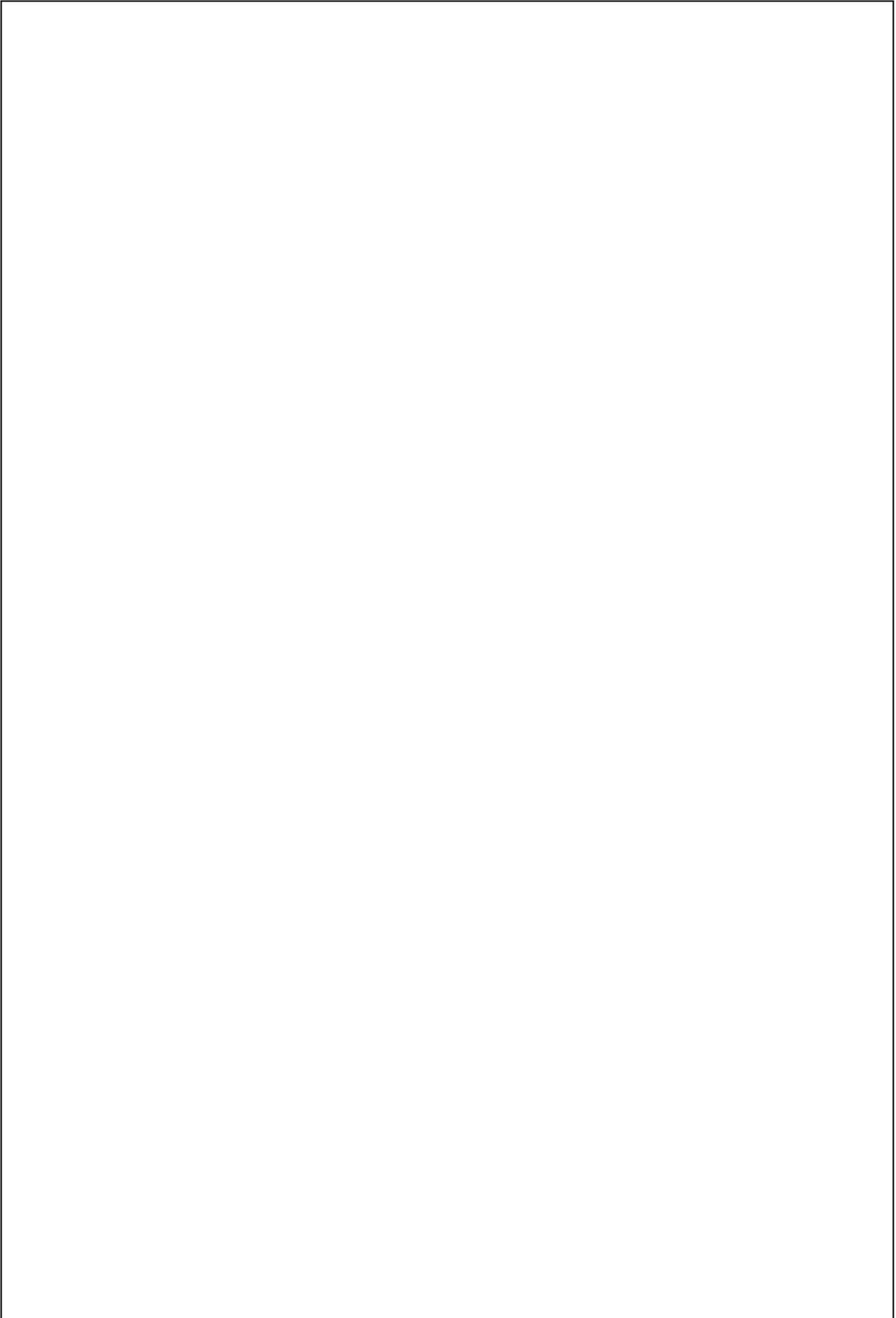


図 7-1 機能相関図